滿洲日報
夕刊
九月七日
發行編輯印刷人 鈴木 一郎 / 山口 人 / 下庄太 / 井二郎
大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

政府側を時々驚かす 精査委員の秘密資料

軍機漏洩の疑ひあり 政府嚴重にその出處を探索

【東京特電七日發】七回に亘る樞府審査委員會においては各委員より種々の材料を提げて來て政府に肉薄してゐるが數多の材料中には政府及び軍部の首腦部以外には關知しない極秘的書類もあり或は、財部全權と加藤前軍令部長との間にて取交された東京、ロンドン間の秘密電報の寫しもあつて政府も時に驚き慌てる事も屡々あるよつて數日前の委員會において樞府側からこの等の材料に基いて政府側を追窮した時の如きは濱口首相はこれに對し「何處から左樣な材料を出されたか知らぬが」と前提して政府の立場を釋明した事さへあり政府としてはその材料の出處並に提供者について非常な疑ひを挾んでゐるやうである、殊に樞府の有する材料は多く海軍軍令部方面に關係してゐる點より見て或はこの方面より出てゐるのではないかとの疑惑をかけてゐるやうである、即ち材料の出處が海軍方面にありとすれば軍機上棄てておく事の出來ぬ重大事でありしかもその提供者が現役軍人であれば軍機を漏洩したもので軍規上嚴重に處罰しなければならぬからこの際飽くまでその材料の出處並に提供者を糺明して軍機の維持糺正につとめる必要ありとして此頃頻りにこれが詮索につとめ、もし大體の見當がつけば軍法會議に廻してでも事實を明かにすべく重視してゐる

軍縮剩餘金の使途 減税と補充計畫費に

政府の對樞府答辯方針決定

【東京特電六日發】六日の井上藏相と財部海相の會談は五日の樞府の審査委員會で行はれた、ロンドン條約と補充計畫、減税等の質問應答に關するもので

あつたがこれについて財部海相の報告するところによると軍縮剩餘金使途に關する政府の計畫は大體既定方針通りで剩餘金の範圍内で減税と海軍補充計畫を行ふこととし剩餘金を一般歳入缺陷補塡に振向けることも一般歳入中より補充計畫財源の一部を補ふが如きことも考へて居らぬ、問題となるのは剩餘金を補充計畫と減税に充當する場合遺憾であるがこれは條約の精神たる軍縮の經濟的効果を考へて出來るだけ減税に振向け補充費は國防上必要の最少限度に止むることゝなつてゐる、而して樞府において

この點につき詳細なる說明を求めらるゝ場合は井上藏相及び財部海相より答辯することにならうがその答辯の方針は大體
一、軍縮會議の目的に卽して國民負擔の輕減を計る爲め必らず減税すること
一、國防上の安固を期するため海軍補充計畫に對しても深甚の考慮を拂ひ財源の許す限りその實行を期すること
一、その財源の具體的振當に關しては未だ海軍側が補充計畫を大藏省に提出するまで纏つてゐないからその答辯を避けること
など以て臨み補充計畫と減税の數字的關係については說明を避けること

大連へは初めて あす關東廳訪問

けふはゆつくり市内見物 總税務司メーズ氏談

支那海關總税務司メーズ氏は夫人同伴支那駐在英國公使館參事官イングラム氏と共に七日朝入港の支那燈臺巡視艦海星號にて來連岸本大連海關税關長を初め海關吏の出迎へを受け大連海關に入つたが氏は支那政局に關しては一切觸れぬとの前提の下に岸本氏を通じ左の如く語る

大連は初めてです、暑中休暇を利用し見物旁々青島、威海衛、芝罘等を巡視して來ました、大連に來たのは太田關東長官に敬意を表するのが主な目的です、けふは日曜ですからゆつくり大連を見物し八日朝長官を訪問し午後出發したいと思ひます【寫眞は向つて右よりメ總税務司、同夫人、イ參事官と海星艦】

歐亞連絡客

【ハルビン特電六日發】五日の歐亞直通連絡で農林省水産局長梶原茂嘉氏メリー大使館參事官澤田廉三氏夫人節子さんが歐洲へ向つた

越權の行爲無し

精査促進と樞府見解

【東京七日發電通】樞密院のロンドン條約案審議促進に關し六日政府が發表せる意見には樞府側では表面何等これを取り上ぐるの態度を示さゞるも本意見を以て暗かに樞府に對する挑戰狀なりと解しこれが影響して八日の委員會では痛烈なる追及が行はるべく政府樞府間の關係は益々險惡化するであらうといはれてゐる而して政府側の發表意見に對する樞府側の見解を聞くに

政府が眞に一日も早く本條約の成立を希望するならば調印せる五月より七月迄二ケ月間を軍部との諒解に奔走し空過したる事實を何と辯するか、更に審査委員會の内容漏洩については如何なる根據ありや根據なくして一片の浮說により政府がかゝる意見を發表するは不都合であらう殊に樞府が提出不可能の書類を要求し又は應じ難き無理難題を持ちかけるは越權の態度であると難じてゐるが政府に何等疚しきものなくんば毫も樞府の要求は無理難題とはいへぬであらうといふにある

憲政の運用上 樞府廢止に邁進

民政少壯代議士申合

【東京七日發電通】民政黨の少壯代議士桜井、作田、多田、岡野、田中の五氏は六日午後本部に會合し樞府問題につき協議の結果左の申合せをなした

最近樞府の態度は政府に挑戰せるものと認むる、元來樞府の存在は憲政運用上の癌にあらざれば國民全體のための政治は望み得べくもない、われ等は一日も早く樞府の廢止を希望するものである、しかも彼等の因襲的勢力は牢固としてゐる、從つてその目的達成のためには内閣の一つ位棒にふる覺悟を要する、われ等は政府の毅然たる態度を望み政府を鞭撻してあらゆる機會においてかれ等と戰はん事を欲するものである

尚樞府問題に對する有志代議士會は來る十日新橋東洋軒で開會の筈であるが右意見に對しては勿論幹部は條約審議最中でもありその時期にあらずとしてこれを抑へてゐる

東鐵の借款 近く成立の見込

【ハルビン特電七日發】東鐵のダリバンクに對する三百萬元の臨時借款交渉進行し本月末までに協定ができる見込みである、支那側鐵道としては遊資を有してゐるがダリバンクは果してどうかと見られてゐるが哈洋百五十萬元位は調達できるであらうと樂觀されてゐる

露官憲の鮮銀檢査 態度著しく惡化

最近取引人約三分の一に減り、對露貿易停止の運命

【東京特電七日發】鮮銀浦鹽支店に對するハバロフスク政府の臨檢は去月十一日以來既に二十六日間繼續されてゐるが、昨今に至つてロシヤ官憲の態度は著しく惡化し鮮銀支店に入り來る取引先の人々を捉へその取引の内容を檢查するに至つたので、山口總領事はこの旨外務省に通牒して來たが鮮銀としてもロシヤ官憲の臨檢以來各取引人は受難を懼れ鮮銀に寄りつかず、ために取引先は約三分の一に減つてゐるので、かくの如き臨檢の方法は全く營業を妨害する目的に出づるものなりとしてわが外務當局に對し嚴重抗議さるべき旨要求する模樣である、而して他方對露金融に關しては極力回收方針を採りいつにても浦鹽支店を閉鎖し得る準備を進めつゝある模樣である、これがためわが對露輸出貿易は新規取引に對する金融の途を斷たれ、この調子で行く時は**わが對露輸出は停止の外ない**ことになるので輸出業者より大藏、商工兩省に對して鮮銀の手形取引方針の變更を迫つてゐる、かくて事態は對内的にも漸く重大性を帶ぶるに至つたのであるが、外務省では近日鮮銀の代表者を招致して營業妨害の抗議に關する鮮銀側の言分を聽取する模樣である、しかしこの外務省の態度には鮮銀はじめ關係方面にては全く不滿を漏してゐる

豫算編成期迄に 精査終了の見込

濱口首相鎌倉で語る

【鎌倉七日發電通】濱口首相は鎌倉の別莊にて往訪の記者に左の如く語つた

樞府精査委員會の審議はこれから條約案の實體論たる財政問題兵力量問題に入つて行くことにならうが、今の程度では說明委員の必要もない、井上藏相も出席することになるかどうかは判らない、補充計畫及減税の問題は豫算編成の時でなければ決定しないのであつて今日これを言明することを得ぬのは決して隱してゐるのではない、減税問題は條約案の重點の一として審議されるであらうがそれについては「軍縮剩餘金は主として國民負擔の輕減に當てる」といふ方針は今日にても變りはない、十一年度末までの製艦保留財源の年度割額も來年度基本數字が先太りとなつてゐるので減税も亦これに拘束される、更に軍縮剩餘金を主として國民負擔の輕減に當てるといふことは補充計畫並に代換建造に要する經費と相俟つて決定するのである、五日の閣議にては報告しなかつたが回訓案決定當時の實狀につきその手續に間違ひのなかつたことを說明して置いた、ロンドン條約審議も豫算編成期までには終るものと思ふし又終られば困るのである

着任せる第十六師團長山本鶴一中將

鄭州陷落するも 大局に影響無し

戰線が移動するのみ

【天津特電七日發】蔣介石、劉峙、何成濬、王金鈺氏等の南方將領は灤河、周口に集り軍事會議を開いて漢口を中心として平漢線上の軍事は緊張を告げて來た、南軍は一部を以て洛陽を攻擊する外全力を以て鄭州を目標に最後の決戰を試みるものらしい、これに對して馮玉祥氏は許昌、開封、鄭州を繞り防禦を堅固にして邀擊すべく準備を整へた、河南地方民は北軍を援助しつゝあれば南軍が堅固な許昌、開封の陣地を破ることは容易なことではあるまい、假りに敗れても退却の機微を知る馮氏として直に全軍を黑石關方面へ引揚げしむるであらうから南軍は鄭州を占領しても戰線はその以西へ移動しただけで對峙の局勢に變化あるものとは考へられず又南軍の黃河以北への進出は不可能だらうと專門家は觀測してゐる

李景林氏等舊部下招募

【濟南特電七日發】李景林、張敬堯は前敵宣撫使に任命され目下奉天の諒解を得て營口、奉天で舊部下を招募してゐる

軍費難に 惱む南軍

庫劵應募一二割

【上海特電七日發】財政部の公債募集は行詰り關税短期庫劵の如き各地收税長官が懸命になつて各地方について奔走するも割當額の一二割ぐらゐしか應募者がないので中央から大官が出張しなくてはこの一二割も難しいとの悲鳴をあげた電報のみなので宋子文氏も頭痛鉢卷の態である而も行政費の不拂高は既に七千餘萬元、官吏の俸給は三四ケ月も不渡で、財政部では目下秘密裡に各方面に向つて戰後までの支拂延期を懇談すると同時に俸給百元以上の者に減俸すべく承諾を求めてゐる、最近成立した浙江鹽商の借款四十萬元でさへ綫紬から零細なものを集めた程で南京政府の臺所も當年の北京政府のやうになり道の浙江財閥も漸く山西人を學んで出澁つて來た、斯くの如き軍費難から蔣介石氏の戰爭も積極的たるを得まいと見らるゝに至つた

に發行する關税短期庫劵一千萬元を張學良氏の中華民國陸海空軍副司令就任と同時に交附することに命令したと傳へてゐるが一般は一ケ月の軍政費さへ困難な今日果してこれが實行されるかどうかを疑つてゐる

劉軍總攻擊開始

平漢線の兩翼から

【南京特電六日發】平漢線では劉峙氏總指揮に就任し六日より鐵道の兩翼から攻擊に移つた劉氏は澁河で指揮してゐる

長沙は依然不安

共産軍逆襲の作戰

【漢口六日發電通】長沙六日午後五時發電、長沙東南三十支里に一旦退却した共産軍は協議の結果全力を擧げて長沙を奪取し、しかる後武漢を突くに決し五日夕刻より大擧して逆襲に轉じて來たが本日午後再び守備軍の爲めに逆襲された、しかしこの方面の共産軍の兵力は四萬に達して居り何時長沙を占領するやもはかられず形勢は依然として甚だ危ふきにある

九江下流危險

共匪別働隊猖獗

【上海六日發電通】九江、江西省の東部に蟠居してゐた方志敏の共産別働隊獨立第一團は北上を開始し各地の土匪軍を集合して勢ひ猖獗を極め九江の下流湖口危ふしとの急報あり南潯鐵道沿線德安に駐屯せる第五十師二、九、七團全部は本日南潯に來り湖口方面に出動中である

閻、馮兩氏彰德で 重大會議を開く

今後の作戰につき

【天津特電六日發】閻錫山、馮玉祥兩氏は六日平漢線彰德にて重大會議を開き將軍に對する最後の職略と政府組織と人選に關して協議した、買振德、賈振濤兩氏は六日當地着奉天へ向つた

傅作義氏に 閻氏召還電報

【天津特電七日發】閻錫山氏は六日奉天に在る傅作義氏に對し至急歸るやう電報した、傅氏は津浦線の失敗の自責上使節の重任を引受けたので張學良氏から或種の回答を得ざる限り歸津しないものと見られてゐる、閻氏は依然として傅氏を信任し前線を再び指揮せしめたい肚であると

庫劵の一部を 奉派に提供

【上海特電七日發】蔣介石氏は新

警察署長會議

招魂祭、武道大會等開催 十月十日から三日間

關東廳警務局では來る十月中旬三日を期し旅順において左記の通り全管内警察署長會議並に殉職警察官招魂祭、全滿警察武道大會等を開催の豫定であるが、今期武道大會には警察協會より柔劍道各一旒の優勝旗が優勝署に授與さるゝ筈であるので一層の盛會を豫想されてゐる、尚署長會議は定例會議ではなく附隨的の會議で主として管内各署の事情を聽取する由
▲十月十日全滿洲警察署長會議
▲同十一日殉職警察官慰靈祭▲
▲同十二日全滿警察官武道大會

旅大有力者 招待會

商工會議所主催

大連商工會議所では來る十二三日頃太田關東長官、仙石滿鐵總裁を主賓として三浦内務、中谷警務兩局長、日下殖産課長、西山財務部長、源田財務課長、河相外事課長小林秘書官、大平滿鐵副總裁、大藏、神鞭、伍堂、木村、十河、大森、藤根、村上の各理事、鍋島秘書役、武部滿鐵殖産部次長を招待しヤマトホテルにおいて觀觀會を開くと

學校敎練査閲 日割

昭和五年度學校敎練査閲日割は六日關東軍司令部より左の如く發表さる

十月四日大連第二中査閲官高野歩兵中佐、△二十四日滿洲醫大三宅參謀長、長春商業三浦歩兵中佐△二十五日敎育專門學校三宅參謀長、安東中學校板津歩兵中佐△二十七日撫順中學校高木歩兵中佐△二十八日奉天中學校同旅順第一中學高野歩兵中佐、△二十九日青島日本中學板垣歩兵大佐、南滿工業專門三宅參謀長△三十日青島學院商業板垣歩兵大佐△三十一日大連商業高野歩兵中佐、△十一月一日大連第二中同△四日旅順工大三宅參謀長△五日鞍山中學上田歩兵中佐尚三宅參謀長隨行は有富歩兵大尉である

人事

▲メーズ氏(支那海關總税務司)七日朝入港の海星丸にて來連
▲イングラム氏(支那駐在英國公使館參事官)同上
▲齋藤茂一郎氏(南昌洋行主)七日入港のうらる丸にて來連
▲田中久一氏(陸軍中佐)同上

天氣豫報

八日(南の風)晴一時晴れ

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二五、〇	二七、〇
旅順	二五、五	二七、六
營口	二七、一	二八、九
奉天	二七、九	二九、三
長春	二六、五	二九、八

滿潮	午前十一時	午後十一時四十五分
干潮	午前四時十五分	午後五時十分

日曜閑話

亡び行く文献 保護者なく兵士の蹂躙に

支那は革命また革命、混沌として安定するところがない。こう内亂ばかりが打續くと、五千年の結晶ともいふべき支那の文献は散逸せざるを得ぬことになる。實に惜いことである。

◇

支那には金石學などいふものがあり、以て古代文化のあとを探究することが出來るのである。一顆の石塊にも古代を知る燈明臺となるやうなものがないでもない。秦の始皇帝に焚書などいふ亂暴なことがあつたが、それでも支那には汗牛充棟も啻ならぬ文献が遺產として殘されて來たのである。

淸朝は漢民族から觀れば東北の蠻族であつたのであらうが、天下の主人公となるや、全く漢化して賢明なる君主を出し、文献の保護者として偉大なる功績を殘してゐるのである。乾隆帝、康熙帝などに果してあれだけの理解があつたか否かは別問題として、とにかく

五千年有史以來の隆盛を示したといふことは、誰が何といつても、これを買つてやらねばならぬ。元より明、明より淸朝にわたる學問究明の傾向なり、結局、そこに落ち着くものといへばそれまでであるが、長白山南の邊陬から出でて、五千年來、傳統するところの支那文學の保護者となつた淸朝の存在は、何んといふても偉大なるものといはればならぬ。

◇

民國革命以來、內亂また內亂、文献の保護といふやうなものは、全く捨てゝ顧みざらんとしてゐる現狀にある、甚だしきは、排孔思想の勃興とあつて佛を憎むの餘り袈裟までも排擊せずんば已まざらんとし、貴重なる文献をすら毀損して得意なるさへあつた。わが日本の對支文化事業の問題などにしても、たゞ支那古來の文献を保護せんとすることだに、これを排毀して顧みざらんとするのであるから全く言語に絕することゝいはればならぬ。

かゝる勢ひであるから、西洋文化に對する東洋文化の粹とでもいふべき文献が、何時の間にか散逸することなしと保し難い。これ吾人が、東洋文化のため最も憂慮するところであるのだ。今日にして散逸を防遏せざらんか、貴重なる文献が、世界から姿を沒するやうなことになるのを恐れる。かの四庫全書の如きでさへも、軍閥共の手に委して居つたならば結局散逸し去るのではあるまいか。

われくは支那の稀覯書が、ボストンの博物館に飾られやうと、ロンドンの圖書館に收藏されやうと、それまでは我慢が出來ぬことはないが、併し、年中行事の內亂抗爭で、無學文盲なる兵士共の脚下に蹂躙され、種も子もなくすることを最も恐れるのである。

◇

先頃、大阪每日かが、その紙上で宮內省の稀覯本を出版頒布せよと提唱してゐたやうであつたが、われくは支那における稀覯書の飜刻出版を提唱せんとするものである。

最近、わが邦人が支那の事情に精通することゝ、實に夥しいものがある。殊に支那の動きとして、その政局の推移などに關し、非常なる關心を持つに至つたことは、昔日の如きものではない。われらはこの對支關心の傾向を、あるひは直接、何らかの利益効果を持ち來さぬかも知れぬが、古文書、古文献などの保護、出版頒布などの方面にも注がれんことを希望せざるを得ぬのである。

ある民族が生み出した文明といふものには、永遠の生命と價値とが存在するものとせねばならぬ。ところで、この文化永遠の姿を、われらの血液のうちに發見するには、われくは文書、文献によつてのみ、そのあとを探究することが可能なのである。果して然らば、われらは將に、あるひは永遠に滅びんとする支那の文献の保護者淸朝によつて、ともかくも今日に殘された遺產を、何らかの方法によつて後世に過渡するぐらゐのことをするのは、われくの義務ではあるまいか(一記者)

突如正體を暴露した 共産黨の新秘密結社
ＫＩＭ國際青年共産黨支部 全國に亘り大檢擧

【東京特電七日發】七日の國際無産青年デーを期して極左團體の間に恐怖的街頭デモンストレーション決行の計畫があるのを探知した警視廳特高科では六日朝先手を打つて全市に亘り戰闘的前衛分子三十餘名の一齊檢擧を行つたがこれ等の青年を三田、愛宕、上野などの各警察署に

分轄收容

し警視廳特高科員がそれ〲出張して連絡取調べを行つたところ俄然最も進歩的な組織と熾烈な戰闘力を有する我國共産青年の新秘密結社組織が端なくも暴露した、警視廳では驚愕して内務省に急報全國の官憲と協力して急遽新結社檢擧の大活動を開始した、この新に暴露された秘密結社はＫＩＭ國際青年共産黨の日本支部として日本共産黨内の極左青年を中心に合法的勞農黨の組織を憚ずさなす前衛分子及び勞働組合全國協議會の戰闘的青年等を

糾合して

七月中旬組織された青年コミンテルンで破壞を目標に飽くまで非合法運動を目ざして日本共産黨の最も範みさする有力別働隊として漸次組織の完成に向つて進みつゝあつたものである、此ＫＩＭの本部は千九百十九年十一月ベルリンに創立されたもので世界の資本主義國二十六ケ國に支部を設けて共産黨指導の下に果敢な闘爭を展開して居り我國の支部も勞働組合へのフラクション(部分)潜入、無産大衆への煽動宣傳など漸進的に運動の

實行期に

入りつゝある時今回の發覺となつたもので官憲の疾風迅雷的活動により支部員の全國に亘る總檢擧が斷行されてゐる

外交文書にも「北京」を使用

【北京特電六日發】「北平」を本日正式に「北京」と改稱した事を發表したが、同時に外交文書は既に北京の文字を使用してゐる

四洮沿線附近にペスト疑似患者
關東廳では防疫開始

五日夜關東廳衞生課への入電に依れば四洮鐵道開通驛附近支那街に最近ペスト疑似患者三名の發生を見た由で、四平街附屬地住民等は恐怖を覺えてゐるといふが、關東廳では直に滿鐵衞生試驗場と連絡四平街警察署、地方事務所に協力附屬地傳染の防止をなすやう訓令するところがあつた

男女六十五組が盛な白熱戰
今日大連兩コートに於て 全滿軟式庭球試合

滿洲體育協會主催全滿軟式庭球選手權大會は七日北公園及乃木町の兩コートで擧行された、先づ定刻午前九時參加選手一同北公園コートに參集し昨年の優勝組臼木關谷組の關谷政一氏より優勝カップの返還あり、林田體協主事起つて開會の挨拶を述べ直に試合に移つた此の日多少の風あり選手のコントロールを亂し勝ちであつたが朝來の快晴に惠まれて選手の意氣は揚り男女兩組共最初から猛烈な白熱戰をつゞけた、男子組は遠く撫順、鞍山、奉天等よりも參加するあり男女總數六十五組の盛況である、女子は神明彌生兩高女の對校マッチに興味を呼んだが彌生一回戰に接戰の末全敗し、理研の川田組滿電の佐賀組亦敗れ准優勝戰以後は神明高女の同志討となつた、午前中の成績左の如し

◇—全滿軟式庭球大會の盛況—◇

女子之部

△豫備戰
大野、寺澤四—三柳、野木
吉田、佐賀四—一松原、荒木

△一勝戰
大野、寺澤四—一鈴木、田島
橋本、野木四—○吉田、佐賀
大野、法橋四—三林田、新居
植益、片岡四—三川田、岩橋

△准優勝戰
橋本、野木四—二大野、寺澤
大野、法橋四—二植益、片岡

男子之部

△豫備戰
▲重岡、樋口(滿庭)四—一神小松(常盤)▲松木、近藤四—一西尾、花田(育成)▲大谷、片山(鞍)四—一鹿野、若井(熊岳)▲佐藤、田川(滿庭)四—二須藤、今井(奬學)▲原、赤松(撫)四—二大高、庭村(鞍)▲川久保、高木(滿庭)四—○是枝、益原(常盤)▲原、森(瓦房店)四—一渡邊、原(奬學)▲臼木野村(磐口)四—一野々宮、百武(撫)▲佐藤、松村(鞍)四—二佐藤、鹿野(工專)▲二宮、高橋(小野田)四—一奥村、林(工專)▲津田、住田(滿庭)四—○片岡、平井(大商)▲上田、下重(中央)四—一青木、松木(旅順)▲工藤、大石(滿庭)四—一瀧澤、高橋(撫順)▲村田、石橋(遼)四—○前澤、田口(奉天)▲内村、長沼(日の出)四—一鹿野、梶(撫)▲内倉、持原(育成)四—三山田、信太(奬學)▲岡本、山崎(旅)四—一鶴田、平井(大商)▲赤川、富永(鞍)四—一高橋、山本(常盤)▲相手方棄權で一勝のチーム伊藤、高橋(日の出)篠原、安藤(瓦房店)根本、中島(埠頭)川上、小野田(埠頭)

△一勝者戰
▲重岡、樋口(滿庭)四—一松木近藤(豐成)▲大谷、片山(鞍山)四—二矢野、瀬川(工專)▲川久保、高木(滿庭)四—三篠原、安藤(瓦房)▲根本、中島(埠頭)四—一米津、菊川(双葉)▲原森(瓦房)四—二松本、高柳(遞信)▲二宮、高橋(小野田)四—二川上、小野田(埠頭)▲内村、長沼(日ノ出)四—○村田石橋(遼陽)▲内倉、持原(育成)四—二大高、島津(滿庭)

ブ、ゲ機出發

【阿見七日發電通】昨日出發を見合せ土浦に一泊したブゲ二氏は七日午前六時五十分來場機體檢査の上同七時二十九分離陸青森縣淋代に向け出發した

ブ機淋代到着

【青森七日發電通】今朝七時廿九分霞ケ浦離陸青森縣下淋代へタコマ號空輸をなしたプロムリー中尉は午前十一時五十分無事目的地淋代に着陸した

貯炭自然發火防止機發明
撫順炭礦にて

全國的貯炭激增と共に何處の炭業者も貯炭の自然發火には惱まされきつてゐるが、炭礦部選炭係主任兒玉八郎氏指導のもとに同係員奥村氏の發明した扇風機による貯炭内の熱吸收方法は絶對的の效果ある事證明され、撫順山元貯炭はこれの裝置に依り完全にその危險を防止し得たので、今度は甘井子の貯炭場に右を裝置したが、引續き南關嶺その他主なる貯炭場にも裝置する計畫であると、尚右扇風機裝置方法その他に就き内地及び海外の貯炭場並びに各船汽船持主等から問合せてきてゐる(撫順特信)

青少年不良化防止の座談會
關東廳勞務課の催し

關東廳學務課が昨秋開始した青少年少女の不良化防止事業は本年に入つて前東京市囑託高畑氏を專任囑託に迎へ目下着々その充實をはかりつゝあるが、學務課では今般該事業に對する各中等學校、民政署警察等關係當事者の腹藏なき意見、希望等を聽取すべく十三日午後四時半より大連キリスト教青年會館に於て右各當事者の青少年保護に關する座談會を開催する由であるが、當日關東廳より御影池學務課長以下難波教育主事、高畑、伊藤兩囑託等出席の筈

我女子選手活躍
第一日の萬國女子オリンピック大會

【プラーグ六日發電通】第三回萬國女子オリンピック大會は愈々本日より開會我人見絹枝嬢外五名の日本女子選手の出場は殊に人目を惹いた、第一日の主なる成績左の如し

▲六〇メートル第一豫選　人見嬢七、八秒、村岡失格
▲六〇メートル準決勝　A組一、人見嬢七、八秒。B組一、ワラシユヴイッツ(ポーランド)七、八秒。C組一、ラデイドー(佛)七、八秒
▲八〇メートルハードル第一豫選　中西嬢十三秒一、人見嬢棄權
▲砲丸投げ決勝　一、ホイプライン嬢(獨)十二、四九メートル、二、ヘルマン嬢(獨)十二、一二メートル、三、ベルカント嬢(瑛)十一、四八メートル
▲百メートル豫選　一、人見嬢一二秒一人見嬢の記録は豫選中第一位渡邊嬢、は他の組で第四着
▲二百メートル豫選　A組一、人見嬢二六、八秒。B組一、ワラシエヴイッツ嬢(ポーランド)二五、六秒一、ホールステ、ド嬢(英)二五、六秒三、渡邊嬢二八、九秒、ワ、ホ兩嬢は同着で二五、六秒は世界女子新記録である

人見中西兩孃 出場權を獲得

【プラーグ六日發電通】第三回女子世界オリンピック大會は本日當地に第一日の幕を明け人見嬢、村岡嬢六十メートル第一豫選に出場人見孃は七秒八で準決勝に出場の資格を獲得し村岡嬢は第四着において惜くも失格した、又八十メートルハードル第一豫選の中西嬢は良く奮闘十三秒一の成績にて準決勝出場の資格を獲得した、人見嬢は四組に入つて居たが棄權した

印度經由の日獨航空路
西比利線よりも速い
獨逸の申出に我國同意

【東京六日發電通】去る七月末ドイツ郵政大臣より遞信省航空局宛「ドイツは目下アラビヤまで定期航空路を開いてゐるが、近く印度或は東洋まで之れを延長し度い就いてはイギリスとも交渉中であるが日本も定期航空郵便を開始の意志なきや、若し日本で不可能ならばドイツが行つても宜いから贊成して貰ひ度い」との申出でがあり政府は直に陸海外務遞信四省會議の結果「趣旨には贊成するから具體的内容を知らせて欲しい」とドイツ政府宛照會中である、右計畫によれば印度經由南方コースを選みシベリヤコースよりも專門的に見て適當で、開始の曉には一週間乃至十日間で日獨聯絡に成功する筈である

ステッキガールが愈よ大連にも出現
最近東京から來て宵の街を泳ぐ 綠の襟帶に黑い靴

「此の頃東京ちやれえ、ステッキガールの進出實に著るしいものだよ、銀座や新宿のペーブメントには雜る處に見受る彼女等の出現、ウインクはエーテル波動よりも高速度で色樣々に錯綜して著人の神經を惱んでゐると」

「彼女は現在は既に職業組合的なものさへを有し新宿ホテル、中央ホテル、丸の内ホテル等に夫々特約があつて其處へ客を連れ込んで手輕く而も頗る文化的に取引を濟ますのだ。

◇—◇

「彼女等は大てい女學生の樣な洋裝だよ、そしてれ擦れちがふ時に先方は腰の當りに手をやつてバンドを外してポケツトの中に入れるのだ、それが合圖だよ、此方から一寸眼で合圖するか手でも擧げれば直、散歩しませう、と來るよ」

「皆バンドを外すのかい」

「うん三人それで俺は交渉をすましたよ、何時かなんか當方二人であいかたが一人足りないと言つたら女が電話をかけたと思つたら何處からか直にやつて來たよ、何處かに本據があるんだれ」

と彼は新智識を與へてくれた、ステッキガールも遂にストリートガールと墮し、昭和の文化的移動私娼だれ、と彼はビールの泡を吹いて慨嘆したものである。

◇—◇

其のステッキガール否移動ガールが大連にも出現した！去る四日夜十時過ぎ、某會社員A君は(名を秘す)三軒許りカフエーで飲んだビールの醉靡を馬車の上から風に吹かして獨り家路に驅らしてゐた。伏見町工專手前の三叉辻に差蒐つた時A君は何氣なく道傍を見れば年若い洋裝の美人がぼんやり立つてゐるのが眼についた

A君は至つてフエミニストである、どうしたのかしらと馬車を停めて、無帽ワンピース姿の女の細りした顏に眼をさゞめてゐると件の婦人はコツ〲と馬車の傍へ寄つて

「電車が來なくて困つてゐるのですが乘せて下さらない？」と來たものだ。A君の樣なフエミニストでなくても無論、オーケーだ。

◇—◇

馬車は驅つた。A君の血はビールの泡の樣に幾つも氣泡を作つた。

「どちらへ」と聞きかけて喉なみ込んだ。中年の紳士だ、それに二本のビールが加勢してゐる。

「家が締つてゐるの、ちや五圓あつたら私が一休みする處教へて上げるわ」楚々たる令孃姿だが齒切れの良い東京綠。

◇—◇

「五圓さ、松山臺のあの料理店れあそこへ轉げ込んぢやつたよ、年は二十一、二か、綠色のネクタイをかけて黑い靴に小豆色のワンピースこれだけはつきり眼に殘つてゐるよ、無論シヤンだよ、一週間前東京から來たんだそうだ」A君は翌日、ニヤツーと笑つてこれだけ語つた。

◇—◇

五日夜十時電氣遊園の小島の前で某君は又件の女が一人の紳士と歩いてゐるのを見かけた、綠のネクタイ、黑い靴の女―今夜は何處を遊いでゐる？

滿洲選拔野球
來る十二日から

秋の球界を飾る大連新聞社主催の第二回滿洲選拔野球大會は來る十二日より三日間大連に於て奉天滿倶、大連滿倶、大連實業の三チームの巴戰で擧行されることになつた

太田安部兩選手歸京

【東京七日發電通】デ杯選手として歐洲庭球界に活躍した太田芳郎安部民雄の兩氏は六日午後八時東京驛着元氣良く歸京した、安部選手は滿洲旅行中の父君磯雄氏と同車であつたが、驛頭には清水、福田、鳥羽の諸デ杯選手始め多數の出迎へがあつた

大接戰を演じて驛軍消費を破る
スポンヂ野球優勝戰

體育堂主催本社後援の全大連スポンヂ野球大會消費組合對大連驛優勝戰は七日午前九時より滿倶球場に於て田中(球)安藤(消)兩氏審判消費先攻で開始したが、遂に補回戰に入り十一回裏驛無死滿壘の好機に會ひ捕逸に依り最後の一點を上げ八A對七で消費惜敗す、閉戰十二時四十分

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
消費	0	0	0	1	4	0	0	0	2	0	0	7
驛得	1	1	3	0	1	0	1	0	0	0	1A	8A

經過

第一回裏驛伊藤本壘打で一點を先取し第二回にまた一點第三回に三本の單打と二壘打一本で三點を揚げ優勢となる、第四回消費永田の本壘打で先づ一點をかへし、第五回瀬尾三壘打と辻本の中前單打南條の遊越單打と敵失一で四點を得て同點となつたが、同裏驛また一點を得てリードす、七回裏驛一死後白石投ゴ一失で生き二死後伊藤の遊飼低投で白石還り差二點となる八回表消費瀬尾四球に出で長谷川の左翼線寄り本壘打でまたも同點となる、第九回兩軍最後の攻擊をなしたが拔く能はず補回戰に入る、十一回裏驛上田投ゴ一失に出で二盜白石四球清田一一のさき捕逸で上田還り驛勝つ

	消費	驛
	尾條川中井邊田浦本	瀬南長竹櫻渡永木辻
	84561243873	
	田橘藤山橋関野田石	清高伊增石石清上白
	649753218	

臨時特別競馬
景品附て開催

大連競馬倶樂部では來る廿七日より六日間星ケ浦競馬場において、秋期臨時特別競馬を行ふこととなつたが、同競馬倶樂部では支那人ファンの吸集策として今期競馬六日間中餘興として一日一回入場券總務附レースを行ひ、一等支那産馬四一頭(千圓)より四等まで各種賞品券を出すべく、六日競馬倶樂部より沙河口署を經て正式に願出でた

國際宗教聯盟がハルビンで活躍
共産主義に對抗して

【ハルビン特電五日發】共産主義と無神論者に對抗のため國際宗教聯盟組織され總支部がハルビンに創設された、參加者は佛教徒、耶蘇教、カトリック、マホメット、佛教、日本の神教等で五名の委員が推薦され反共産主義のため宣傳を行ふ

文副領事逝去

【奉天特電七日發】當地日本總領事館在勤副領事文泰善氏は七日午前二時突如心臟痲痺にて逝去した

八月郵便貯金

滿洲内郵便貯金の八月中に於ける成績は預け入れ百十七萬八千六百六十一圓、拂戻し百八萬三千九百十五圓で差引九萬四千七百四十六圓の預入れ超過であるが、之れを前年同月の預入れ超過額二十七萬七千八百四十五圓に比較すると十八萬一千百五圓と云ふ著るしい減少を來してゐる、由來滿洲の郵便貯金はその大部分がサラリーマンの預入れに依つて占められ逐年預入れ超過の傾向を辿つて居るに拘らず斯く激減を示したのは世界的不況に伴ふ各種企業會社の人員整理その他に因るものと云はれてゐる

集金拐帶逃走

市内浪速町七五梅本岸次郎は七日熊本生れ當時吉野町吉野湯方松本武光(二三)に對する所在搜査願を大連署に提出したが、松本は梅本方に雇はれ中昨六日午後一時頃朝日廣場大矢組へ集金に赴き、現金十餘圓を集金の上拐帶逃走したと

空の二勇士に有功章を授與

【東京六日發電通】帝國飛行協會では六日午前十一時から飛行館四階總裁の間にて東善作、吉原清治兩氏に對し有功章授與式を擧行、阪谷會長、長岡外史氏その他關係者二十餘名列席し最高名譽章たる白色有功章を贈呈した、終つて兩氏の飛行談あり午餐を共にして散會した、なほ東氏は發動機の手入れがこゝ一週間位で出來上るを待ち郷里石川縣及び中學時代を過した思ひ出の地岡山に向け感謝飛行を爲す豫定である

藤村領事夫人逝く

【奉天特電七日發】奉天總領事館在勤領事藤村俊房氏夫人は本朝三時病死した

ビクター演奏會

今七日夜の電氣遊園音樂堂に於けるビクターレコード演奏會のプログラムは左の如くである

第一部 ▲交響管絃樂「詩人と農夫序曲」ビクター交響管絃團▲獨唱「叱られて」「爆孫龍男▲筑前琵琶「湖水渡」田中旭嶺▲新作小唄「吾等の四季」二三吉▲軍樂「觀兵式の一日」陸軍戸山學校軍樂隊▲義太夫掛合「千本櫻道行の段」豐竹つばめ太夫、竹本越名太夫、豐竹長太夫▲端唄「留めても還る」祇園初太郎▲吹奏樂「トロヴアトレー」(アンビルコーラス)ブライヤ吹奏團▲映畫小唄「多美枝の唄」(映畫「この太陽」中の歌)四家文子▲和洋合奏長唄「松の綠」唄二三吉、ピアノ及横笛音樂部員▲童謠A「あの町この町」B「てるてる坊主」平井英子▲浪花節「紺屋高尾」木村友成

第二部 ▲ソプラノ獨唱「君よ知るや」三浦環▲小唄「からかさ」南地喜久治▲浪劍「鈴ケ森」中村吉右衞門一座▲新作小唄「昔と今の旅」朝居丸子▲ハーモニカ二重奏「ウエディングマーチ」鈴木信、小幡四郎▲流行歌「笑ひ薬」二村定一▲童謠A「ケンケン子、雷さん」B「小猿の酒買、計りごえ」岩田滿里子▲管絃樂「ヴオルガノ船唄」「バラライカ絃樂團▲新内「新内流し」富士松喜昇針中▲和洋合奏「春雨」ビクター管絃樂團▲浪花節「召集令」天光軒滿月▲交響管絃樂「スラブ行進曲」寶府交響管絃團

俠艶一代男（49）

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

お千賀の行方（五）

「この野郎！太え奴だッ！」

諜し合せ、待ち構へてゐたか？駕籠夫が振りあげた息杖、力任せに振り下しざま、先づ願人坊主へ一撃、

「うわッ！」と、悲鳴にも似てゐる叫びをあげ、口ほどにもなく脆くも擬態しに打ち倒れると、一鬨に塊つてゐる盲目長家の人たちの頭上さなく、腰さなく、手當り次第息杖を振り廻して、打ち掛つた。

一時はさつさ遁げ散つたが、遠くから石礫、二人の駕籠夫を目がけて、雨あられと叩きつけ、擲げつけ始めた。

息杖を振あげて、追へば散り、戻ればまた迫つて、石礫をなげつける。

駕籠夫は額からたらくと血潮の糸を頰へ引いて、駕籠を置いた まゝに一町ほど、長家の人たちを追ひ捲くつた。

彼等が餘程遠くへ遁げ散つたのを見ると、二人の駕籠夫は急いで元の所へ戻り

「それッ！この間に急がうぜ」

「合點だッ！」

肩へかつぐと、一さんに、甲州街道を飛ぶやうに走り出した。

後から追ふらしい盲目長家の人たちの聲が、うわッくと宵月の光の屆かぬ暗のうちで、恐ろしく擾つて居つた。

駕籠は、本當に宙を飛ぶやうに盲目滅法に走りに走る。

石標供養塔のある國分寺の森を樣に、駕籠舁きは聲を合せ、片側町に灯の入つた府中の町端づれにかゝつてゐた。

盲目長家の連中も、さすがにこゝまでは追ふてこなかつたと見えて、その騒ぎも、影も後に見えなかつた。

こゝは、奧羽、關東から鎌倉へ行く樞要な地點で、昔時は江戸へ足を入れない旅人などで、相當の混雜をしたが、昨今では幾らかさびれ加減であつた。しかし甲州路へは嫌でもこの宿を通らればならないので、旅籠と女郎屋とを兼ね てゐる曖昧な店が軒を並べてゐた。

武州屋と記した行燈に灯が入つて、定紋を染めぬいた紺暖簾を頭で掻きわけながら、づいと店の土間へ這入つたのは、今しも表へ駕籠を下した許りの一人の駕籠舁きで、鷲摑みにした手拭で、たらたらと流れる顔の汗を拭きながら

「はい、御免よ！」

「ゐらつしやいまし！」と格子窓の側、張り店をしてゐる妓が三四人、そこの薄暗い陰から蝙蝠のやうに飛び出してきたのは、この店の若衆。ぺこくと續けさまに頭をさげ

「御苦勞さんでございます。江戸からお着きでございますか？お一人さんでございますか？」と、矢繼早に問ひかけたのは、名ざしの客を連れ込んだのと早合點したと見える。

「武州屋さんはこちらでございますれ」

「へえ、左樣で……！」と、若衆は始めて氣がついたやうに、迂散臭い眼を向けて、ジロくと駕籠舁の風態を見あげ見下した。

「御主人は居らつしやいませうか？鳥渡お眼にかゝつて、お手渡ししたいものがございますので……えへッへ、、、、その、何でござえますよ。江戸の按摩道玄さんからの遣ひの者と仰しやれば、お判りでござえます」

「へえ！では鳥渡お待ちなすつて下さい。お内所へ知らして參りますから……」

「どうかまア宜しくお願ひ申しますよ」

若者が奥へ這入ると、駕籠舁きは上り框の板敷に腰を下し、縞りと流れる汗を拭いて居つた。間もなくのつそりと、そこへ立ち現はれた六十近い、白髪まじりの爺が

「道玄さんからのお使者と云ふのは、お前さんかれ？」

「へえ、左樣でござえます」

ヒヨイと後を振返りざま「して お前さんが武州屋さんで？」

「はい。待ち兼れてゐました。では早速玉をこちらへ連れてきて下さいよ」

「え、それが……」と、もじもじしながら四邊へ氣を兼れ、囁踏ふ素振りをみせた。

第二十一回 滿日勝繼碁戰

（高本氏二回 勝三回目）

二段 大磯 義勇氏
四子 高本 吉郎氏

【八】

○百四十一カ	一●百四十二ヨ	一
○百四十三ワ	一●百四十四ヨ	七
○百四十五タ	九●百四十六ヨ	四
○百四十七カ	五●百四十八チ	九
○百四十九チ	八●百五十カ	九
○百五十一ワ	八●百五十二タ	十
○百五十三タ	二●百五十四ヨ	二
○百五十五ツ	六●百五十六ソ	五
○百五十七レ	三●百五十八レ	四
○百五十九ソ	三●百六十レ	一

キネマと演藝

大都會

（爆發篇）◆「勞働篇」に次ぐ「爆發篇」牛原、田中、藤野、傳明、水谷の好きメンバーが完成した八巻物、此のスタツクだけで大衆を完全にアッピールして行く事は出來やうが、映畫其のものとしては非常にアツケない物である、アルヂヨアの息子なるが故に世間より白眼視され、父の惡評に苦しめられる一青年が、たまく結婚問題より小間使と憤然家出をする、筋は唯それだけである

◆此の映畫の性質に對して階級意識の尖鋭さを云々するのではないが、あまりに社會に對する認識の不十分さを殘念に思ふ、結局野田高梧は脚色家であつて原作者ではない事を明かに物語つてゐるわけだ、牛原の監督は非常に輕い、見てゐて氣持がよい、殊に前半のテンポの明朗さ、時に見せる仰角撮影の味は切迫した氣分をあふるのに充分だ――但し牛原さしては此れ等のテクニックは問題でないかもしれぬ、樂な監督であつたらう

◆アルヂヨアの息子道夫は傳明、父を藤野、小間使お八重は絹代、以上三人は例の如くピッタリ意氣が合つてゐて、今更云々する必要が無い程完全な演技である、それよりも珍らしいのは道夫の妹になる龍田靜枝だ、從來さすつかり趣を變へた演技振りは充分ほめるに價するものであらう。（一）

焰のスナツプ 八日から帝國館に上映される下加茂作品阪東壽之助主演の「焰」のスナツプ寫眞左から二人目が壽之助

奈良丸沿線巡演
各地の襲名披露日程

旅大に於て大好評を博し名實共に日本一の貫祿を充分に示して浪曲ファンを熱狂せしめた一若改め三代目吉田奈良丸一門は六日の沙河口劇場出演をお名殘に旅大を打揚げて沿線巡演に上り今七日の鞍山演藝館を振出しに左の日程で各地に於て襲名披露をなすさ

七日鞍山（演藝館）▲八、九日長春（演藝館）▲十日四平街▲十一日遼陽座▲十二、三、四日奉天（演藝館）▲十五日鐵嶺▲十六、七日撫順（公會堂）▲十八、九日安東劇場

筑前琵琶大會
野浦氏出演

筑前琵琶界の巨匠として知らるゝ神戸在住の法上山野浦師の來連を機として大連旭會にて九日午後六時より大連□□に於て演奏大會を催すが、當日のプログラムは左の如くである

▲新曲義俠の鑑（吉久旭□）……野の最後（原旭和）▲梅田雲濱（法帰山德重旭一）▲笠置落（法過山廣瀬旭榮）▲新曲斷琴（法人山田中旭陽）▲金ケ崎（法帰山松岡旭芳）▲伏見の吹雪（法塔山大林旭遂）▲阪本龍馬（法愈山川原旭華）▲常陸丸（法祭山大賀旭榮）▲新曲大石主稅（法上山野浦旭蓮奏）

噂話

樂壇をあつと驚かしてきのふ飛行機で東京から京城に一泊しただけで飛んで來た民謡歌手の佐藤千夜子孃▲十年前に出た時、大連劇場の舞臺から「あの町この町日が暮れるく」を歎へて行つたが今度はあの町この町飛んで來るくてるく坊主」も大いに宣傳しるべの前日眞に降つたのだつたが、出發の前日皆が集つてテルく坊主をつくつて「明日天氣にしておくれ」と歌つた甲斐があつて當日は秋晴れの空をしばらく東京に左樣なら▲これだけ聽いてゐると如何にも景氣がよいが、ほんとうのことは愈々乘るとなつたら生命が惜くなつたのよ▲生れて始めてあんな嚴肅な氣持を感じたこと柄にもなく小さな聲でこれはレコードに吹きこまないことにするわ

ラヂオ

大連 JQAK　九月八日

自午後三時五十分野球連絡放送實業對龍山

自午後七時

▲ラヂオ體操

▲露語講座（第四十六課）大連語學校グロースマン

▲レコード（シヨー、オブ、ショーズ）（絃樂四重奏の爲の三ツの小曲）（ランテラフリエート、クラリネット・オーケストラ）

▲長唄（新曲有喜大盡）唄杵屋正春同第一千代喜家金太郎、同照花三味線杵屋正壽郎、同鴨井淸子同第一千代喜家音丸

▲社會劇（一家を支へる女性或る事實譚によるもの）荻原留吉（植雅二）長男啓一（青山保夫）次男浩二（淸水破）長女おさよ（大内嘉子）刑事鹽崎（辰巳勝義）子供の唄（鈴木義江）

▲職業紹介事業

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京 JOAK　九月八日午後七時

▲長唄（土蜘蛛）唄杵屋勘次、同福次三味線同藤綾子、同長壽

▲尺八（蟋嘉流し）水野呂童、加藤孤童

▲歌劇拔萃　松平佐登子、植村政子、喜田又兵衞、内田榮一、ヴオールフオア合唱團、日本放送交響團、指揮ニコライシフエルブラツト（一）管絃樂カルメン前奏曲ビゼー作（二）獨唱内田榮一フイガロの結婚、もう飛ぶまいぞ（三）二重唱松平佐登子、シロタ、トラバトレー、主よあはれみ給へ（四）二重奏松平佐登子、内田榮一、ドンジオブアンニ、其の手を我に（五）二重唱植村政子、喜多又兵衞、サムソンとデリラ、曉の花と心は開く（六）二重唱松平さと子、内田榮一、タイス、おゝ神の使よ（七）二重唱松平佐登子、植村政子、フイガローの結婚、手紙の唄（八）合唱タンホイザー行進曲と入城の唄

ペーブメント

東京で朦朧タクシーを巧みに値切つて乘ることがモガの資格があるやうに大連でも赤、バレ時に映畫館の前なぞに集る朦朧タクシーが隨分怪しげな營業をやつてゐるらしいが、自動車組合が出來て料金が統一された今日でも尙ほ朦朧は値切ればまけてゐるので夜更けた街を飛ばすのに五十錢玉一つやつては面子にかゝわると尖端人が頑張つてゐる、そこで組合でも今度内規を作つて例へ一錢でも五厘でも負けたのを發見したら百圓の罰金を出すことになりタクシーの主人なぞが客に化けて朦朧をつかまへて値切つて歩いてゐる、これを聞いた夜明し雀がこの際と許り自動車には安く乘つて疲れた脚をはこんでその上に百圓丸儲けの新商賣に夜更けのペーブメントを流して歩くスピード時代の夜の大連新風景

短歌寸評

池内赤太郎

合萌(九月號)

○　西澤流

午後かけて暑くなるらし近き樹にみんみん蟬の啼きいづる聞けば

氏の歌態はこゝらでもつと拔けて來てもよさゝうである。この歌の遺憾は想が類型的なことである。この歌の語言へば「近き」が利いて居らぬ。

○　安倍猶

村民大會のはかられしさふ故里は恐ろしきものを孕めるごとしも

內に藏するものがあつてよい。惜しい事には結句の「も」で感銘を濁してゐる。こゝでは殊更「も」の必要を認められない。「如し」でピンと來るものがある。

○　西島貞子

氏の素質の素直さは水島双葉時代から變らないものがある。たゞこの氏に堅き信念が缺けてゐるところ甚だ遺憾でならない。そこをどうかして貰ひ度い。

霧雨に濡れし生垣さほり越し郵便配りさなりへ寄りぬ

「生垣さほり越し」は實相に觸れてゐる。こんなところから、ぐんぐん押し出して貰ひたい。この歌は一隅に止まつてゐられない時である

雜草のほしいまゝなる庭べたはづか隣へ徑はかよへる

實相の現はるゝところがない。「ほしいまゝなる庭べた」「徑は通へる」ともに調が低い、一首低調に墮し雜報歌となつた所以である。窮局の問題は、結句にあらう。ここは「踏みならす徑」ときつぱり据えて、第一二句を「雜草はほしいまゝなり」と詠歎すべきところであると思ふが、氏はどう思はれるであらう。「漸くに乘り得し」の一首等感心出來ぬ。

○　今井順吉

地の上の燈影みながら久方の月に溶けたる面白の夜や

氏に限らず國語學者の歌は概れ常識的なところがある。井上通泰氏等にしても矢張りさうだ。どう云ふ譯であらう。この歌氏の意圖したところは解るが感動がない。何だか頭で作り上げてゐると云ふ感じがする。感動に卽ししつかり實相に觀入して歌ひあげて貰ひたかつた。「地の上の燈影」でもこれに自然と復數の感じか添つてゐるとよいのであるが、動きのとれない堅い句で復數感が生じないから「みながら」が利かない。「久方の月」は月の個體だけの感じに終つて月光の感じがない。從つて「溶けたる」が利かないから作者の意圖したところが現はれない。「溶けたる」は觀察が容易でこれでは光景を彷彿せしむるところ到底ないであらう。「面白の夜や」に至つては歌作者の最も戒心すべき點で斯う云ふ風に主觀を露出してしまつてはならない處であるまいか。

小さきものめぐしうつくし共母のまだら若さ見るがかなしき

「小さきものめぐしうつくし」は矢張り常識的概念的である。一般に容易に通づる代りに生動するところがない。「小さきもの」が「その母」さいふ詞で漸く幼子たることになるのも小生等にはまだるつこいのである。「めぐしうつくし」と共に具象的にあつて欲しい。「まだら若さ」も若さの實相を具象的に捉へて來れば「若い」さいふこゝに共感できず妙趣が生じて來ない。

岡麓氏作に

みどり兒は立ちて步めりゑみはやす母の若ければわれはかなしき

さいふのがある。

序を以て云ふ。氏が我々若輩の仲に伍して歌道のために精進されるる一事は大いに尊敬せねばならぬところと思ふ。

○　大下三雄

うからゝの朝餉にさわぐさま見つゝ身體けだるく朝床になり

事務なさる暇をぬすみて書きにけむ友の手紙は短かゝりけり

氏にはこれ以上に出て貰ひ度い。「さま見つゝ——朝床になり」「友の手紙は短かりけり」は共に殆ど常套的に感じる。こゝから一步も二步も踏み出し得る氏と思ふが如何。

○　三宅豐子

つきつめてものを思へばおほかたのうつし世事は寂しかりけり

まれにさへ思ふことなき人の俤まざまざと昨夜の夢に見にけり

現し方が率直でよい。二首ともよく調が出てゐる。

○　安見士筆

うちはの音けだるく聞ゆ隣室の友も今宵は寢られぬらしき

年齒から來るよい味が出て居り、生趣がある。氏の特質は感受が軟かくて鋭である。表現もかなり素直にいつて居るが、そうした天分に任せ過ぎて苦勞を缺ぐような事はあるまいか。

ひそやかにもの云ひかはし子供らは声かげにさんぼれらひゐにけり

矢張り感受は女性らしく軟く鋭くいつて居るが、餘り苦勞を經てない。氏は結句「ゐにけり」を「ゐるなり」とすべきに何故氣づかれなかつたであらう。茲を「ゐにけり」と過去的句法にしては、子供に對する愛憐感——作者感動の調が徹底さならざるを得ない。明瞭に「ゐるなり」と現在にすべきところである。斯して初めて「ものいひかはし」「聲かげに」等が生々と動いて來るばかりでなく一聯の感動がピンと來るのである。氏はこの一首の重要點を顧みてよい。

纏言へば

吾が憩ふ芝につづける山原に夕日照りはえ人下る見ゆ

にしても氏は三四五句に全心を集中すべきであつた。この歌に於いて作者の位置等は表現上關心を要しない點である。

窓に置く鬮の葉ゆれのそのまゝに疊にうつり月さやかなり

この歌に至つては破綻が一層ひどく、甚だしくゴタついて居る。「そのまゝに」等不用な言葉が綴まつてゐるからである。第一句も工夫を要し、結句も月光の感に照る感じが表れてゐない。「月さやかなり」が安易だからである。この邊に今一段の苦心が望ましい。

一興一首　中禪寺湖

小杉放庵

うば玉の黑髮山に雲立ちぬ舟人急げ雨る來らし

一興一首　出羽の山の湯

小杉放庵

山の湯の今日の一日は世心をなげうつべしと朝の酒のむ

紅茶の後

エロとは何ぞや

A「エロ・エロと頻りに書いてあるがエロて何だい?」

B「エロ女給てよく出てゐるだらう、あれさ、エプロンをつけたる」

蚊よけにもなる

女給が風紀を紊すから喧しくて手ッ取り早くエロさいふんだい」

恐い小父さんがカフエーの薄暗い赤い灯や青い灯を廢めさすさいふの色氣のでない連中大喜び

「これで蚊にさゝれなくて助かる」

タイレンを語る

——エロチシズムの缺乏——

(二)　橫澤宏

わたくしがエロチシズム缺乏の大連を歎いた所が、わたしの知人が組織した一つのエロ・グロな話を持ち込んで「大連を語る」の訂正を要求して來た。

更に——某日常盤座階上においてわたくしは一人の奇しき少女を發見した。

かの女は黑の洋服に、黑い帽子を眞深に、膝から腿の邊迄露出させ——そうしてかの女は魚類の持つやうな蒼白い感覺の體臭を發散させる、美人ではない、だがかの女は體臭的な魅力を持つ——おそらくかの女は深更街頭に艶態を發見したならチッチャな手を紅葉のように散らして

「ハロー!」

と呼びかけるだらう、そして豎靴其の異常な體臭を發散させる身體を美しいホテルのベッドの上にクネクネさせるであらう。

わたしは、それを想像するに難くない。

わたくしは斯うした少女の出現に興味を持つ、そして最近續出する「酒場」なるものと結び合せて其の一點から將來發展するであらう一つの世界を想ひ描く——既にキャフエ時代の崩壞が到來したのである。

今あらためてキャフエにエロチシズムの存在を求める事は愚なことかも知れない。

何故なら、わたしは斯う思ふのである、恐らく現今大連に行はれるキャフエなるものが「あそび」の範圍から遙かに遠のいてしまつた、キャフエそれ自體が營業であり之れに附屬するキャフエ・ガアルが一種の勞働者化し來つた、これがキャフエを自壞せしむる誘因となつたのである。

享樂は確に「勞働」ではないのである。

勞働を無視した、生產を無視した「消費」が街頭に出て來て始めて享樂がある、其處に所謂モダンライフさいふものが展けるのだ。

勞働と生產を看板にするキャフエに享樂が產れたら大變である、享樂のない所にエロチシズムが發生したならバケモノ

わたしは最近全くキャフエに興味を失つた。

そして近く變へられるであらう當局のキャフエに對する彈壓を愉快に思ふのである、何となれば此の彈壓が現在のキャフエに如何なる變化を招來するか——おそらく聰明なるキャフエ・ガアルは古き自分の嬌態を放棄するだらう、そして新たなる世界を展開するだらう、かの女達は前記の少女のやうに街頭を舞臺に活躍するであらう

——そのためにかの女達は一層エロチシズムの尖鋭を沁みるであらう、わたしはそこまで資本主義壞滅ののたうちが烈しくならなければならないと信ずるのだ。(續)

СОРОК ШЕСТОЙ УРОК.

А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы обыкновенно встаете.

Б.—Я обыкновенно встаю в семь часов утра.

А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы обыкновенно ложитесь спать.

Б.—Я всегда ложусь спать в одиннадцать часов вечера.

А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы легли спать вчера вечером.

Б.—Вчера вечером я лег спать в десять часов.

А.—Так рано вы ложитесь спать.

Б.—Да, я всегда ложусь спать в это время.

А.—Скажите пожалуйста, где вы были вчера вечером.

Б.—Вчера вечером я нигде не был, а был дома.

А.—Скажите пожалуйста, будете ли вы дома в это воскресение.

Б.—Я хорошо не знаю, может быть, буду дома.

第四十六課

A.—貴方は大概何時に起きますか　どうぞ云つて下さい。

Б.—私は大概朝の三時に起きます。

A.—貴方は大概何時に御休みになりますか。どうぞ敎え下さい。

Б.—私はいつも　晩の十一時に寢ます。

A.—貴方は昨晩何時休みました。どうぞ云つて下さい。

Б.—昨晩私は十時に寢ました。

A.—そんなに早く貴方は休みますか

Б.—そうです私はいつも此の時間に寢ます。

A.—昨晩貴方は何處に行きましたか。

Б.—昨晩は何處にも行きませんで內に居ました。

A.—貴方は此の次の日曜日に御在宅ですか。どうか敎えて下さい。

Б.—私は　はつきりわかりません，多分內に居るでしよう。

飛行士　(一)

ヴ・イティン作　浦路觀譯

譯者註　一九二七年國營出版部發行です、作者の名はあまり知られてゐませんがルーボルのネスメーロフ君か非常に好評を博してゐると言つて私にくれた本です、少し長い短篇創作ですが、取材が面白いから譯して見ました

こゝの飛行場は綺に蔽はれたロシアの飛行場を見つけてゐる目には新しい感じのする灰色だつた、左の翼の端を通して飛行場の隅に置かれてあるさても大きなスリーム、ローラーが目につく、このローラーが例の巨大な石を轉がし乍ら飛行場を均すのだなアさうなづかれる、

チャンツエフは自分の乘つた新鋭の「K四號」が車輪を地上に觸れ始めた瞬間、こう言ふ大型機には適した凹凸のない固い地面であることを感じた、チャンツエフは子供のやうな御挨拶でわざとローラの方に舵をつつた、

今度の飛行は至つて平易な飛行であつた、空氣の大洋は丸で午睡してゐるやうだつた、地上は——道路と言ふ道路は何處でも耕地や牧場や道路やが丁度水族館でものぞくやうであつた、チャンツエフは非常に歡迎された、然し危險はこれからだ、急にきれてゐる地平線の彼方には山岳が水色にかすんでゐる。

同乘機關士のエルテイシエフは愉快なロシア人だが、彼は更に大きな不安を感じて何も見ないで機關にかじりついてゐた、彼は飛行家としての新らしい素養は持合はせてゐなかつた、が然し一日中飛行場での自分の仕事——飛行機の修繕や組立てに押し込められてゐるのに飽き飽きしてゐるので自分から進んで今度の飛行に參加したそれで彼は今から考へてゐる(外國と云ふ所は兎も角常に敵意を持つた狡猾な外交術の行はれる所だからチャンツエフの尻馬に乘つてゐれば大丈夫だ、彼奴は自分の仕事も上手だが何しろ元の飛行將校だから色々の社交術も心得てゐるに違ひない)さ

早速彼等の飛行機に灰色のヨーロッパ式の服裝をした男が近づいて來た、その男の步くのは遲いがそれでも急いでゐると見えてステッキを忙しく振廻し乍ら來る、チャンツエフは確ロシアの飛行家達であつたと思ふが、外國人と見ればすべて技術家であるかの如くに思つてそれに眞似る獨特のスタイルを思ひ出した

——飛行士エッツであります——

と近づいて來たその男が言つた

彼は飛行倶樂部からの祝詞を述べた、言葉がよく解らない、大部分は外國語を言つてゐるやうに聞こへる、彼のロシア語は遲いけれどももしかし正確だ、それで彼がロシア語を解すると言ふ理由で彼を吾々の出迎へに寄越したのだなアとチャンツエフは思つた、エッツはソウエートの飛行界の成功さか今回の企てが勇敢であることなどきまりきつたお世辭たつぷりの挨拶をした、チャンツエフは手を擧げて答へた、そして自分の飛行機——事實普通の型とは異つてゐる飛行機について喜んで說明した、エッツは微笑をたゝへながら聞いてゐた、この飛行機は新しい陸軍機で「保守黨への復讐」の中の一機である、保護色を用ゐずにアルミニウム色にテカテカ光つた色でぬつてあつた、そして郵便機と稱せられてゐた、エッツは丸で他人の馬に乘る人のやうにこの新型機を見守つてゐた、彼の眼はオレンヂ色に射る夕陽の爲かそれ共職業的の遠慮さからか火のやうにギラギラ燃えてゐた

夕日は何時ものやうに暮れていつた、飛行家達はホテルに運ばれた、二人が一緒に風呂をあびて新しい服に着かえて時に彼等は早速晩餐に招かれて、飛行中は夜に入つてから夕食するのは何時ものことだつた、チャンツエフは成るべく流動物許りを採ることにしてゐた、この飛行倶樂部の晩餐會には勿論酒が出たが彼は自分の主義として大飛行の時は一滴も飲まぬことにしてゐると言つたので他の人々が躊躇的に驚いて見せた、ザクースカや野菜や糖菓などはチャンツエフの意見に從ふと不消化物だそうだが、彼はそれで何にも食はずに空腹のまゝ席を立たねばならなかつた。

彼の頭には夜のレストランがはなれなかつた、自分で勝手に註文した美味な御馳走、音樂、そうしたものが彼を非常に魅惑した、それである、それで彼はエッツに「ヨーロッパ式のレストラン」と言ふ言葉が更に彼を引つけたのである、

——市中を見物させて頂きたいですネーときり出した、

エッツはすぐに贊成した、彼は晩餐會が豫想外に澁しかつたので自分も元氣が出た

こんなことの爲めに彼等は自然互に親みを増した、この飛行家達は年齡が殆ど同じだつた、年下のものと一緒になるのは何となく氣が引けるものだが、チャンツエフはエッツの頭に身分と同じ程度に白髮のあるのに氣がついた、

——行きませう、行きませう——

そこのドイツ人は繰返した、けれ共彼の剃り立ての顏には依然として顏色が惡い、病的に顏色が惡い、チャンツエフは餘計な者を連れ出したと云はぬ許りに顏を背けたが自分の世慣れないのに氣がついて顏を赤くした、

自動車は暫く丸石を敷いた車道を走つてから中央道路のアスファルトの上を滑つた、チャンツエフは微笑んだ、その靜かさや安全な無責任に……こんな言ひ方があるならば……彼は他人が操縱してゐる時には同乘者としても又旅客としてもその飛行機に乘ることを好まぬ男である、然しこうした一直線の道路——地上では俥へ女の運轉手でも信賴してよいと思つた、

この町は山の下から湧いて來る水が腸によいと言ふので二百年前から療養地となつてゐた、それはこの町にとつて何よりの幸福だつた、金で買へない幸福だつた、チャンツエフは見廻した、町はきれいに掃いてある、ぬぐひとつたやうだ、どんな強い風が吹いても塵一つ立つまい、市場臭い臭氣に滿ちてゐる各々の國の町とは丸で違ふと思つて、廣い並木町は金屬製の格子で圍んである、人道に沿つて高くはないが勿論造りのよい建物が並んでゐる、建物の一つ一つには夫々梨や林檎の木が植へてあつてこれも金屬製の格子を圍ぐらし六本づゝの支柱で支へてゐる、通行人は多くはなかつたがたまに來る電車が十字路の所に來ると青い火が赤く變る、馬車や通行人は一齊に止まつて又青い火が出るまで立止まつてゐる、或る角では一旦出た自動車が又後戻りをして立止まつてゐるのを見た、チャンチエフはよくホテルの廊下で度々顏を合せながら食堂に行くと隣のテーブルに坐つてゐながら口もきかないヨーロッパ人特有の几帳面な一面を茲でも見た、すべてそれらがあまりに正確に秩序正しく行はれてゐるので突然チャンツエフはその眞中にビール壜を投げてやらうかそれとも道路に輪繩を投げてやらうか、などゝ考へ出した。

牧逸馬著 この太陽 出づ

近代戀愛問題の總決算

蘭子の場合

日活女優 峰吟子扮するところの岸蘭子

良人と「そり」が合はない何に喧嘩をしたといふのでもないがたゞ「うまく合はない」のだ。かういふ夫婦が世間にはザラにある。蘭子は、その不快な桎梏の中から最も勇敢に躍り出した一人である。彼女の前には、人類が永い間かゝつて築き上げた凡ゆる制約が一切無能であつた。彼女は文字通り奔放自在に自己の意志を貫徹した。果々たる犠牲者の上を跳び超へて更に驀進した。資本主義が爛熟期に入るとかういふ女性が出現する

曉子の家が主筋で元雄の家は家來筋であつた。近代資本主義の荒波が此の關係を根こそぎ覆へして地位を顛倒せしめた、よくある例だ、其所に悲劇が胚胎する。尾羽うち枯らしたしもたやの娘曉子と、成上り大ブルヂョアの御曹司元雄との戀が阻止されて此所に此の美しく可憐な、涙と微笑と義憤と安堵を齎す物語が展開される。東日大毎兩紙に連載されて二百萬の讀者を飜弄した問題の長篇小説、新時代の戀愛清算書。

新鮮な感覺朗らかな筆觸

美しい友情と悲しい背信。淫靡な性魔と可憐な貞淑。僞と眞、重厚と諧謔の鉢合せ。この太陽を抱いて最後の勝を制し得た人は誰か。

此の物語にピエロの役を買つて出た人物―其名を犬丸老人といふ―彼は英語の本と將棋の駒をいつも懷ろに忍ばせてどんな事件の渦中にも飛び込んで行く。悲しきピエロでなくて、飄逸寡欲無邪氣朴訥な道化役者であつた。此の奇怪にして而かも有り得べき一つの性格描寫に『ユーモリスト牧逸馬』の面目が躍つてゐる笑はせて泣かせて複雜繚亂な筋の運びに讀者を飽かしめない筆の冴えは何と評すべきか。特に杉山と元雄との間に醸される友情と愛慾の二重鬪爭こそは至高至妙の藝術境である。

曉子の場合

日活女優 夏川靜江扮するところの山内曉子

船が横濱の岸壁を離れやうとする時、雜踏に紛れて彼女はスルリと其處から脱け出した。純にして貞淑な新妻と最初の接吻を法悦しやうとして男がギャビンへ降りて來た時彼女は其處にゐなかつた。京濱國道を東京に向つて疾驅する一臺の自動車がある。今、新婚の夫をひとり船の中にまいて來た曉子が、頑丈な杉山の腕に抱かれて其車に乘つてゐる、長い半生の冒險を賭して獲ち得た「この太陽」のさんらんたる光に浴しながら。

四六判上製 七五〇頁函入美本 定價一圓七十錢 (送料内地十八錢) 全國書店にあり

東京驛前 丸ビル五階 振替口座東京三四番 **中央公論社**

大は初號より小は三ポイントに至る迄の活字又は込物の仕上げ迄人手を用ひず自由自在に而も極めて正確に鑄造出來る最も優秀なる自動鑄造機であります

居りました本機の發明は今や印刷界の革命として各方面より多大の御稱讃を博して居ります

邦文ライノタイプは活字組版が一行づゝ一個の塊となつて鑄造される植字機械でありまして本邦に於て殆んど不可能とされて

改良と値下げで一般化されたる邦文モノタイプは新聞、雜誌、書籍等一般印刷物の活字鑄造と組版を自動的に處理する即ち鑄植機械です。又活字の自動鑄造兼用機として最も便利な機械であります

邦文ライノタイプ

本機は今や十有六年の試練を經て活社界の凡ゆる方面の事務に適應する實用臺型式を生じ實用臺數十萬臺を突破する盛況を呈して居ります。殊に最新のCL型邦文タイプライターに至つては完全の極致として御愛用を蒙つて居ります

萬能鑄造機

歐文併用 邦文タイプライター

邦文モノタイプ

日本タイプライター株式會社

東京・大阪・大連・名古屋・京城・札幌・横濱

社説

得意の難局
奉天側は如何に打開せんとする

張學良氏、北戴河より歸奉し、張作相氏また吉林より奉天に入り張景惠氏その他巨頭連も奉天に參集し將に對關內最高會議を開かんとしてゐる。南北の抗爭すでに久しく共に疲弊し切つてゐる際であるから奉天側の一擧手、一投足はその影響するところ甚大、從つて天下の耳目は奉天側の動き如何に集中される。それだけまた奉天側の責任も重く愼重なる態度に出でねばならず得意の絕頂にあるが如くにして必ずしも然らずといふことにもなる。

◇

南方は張學良氏に有名無實の副司令を以てし北方また有名無實の政府委員を以て迎へんとする。張氏としては取捨選擇、勝手自由の立場にあるが如くにして必ずしも然らず進退兩難の立往生中といふことも出來ぬのである。奉天側としてはこの得意の難局を如何にして打開せんとするか。最も支那の事情に通じ奉天派の情實に精しきものは結局、將に開かれんとする巨頭會議の結果を嚴正中立、些か積極的に出たとしても和平通電くらゐが關の山であらうとしてゐるやうである。そこには何らの新らしい政策も考へ出されず舊套に泥んで不得要領裡に嚴正中立、否、有耶有耶の中立が持續せられるのではあるまいかといふのが一般の觀測のやうである。

◇

張學良氏としては北方よりも寧ろ南方、殊に蔣介石氏に對し相當の好意を抱持してゐたやうであつた。以夷制夷を國內的に推論した遠交近攻の六韜三略よりいふもまた乃父作霖時代よりの事情よりするも張氏は閻錫山氏や馮玉祥氏らと歩を合はして行くことは困難であるともいへる。されば馬廷福事件を顧み走り込んで來た于學忠氏に對し張氏は于氏が馬旅長らと同じ方向に猪突して南方側の陰謀を成就せしめなかつたことを寧ろ不思議なことと做し大將の心事を部將共は解し得ぬと心中ひそかに浩歎したとも傳へられる。事の眞偽は詳でないが併し學良氏としては南方が濟南を奪回せば何とか局面が展開するものと食指を動かしてゐたのではあるまいか。然るに濟南は南方に奪回されたが政局は依然として動かず奉天側は依然として進退兩難の板ばさみにある。これ奉天側、少くとも張學良氏の豫料しなかつたところであらう。

◇

何といひ曲りなりにも安定すべくして安定せず天下鼎立の形勢にあるが鼎の一足たる奉天側も一歩を誤れば鼎を顛覆さするやうなことにならぬとも限らぬ。そこに張作相氏らの深慮遠謀が必要とされるのである。併しながら何事も姿勢消極策で事が濟むと思ふのは現下の板ばさみ進退兩難の窮狀を打開する所以といふことは出來ぬ。和平通電を發するも一種の局面打開策でないこともない。併しながら和平を通電する以上その通電に對する責任を取られねばならぬ。南方は閻馮の外遊を北方は蔣の下野を條件として調停者に要求するであらうがこれ容易に實行さるべくもなく結局、振り上げた拳の捨てどころに窮するやうなことがないとも限らぬ。そこに奉天側も深刻なる惱みが潛在する。

◇

何といふても奉天側は得意の難局に立つものであらねばならぬ。南北を双手に操ることが出來るのであるが一歩を誤れば東北四省は勿論、支那といふ九鼎大呂を引つくり返すことになるのである。ここにおいて吾人は張學良氏を首め張作相氏ら巨頭連の愼重なる態度を望むと共に毛ほどの野心野望の介在することの奉天側に頗る危險なることを警告せんと欲するものである。保境安民は何といふても東北四省最上の鐵則であらねばならぬ。この原則に時々、不純な野望が錯綜し來りそれが却つて奉天側の安定を動搖せしむることもなるのである。奉天側の現狀は前述の如く得意の頂上にあるといふとも出來るが併しその得意たるや難局を包藏するものであることを忘れてはならぬ。而してこの得意の難局を打開せんがためには事は最も平凡の如くであるが些の野心野望を介在せしめぬことが奉天側最後の安定を將來する所以となることであらうと思はれる。

條約案通過を豫期し 大藏省が減稅案作成
明年度は先づ千五百萬圓程度 海軍側にも之を通告

【東京特電七日發】ロンドン海軍條約に伴ふ國防補充計畫は目下海軍において立案中であるが大藏省では條約案が樞府において否決さるゝ見極めがついてゐる以上必ずしも其決定を俟たずとも國防補充計畫はこれを明年度の本豫算に間に合はすやう速かに大藏省に廻附すべきものであるといふ意見を有しその提出方法を海軍省に督促せんとする模樣である、而してその補充計畫と同樣の重要性を有つてゐる減稅についてはその立案に相當の時日を要することも明瞭であるから大藏省ではロンドン條約を成立するものとして愈々その具體的調査に着手することになつた、同省主稅局では今日迄減稅計畫の爲め各稅に亘つて基礎調査を進めてゐるがその減稅の種目については軍縮剩餘額が明瞭になつてゐない爲めに具體案の作成に着手し得ない事情にあつたが、然しこれ以上遷延を許さないので大藏省としては軍縮の目的に從ひ所謂剩餘金について大藏の見込をつけ先づ三千萬圓の減稅を目標としてこの範圍の計畫を樹てる筈であるが減稅額及び減稅種目は

一、營業收益稅の免稅點引上
二、砂糖消費稅の輕減
三、織物消費稅の輕減
四、淸涼飲料稅の輕減

などである、三千萬圓の減稅は大體平年度を目標としたものであるが明年度は多分一千五百萬圓前後に止めると見られてゐる

政府首腦者は自重
與黨の反樞府熱を抑へ 樞府側の反省を期す

【東京特電七日發】政府は樞密院のロンドン條約審査が一向進まずいろいろの難題を持ちかけて殊更に政府を苦しめやつてゐるが如き態度あるは怪しからぬとなし、七日某大官より談話の形式を以て

痛烈なる 攻擊的意見を發表したが、この事實を見ても政府と樞府間の感情が既に如何に激化しているか推測に難からず、樞府に對する政府の態度が從來克角その態度を擬せざらむ事に汲々これに努めてゐた實狀に徵し甚だ意外の感があるといはれてゐる、殊に時は將に條約案審查の眞最中にあるだけにこの發表なるものが政府の全意見と認められる場合樞府側にとつて激越な衝動を與ふべきことは明らかで樞府對政府の間は一層面白からざる狀態を逃るのではないかと見られてゐる、而も一方與黨少壯黨員間における

反樞府熱 は一層甚だしきものあり今後樞府にして何等態度を改めざるにおいては斷然たる措置を政府に希望するとともに樞府改革の一大運動を起すべしとの叫びが漸く熾になつてゐるが政府首腦者間においてはこの際好んで樞府と正面衝突を爲すは面白からず窮極の目的は條約の圓滿通過にあるから尙出來るだけ忍び速かにこれを解決せんことを希望する自重說も有力でその爲め與黨を抑へると共に樞府の反省を促す手段を講ぜむとしてゐる、孰れにしても八日の樞府委員會は兵力量に關し財政關係を主として質問續行されることになつてをり、問題の軍事參議官會議

補充計畫に關し 峻烈に質問せん
けふの精査委員會

【東京七日發電通】八日午後一時より開かれる樞府第八回精査委員會は先づ六日政府が審議促進に關し發表せる意見が冒頭より問題となる模樣で審議の遲延は政府の曖昧な答辯にも責任あり、しかも根據なき浮說により樞府を傷けんとする言辭を弄したるは如何なる理由によるかと難詰すべしと觀られる、政府の應酬如何では更に惡化した空氣を呈すべく而して前回では主として三大原則放棄問題につき質疑應酬を續出したが本會の審議豫定は補充計畫に對する質疑糾明であるので財部海相の說明如何では補充計畫の國防上完全ならざる諸理由につき最も峻烈に追窮すべく更に補充計畫遂行に關し海軍側が政府より得た財源保證の一札も俎上に上せられるものと觀られ第九回目上藏相を招いて右遂行の財政方針の說明を聽取する場合に質ぜんとして居るもの〻如くであるから本日の委員會も前回同樣全委員發言し依然政府攻擊が續けられるであらうといはれて居る

春答文の 提示要求如何の問題を孕んでゐるので樞府が今後政府に對し果して如何なる態度を以て臨むか頗る注目すべきものがある

條約通過を確信
總て濱口首相に一任

【東京七日發電通】ロンドン條約問題に關する樞府の態度に對し與黨においても一部少壯派は樞府廢止の急進意見を發表し更に十日新橋東洋軒で院外の有志代議士會で重ねて意見交換の豫定である、しかし幹部にては依然自重論を採つて急進派を抑へてゐる卽ち樞府における二上書記官長の態度は徒に宣傳な事とし不可解の點多き故警告を發するは當然であらう又精査委員長にもその行動の危まるるものあるも樞府の大勢がこれ等に引ずられ條約の運命を危殆に陷れるとは信ぜられぬ殊に本問題については首相は牢固たる信念を有して臨んで居るから我黨は首相を信賴し今暫く樞府の出樣を監視すればたり

江木鐵相 園公訪問

【御殿場七日發電通】江木鐵相は去る五日濱口首相との打合せ協議の結果に基きロンドン條約の樞府における審議經過を西園寺公に報告のため七日朝東京發午後二時御殿場別莊に老公を訪問約一時間半に亙り經過及び今後における政府の對樞府決意につき詳細說明諒解を求めた

幣原外相出席
けふの委員會に

【東京七日發電通】四日發病した幣原外相は七日診療の結果腎臟に二つの結石あるを發見したが別に疼痛はないので八日には登廳し樞府精査委員會にも出席の豫定である

小泉遞相病む

【東京七日發電通】小泉遞相は四日夜半突然南品川の自邸で激しい腹痛と高熱に見舞はれ五日平山博士の診察を受けたが病名は不明で飮食物一切攝取し得ぬので相當衰弱を來し自宅に靜養してゐるが七日は幾分快方に向ひ何等憂慮すべき狀態にない右につき平山博士は「職務の疲勞から胃腸を害したものと思はれるが大して心配すべき病氣でない」と語つた

百名の鮮人共匪が 間島地方で大暴れ
頭道溝のわが領事分館にて 機關銃を据つけ警備

【間島特電七日發】去月卅日午前三時頃頭道溝を距る約二里の大東溝居住鮮人金光方を何者か襲ひ金夫婦および長男(一七)を銃殺し二男(一)以下五男の**四人を生きながら燒き殺した**事件あり、調査の結果右は百名より成る武裝鮮人共産黨員の所爲と判明、日支官憲は嚴重搜査中のところ彼等は七日午後一時頃頭道溝附近の新場里居住支那人富豪朱某方を襲撃し**家族數名を殺傷掠奪し**更にその一隊は三道溝および頭道溝**官用電線を切斷後三道溝市街を襲撃**したとの報に支那軍隊出動し臥龍洞において共匪の一團と遭遇戰を演じ彼我數名の死傷者を出し今尙交戰中であるが、電信電話不通のため詳細不明、なほ頭道溝市街も共匪の來襲說に大混亂を演じ避難民續出してゐるが領事分館では機關銃を据えつけ極力居留民の保護に努めてゐるが今の處同地に危險迫つた模樣なく共匪は支那軍隊に擊退されつゝあり

蔣氏萬一を慮つて 和戰兩樣の準備
國民の信望北方派へ

【天津特電七日發】北方政府の成立は南北の軍事的抗爭より政治的對立となつたもので委員の顏觸れを見ても閻錫山、李宗仁、馮玉祥の三氏は實力家として曾ては南京政府の重鎭であつたのが今回完全に南から

北に移り その重要さは同一であり汪精衞氏の鷹岡における地位は胡漢民氏に比して遜色なく唐紹儀氏の資格聲望は裕に譚延闓氏に優るとも及ばざることはない謝持氏は西山派の御大で南方の林森氏に匹敵するとせば双方の人物は均勢に在ると見るべきである、卽ち南北兩政府の委員は國内の重要人物を兩分して對立することになつたが近く今後の施政が互に理論において實行において見物となる譯であるが南京は成立以來

三ケ年間 その合法を誇るも政治に對しては國內に相當の反感多くこの三年間戰爭のみなら建設の見るべきものもなく最近殊に共産黨匪の猖獗を放任して人民を苦めつゝあることは最も非難の的となつてゐる、これに反して北方政府は漸く產生したばかりで處女の若々しさを有ち當局が留意して行政に當らば國內の信望を獲得するに幾パーセントか有利の地位に在ることにおいて問題となるのは東北が孰に加擔するかといふことになるが南京側では蔣介石氏の今回の最後的攻擊が

奏功せば 問題でないが然らざれば蔣氏の立場が益々苦境に陷るものとして早くも張學良氏を動かして南北の政治的解決を目論見るに至り張群氏をして張學良氏に說き和平通電を發せしめやうとるといふ、反蔣側はこの一戰さへ喰ひ止めれば津浦線の優勝を僞ひ暗に東北要人間に飛躍せしめてゐる

北方派代表けふ 張學良氏と會見
その成行注目さる

【奉天特電七日發】北京の擴大會議を代表して張學良氏に北方政府參加を正式に勸告する重大使命を帶びた賈景德、薛篤弼兩氏は六日北寧線で來奉したが多分八日張學良氏と會見すべくその結果は北方政府の成否に關するものとして注目されてゐる

顧維鈞氏歸奉す
孫傳芳氏は昨朝來奉す

【奉天特電七日發】張學良氏に召還された顧維鈞氏は今朝北寧線で歸奉し、孫傳芳氏も今朝大連から來奉した

和平勸告 する場合は蔣介石氏の下野だけを條件にこれに應ずるだけの準備を整へ政府の成立を急ぐのもそれが爲めだと見られ

中國共産黨 天津で大會
支那官憲が警戒

【天津特電六日發】中國共產黨では來る十五日天津において第二次順直全省代表大會を開催する旨各支部に通告を發したが、右大會にては大暴動計畫について協議するものと見られ、これを探知せる支那官憲は大に緊張し共會合を未然に防ぐべく目下秘密裡に黨員の潛入を警戒し逮捕に努めてゐる

英艦共產軍に 射擊さる

【漢口七日發電通】沙市七日午前十一時來電によれば共產軍再襲逆襲し來り六日夕刻既に沙市郊外に迫り邦人全部午後七時再び軍艦鳥羽に收容避難した全市極度に動搖し市中警戒嚴重である尙英艦レデーバード號は沙市入港の途中沙市下流六里にて左岸の共產軍に射擊された

奉軍出動說の 眞相判る

【北京特電六日發】熱河の湯玉麟軍が通州へ出動したとの說は各方面から注目されたが事實は全く無根で十數年來毎年熱河の軍艦は今頃になると通州、楊村、廊坊の孰れかに阿片を運搬し來り天津、北京の商人と同地方で取引することを

中央卸市場問題と輿論

市の委員會に 諮るが順序
市會議員 金井章次氏談

卸賣市場の改善に際して市長が最初から各關係方面の權威者、有識者を委員に囑託して審議する事は

大對反て ある、市にさうした機關が無いなら格別だが現に社會事業委員會も特別委員會も組織されてゐるのだから、最初からそんなに範圍を擴げる必要が無いのである、社會事業委員會だつて特別事業委員會だつて矢張衆智を審議する事に變りは無い筈、況んや公正を期せらぬなんてそんな馬鹿氣た話が何處にある、市長が若しこの際斷々乎として改善に着手するなら先づ社會事業委員會か若しくは特別委員會に提案すべきである

意見を徵 して間らなかつたら參事會に提案するのも好い、參事會の同意を得たら市會に提案するのが順序である、市會においてを紛糾したら市長はその時になつて始めて前記の如き廣き範圍の委員囑託案を提出しても遲くはないのである、さうなつたら市會は必ずやその提案に贊成するであらう、初めからこの問題で他に委員を囑託するが如き事あらば徒に屋上屋を重ねる事になり市會は一層紛糾せん

手數料の 輕減必要
五泉賢三氏談

田中市長が今春上京した時東京で一しょになり東京、橫濱の卸賣市場を視察した、東京の本所被服廠跡でやつてゐる制度は生產者が運んで來る品物を問屋が預つたり市役所が預つたりして統一が採れてゐなかつた、神田の市場もそれと同一で目下の處原始的取引の形である、市當局はこれを如何に改善すべきやに頭を痛めてゐるやうだが、一方

橫濱では 市中十數ケ所に散在してゐる自由取引場を一ケ所に集めて中央卸賣市場と爲し精算會社を組織して所謂會社單一制にしやうと計畫中の模樣でした、私は大連の卸賣市場改善策として市營單一制にするか、會社單一制にするか、會社代行制にするかこの三案しかないと思ふが、この三案の中何れの制度が最も適當してゐるかについては相當研究する必要があらうと思ふ、要するに現在の制度では生產者の賣値と消費者の買値に餘りに開きがあり過ぎる、だからその中間に介在する問屋の

問屋制度 など必要あるまいと思ふ、しかし生產者、消費者の需給關係を圓滑ならしめる爲めにはどうしても手數料が多すぎるから先づ問屋の手數料を輕減するといふのが私の結論である、かうした理想が實現されればよいが未だ中央卸賣市場や、會社單一制となるには中々其所まで行かねばならないのではないかとも考へられる

北方政府の 承認交涉
顧維鈞氏が當る

【北京特電七日發】汪精衞氏と顧維鈞氏は政府成立後の外交問題について協議を遂げてゐるが政府成立後直ちに外交部より對外宣言を發表し同時に列國の承認問題について顧維鈞氏が主となり交涉を開始することに略決定した模樣である

高軍渡河了る

【北京特電六日發】本年二月以來鄭州に籠城してゐた高桂滋軍は津浦線方面から完全に北岸に渡河を完了した、高氏は目下石家莊に赴き閻錫山氏と會見中

勞農東鐵株 讓渡說出所
根據無き捏造

【奉天特電六日發】東支鐵道の露亞銀行持株を米國資本團に讓渡する交涉成立したとの說は既にその事實無根なることが判明したがその風說の由來に關し當地某所に達した報告によればドイツグルマニア新聞が八月二十日二十七日の兩日に亙つて露亞銀行の東鐵持株を米國側に讓り渡する目的を以て露亞銀行はその代表者として米國資本團と交涉中であるが近く成立する旨

經濟鬪爭へ 轉換急務
勞働側會長演說

【ハルビン特電五日發】モスクワにおける國際勞働組合代表者會議プロフィンテルは八月卅日にその大會を終つた、當日ブルガリヤ代表は九十名の新加入者名簿を朗讀した

亞國革命軍 首都占領
大統領行方不明

【アルゼンチン、ブエノスアイレス六日發電通】アルゼンチンの革命軍は首都ブエノスアイレスに逼り政府は軍隊を派して防戰中であつたが六日遂に首都ブエノスアイレスを占領した

臨時政府組織

【ブエノスアイレス六日發電通】勝利を得たアルゼンチン革命軍はウリバーン將軍を大統領とする臨時政府を組織した

菱刈軍司令官

【奉天特電七日發】菱刈軍司令官は森參謀長と共に本日十二時ヤマトホテルにおける官民合同歡迎宴に臨み十五時三十分發安奉線で連山關へ向つた

人事

▲山梨半造氏(山梨洋行主)七日歸連
▲古谷前顧問(大阪)同上

シカゴ市アダムス街

内滿選拔中等學校野球戰

7—1
大商の攻撃奏功し 遠征の柳中慘敗
きのふ第三日の試合結果

内滿選拔中等學校野球大會第三日目柳井中學對大連商業戰は七日午後三時十五分より實業球場において岩瀬(球)宮武、平田(壘)三氏審判、大商先攻で開始したが大商四回までに每回確實に得點して六點を擧げたるに反し柳中打撃振

▲第一回　大商徳永ストレート四球二盗に刺され谷口又三振梅本(兄)第一球を左翼右に二壘打し谷口二壘ホームに生還堀部の遊撃失に走者三進工藤遊飛堀部二盗に刺さる△柳井山縣三振一失に生きしのみ

▲第二回　大商因藤四球梅本(弟)の犠バンドに二進、白石右中間三壘打し因藤生還二者凡打△柳井吉村右翼線寄りの三壘打を放ち藤重の遊撃に吉村生還久保一飛重二飛

▲第三回　大商谷口三遊間單打二盗梅本(兄)三振堀部三飛失に生き工藤の三匍に谷口三壘に封殺因藤の右飛失に堀部還り野手送球の間に走者三二壘に進み梅本(弟)の遊匍一失に工藤生還白石の遊匍で梅本(弟)二壘に封殺△柳井新庄三振森岡二匍山縣四球和田右前單打に新庄二三壘に進み右翼手之を刺さんとし三壘に投球せしも三壘失し走者生き和田その間二盗したが藤山二飛

▲第四回　大商二死後谷口四球梅本(兄)左越二壘打に梅本(兄)一壘生還この間堀邊二盗せんとして二壘に刺さる△柳中吉村一匍トンネルに生き藤重死球吉村二壘投牽制に刺され久保三匍で藤重二壘封殺松重左飛

▲第五回　大商梅本(弟)四球に出でしのみ△柳井三者凡退

▲第六回　大商白石以下三者三振△柳井和田遊飛藤山三匍低投に生き二壘吉村の一飛に藤山重殺

▲第七回　大商谷口三匍梅本(兄)遊匍堀部三匍失に生き工藤三遊間單打堀部投二壘牽制に刺さる△柳中凡退

▲第八回　大商梅本(弟)四球に出でしのみ他は凡退△柳中新庄四球を利し二盗森岡投匍に新庄三盗せんとして二三間に挾殺さる山縣の遊匍で森岡二壘封殺和田の中飛失に山縣三進藤山投匍で和田二壘封殺

▲第九回　大商二死後梅本(兄)三強襲單打に生き堀部中堅左を抜く三壘打に梅本(兄)生還工藤遊匍△柳中吉村捕前ゴロ藤重四球青井(久保のピンチヒッター)三振松重投強襲安打に出たが藤重二壘をオーバランして野手の好投に刺さる

（寫眞說明）大商西田のチャムプぶり(上)鮮鐵土居千五百米に斷然永谷を抜いて勝つ(左)圓盤投に一等の鮮鐵藤田のフォーム(右)

（大商）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8 徳永	4	0	0	0	0	3	1	1	1	1
3 谷口	3	2	1	0	1	0	2	13	1	2
6 梅本兄	5	2	3	0	0	1	0	6	3	0
2 堀部	5	1	2	0	0	0	0	3	1	0
1 工藤	5	1	1	0	0	0	0	0	3	0
7 因藤	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0
4 梅本弟	1	0	0	1	0	0	2	3	4	0
5 白石	4	0	1	0	0	1	0	0	5	2
9 原田	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9 野田	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	34	7	8	1	1	6	6	27	18	5

（柳中）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
1 森岡	4	0	0	0	0	0	0	1	4	0
4 山縣	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0
2 和田	4	0	1	0	1	0	0	6	3	0
6 藤山	4	0	0	0	1	0	0	8	3	1
3 吉村	4	1	1	0	0	0	0	8	1	1
8 藤重	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0
5 久保	3	0	0	0	0	0	0	1	2	2
PH 青井	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9 松重	4	0	1	0	0	0	0	1	0	1
7 新庄	2	0	0	0	1	2	1	0	0	0
計	31	1	3	0	3	3	3	27	13	5

▲三打壘―吉村1白石1堀部1▲二壘打―梅本兄2▲併殺―大商1(谷口梅本兄)▲死球―工藤1(藤重)▲試合時間―一時間四十五分

青山御所に新御苑
御造營設計完成

【東京七日發電通】淳宮御殿の青山御所は殿下が今月末青山東御所に御移り遊ばされた後直に御取毀し明年度より長き通りで御使用の觀菊御會の御苑を御造營する事になりこの程内匠寮庭園係中島技師の手で設計完成したが總坪數四千三百六十餘坪を從來の同御所の御苑に接續せしめ八千餘坪とし中央五千坪には日本風の美事な廣芝を設け典雅な中に華やかな御會に相應しい種々の配置を施される設計である、御明治天皇が御母君英照皇太后陛下の御爲め御造營の由緒深き青山御所の能樂堂は御苑改造後適當の場所に改めて御造營する事となった

經過

はず僅かに二回一點を返せしのみ九回表再び大商一點を擧げ七點一で大商大勝した閉戰五時

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
大得點	1	1	2	2	0	0	0	0	1	7
柳得點	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

おらが大連の成長を語る（7）
一萬圓をつかんで氣が狂った小使君
二三ヶ月飲まず食はずで彼世へ
彩票に絡む哀な昔話

明治三十八年十二月から大正四年三月まで約十一年間續いた彩票は每月現なまの一萬圓をころり〳〵と誰かの懷へ落すんだから樣々の悲喜劇が起つた。或燒芋屋の亭主は一萬圓當つた爲め眞面目な男が急に遊冶郎となつて妻も子も忘れ家を捨て遂に一萬圓はおろか産も身も亡すに至り、或者は一萬圓當つたと誤認されて強盗に入られ傷され、又氣が狂つて了つた者もあつた、中には當つた金を基にして商賣を始めて財産を造つたり、世界漫遊に行つた者等有益に使つたのもあつたが、大てい當ると却て惡い結果を及すとさへ考へられてゐた。兎に角變なもので一萬圓といふ現なまが懷ろに轉げこんで來るんだから誰でも一寸ぼつとする、而も當る人は大てい一生かゝつても一萬圓はおろか百圓とかたまつた金を見たことのない樣な人に多い。

◇……◇

明治四十四年の頃だつたと思ふ、山縣通某商店に小使さんが居た、其處の支配人が彩票を買ふので丁度持つてゐた一枚の彩票を其の小使にやつて立つた、小使はありがたうございます、と貰つて持つてゐたが彩票抽籤當日、昔が店でわいわい番號を探してゐた、小使も何氣なく自分のを見てゐたが、どうやら番號が似てゐる。他の人が見ると果して間違ひなく頭彩一萬圓だ、それから大騒ぎで二、三人附添つて現金を受取つて來てやつた。銀行へでも直預けたらと勸めたが小使さんは、暫く金を手許に持つてゐたい、といふ、一生に見たこともない大金だから無理はなからうとあつて放つておいたところ、一日たち二日になつても小使部屋に引込んだきり新聞に包んだ札束を前においてニヤ〳〵笑つたきり物も言はなけりや、飯も食べない他の人が心配して入つて行けば恐ろしい權幕で金包を押へて放さない、三日四日も其の儘なので漸くだまつて醫者に見せたところ果して氣が狂つてゐた、漸く金包を取り上げてそれを銀行に預けてやり小使は内地に歸してやつた其男は二、三ヶ月の間と云ふもの食はず飲まず、寢もせず例の札束包んだものを前に置いたまゝで到頭死んで了つたといふ譯である。一萬圓はそつくり遺族の手に入つたが全く驚愕の樣に飛んでもない者によく幸運の籤が當つたものである。

◇……◇

明來彩票が廢止になつて今日まで幾度か熱心な復活運動があつたが賭博心を起さし良俗を亂すといふので何時も駄目だつた。不景氣が益々深刻な今日「彩票でもあればなあ」とは昔を知る大連人が誰しも洩らす嘆聲だ。

◇……◇

彩票も、確かに大連の社會相を物語る興味あるものだつた

三四點五―二三點五
大連に凱歌揚る
對鮮鐵陸上競技成績

朝鮮鐵道局局友會對大連アスレチック倶樂部の對抗陸上競技は七日午後三時より大連運動場にて華々しく擧行された、定刻中央役員席前トラックに兩軍集合役員長山岡信夫氏の挨拶に續いて朝鮮側網干主將大連側岡主將の握手後例の如く中央ポールに兩軍のチーム旗揚され後四百米より開始されたが三四點五對二三點五で大連側の勝利となり終了後再び中央役員席前に集合兩軍主將挨拶後六時盛會裡に終了した戰績左の如くである

▲四百米　一着深津(朝)五二秒六二着多田(大)三着川口(大)一着二着の差二米二着三着の差約五米▲棒高跳　一等山本(朝)三米五〇A二等西田(大)三米四〇三等石垣(大)三米二十▲高障礙一着鶴岡(大)十五秒三(滿洲新記錄)二着山田(大)三着喜田(朝)朝鮮の闘將網干第七臺ハードルにつまづき倒れ等外となる▲走高跳　一等鶴岡(大)一米八〇(滿洲新記錄)二等松田(朝)一米七〇三等瀧川(大)一米六五▲圓盤投　一等藤田(朝)三四米五〇二等星名(大)三一米九三三等田卷(朝)三一米六〇▲百米　一着金(朝)一一秒四二着中村(大)三着大久保(大)大連岡出でずスタートより非常な接戰を續け胸一つの差で中村敗る▲走巾跳　一等岡(大)六米六二二等瀧川(大)六米五八三等松田(朝)六米三七▲槍投　一等小林(大)五三米六九二等霜島五一米〇六三等瀬川(大)五〇米三四▲千米繼走　一着大連チーム二分四秒四、二着朝鮮チーム大連最初より一米をはなし朝鮮第二走者金、多田を一時追ひつめしもまた離され約四米の差で大連勝つ

	大	朝
四百米	3	3
棒高跳	3	3
高障礙	5	1
走高跳	3•5	2•5
圓盤投	3	3
百米	2	4
走巾跳	3	3
槍投	5	1
千米繼走	4	2
千米繼走	3	1
計	34•5	23•5

戰評

▲打擊走壘に一日の長ある大商軍に凱歌揚る▲一二回大商軍各一點を擧げたが二回裏柳中吉村快球をたゝいて三壘打となし藤重の遊匍で一點を贖ひファン一時ざわめいたが三四回の凡失續出で各二點づゝを與へ遂に敗る▲前半かくの如く得點の開きがあつたが、後半柳中好守僅かに大商に一點を與へしのみ二壘打二本單打一本而して好守の梅本兄主將の貫錄を充分示す▲柳中、未だゲームに若しといはんかゲームに堅くなり過ぎ思はぬ破綻を招く▲柳中の遊擊藤山二壘山縣一壘吉村の健闘を賞す

新進大いに跳躍
斯界の進歩を物語る
軟式庭球選手權大會

七日北公園及び乃木町コートで行された滿洲體協主催全滿軟式庭球選手權大會は午後に入るや觀衆も數を增し風次第に和ぎ盛會であつた、女子部は神明高女楠本、野木組斷然たる強味を示して優勝し男子部は昨年優勝組の後藤白木クオーターファイナルに敗れ優勝候補實藤、下重も慘敗し、全く新進活躍デーの觀あり斯界の進歩を如實に物語り末頼もしさを感じさせた、州外軍は營口の白木組が敗れた後撫順炭田、石井組孤軍奮闘したが準優勝戰に川久保組に一時相手を押乍ら大接戰の後に敗れ、遂に優勝戰は大連滿鐵同志の戰ひとなり接戰の末工藤、大石組の優勝となつた、閉戰午後五時十分、戰ひ終つて選手一同は本部前に整列準優勝戰參加の選手に林出體協主事より賞牌を授與し引つゞき優勝カップの授與式あり大會の萬歳を三唱して盛會裡に同廿五分散會した、夕刻既報以後の勝負左の如し

女子優勝戰
楠本　野木(四―〇)大野　法橋

男子之部
一勝戰

▲白木、安住(營口)四―一佐藤杉村(鞍)▲工藤、大石(滿庭)四―一黒澤、脇本(奨學)▲後藤、楠見(常盤)四―三成井、瀬崎(撫)▲炭田、石井(撫)四―二岡本、山崎(旅)▲齋藤、下重(滿庭)四―二赤川、富永(鞍)▲佐藤、田川(滿庭)四―一伊橋(日ノ出)▲原、赤松(撫)四―〇國松、石野(大商)▲上田、下重(中央)四―二津田、住田(滿庭)

二勝戰

大谷、片山四―一重岡、樋口、佐藤、田川四―一原、赤松、川久保、高木四―二根本、中島、臼木、安住四―三原、森、上田下重四―〇二宮、高橋、工藤、大石四―一後藤、楠見、内村、長沼四―一内倉、持原、炭田、石井四―一齋藤、下重

準々優勝戰

佐藤、田川四―〇大谷、片山、川久保、高木四―一臼木、安住、工藤、大石四―一上田、下重、炭田、石井四―〇内村、長沼

準優勝戰

工藤	四	四	四	二	五		二	佐藤
大石	二	○	四	三			二	田川
川久保	四	四	二	二	四			炭田
高木	四	三	五	一	○			石井

優勝戰

工藤	四	三	四	八	二	四	四	五	川久保
大石	二	五	○	十	四	一	一	三	高木

團體優勝戰で撫順大連を破る
州外相撲大會の盛況

【撫順特電七日發】全滿の人氣を沸騰せしめた州外相撲大會は七日午前十時より撫順において行はれたが、參加力士大連外十五チーム粒選り力士約百名、未曾有の接戰に片唾を飲む觀衆五千人、撫順チームは準決勝戰で奉天醫大を破り優勝戰は大連チーム撫順チームの取組となつたが三對二の接戰で撫順遂に優勝、時に午後二時、それより個人勝負、五人抜等で觀衆をヤンヤと云はせ五時頃盛況を極めて散會した

太平洋横斷機の出發地淋代海岸
絶好の離陸地がある

【青森三本木六日發電通】ブロムリー中尉の太平洋横斷出發地となるべき淋代海岸は滑走路として二千五百米突の平坦地あり、少し地均しをすれば絶好の離陸地となるので青森縣廳より係員出張種々準備に當る事になつて居る、同所は交通極めて不便の地で東北線路古間木驛より約二里餘であるが、通信宿舍の關係よりブ中尉等の關係者の根據とせる三本木町よりは六里あり八戸市七戸町より自動車をかり集め其の往復に當つて居る有樣である、折柄舊盆休みで近隣住民は勝利當で集まり時ならぬ賑はひを見せて居る、尚東北線三本木驛では今回の飛行のため特に七日より歐米電報をも取扱ふことになつた

三四日中に壯途へ

【青森三本木七日發電通】六日午前十一時五十分霞ケ浦より淋代海岸に着陸したブロムリー中尉ゲッテー兩氏はニコ〳〵しながら語る淋代は大變美事な處で多少土質が軟いがローラーをかければ充分離陸の見込がたつてゐる東京から氣象が良いとの情報あれば三四日中に太平洋横斷飛行につきたい

七A對五で駿臺勝つ
對三田野球戰

【東京七日發電通】三田對駿臺野球戰は七日午後三時より神宮球場にて池田(球)淺沼(壘)兩審判の下に三田先攻にて開始バッテリーは三田永井、塚越、岡田、駿臺八十川、赤城、井川結局七A對五にて駿臺勝つ閉戰午後四時五十分

スコアーは

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
三田	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	5
駿臺	0	0	1	0	4	0	2	0	A	7A

歐洲に比べて米國の驛は便利
日本でも眞似出來ぬ
沼田鐵道省技師の觀察談

【ハルビン特信】歐米のプラットホームを視察し米國に一年餘留學した鐵道省技師沼田政矩氏は五日の歐亞直通列車で着哈左の如く語つた

米國と歐洲の驛は構造と設備に根本の差異があります、米國は旅客の便利な爲めに片端から新形式―假令へば旅客の乘車するまでに於ける最短時間の設備をするため改造しつゝあり

旅客が
切符を買つて手荷物を託送し乘車するに最も便利なやう切符を買へば手荷物扱所を探さなくともスグ近くに設けられてある、ヨーロッパでは惡い驛が多く時に手荷物預けに其の場所を探さねばならぬが、米國にはさうした不便は全然ない、米國ではホーム内旅客以外は出入を禁止し見送人は開札口から歸つて仕舞ふので入場券は賣つてゐないが、ヨーロッパでは自働式の入場券を購入する設備あり出迎、見送人は東洋と同樣多數プラットホームにはいり尤も米國では全然入場が出來ないのではない、開札人にチップハンカチを振つてゐる者もゐるをやれば自由に出入は許して異れる個人的には

便利に
出來た點はある

市民射撃會の成績

第四十回大連市民射擊會は七日午前八時から春日池畔射擊場で擧行一般射手百六十名學生青訓射手百四十八名の參加あり、各々自慢の腕を揮ひ同午後三時終了したが入賞者は左の如くである

▲特、一等射手　一等島田行正(四五點)二等伊藤銀治(四四點)三等松野新一(四三點)外一人▲二等射手　一等曾我祐義(四一點)二等和田芳次(四〇點)三等島海周治(三九點)外十二名▲學生及青訓射手　一事津川一(四二點)二等多賀政雄(四一點)三等高橋忠孝(四〇點)外廿三名

三對二で撫順辛勝
對長春戰
全滿野球大會第二日

【安東特電七日發】全滿野球大會第二日の七日も絶好の日和で午前十一時廿五分より長春對撫順の試合が球水原、壘服部兩審の下に撫順先攻にて火蓋を切つた而して兩軍とも猛烈なる打擊戰を演じたが終に三對二にて撫順軍辛勝バッテリー撫順成松、渡邊、長春高橋、川上、杉田閉戰午後一時

列車の昇降、旅客の驛出入等は日本と變りはないが、ホームでホームの橋梁階段は梯形式で無く勾配を造つたものあり、階段を上るよりは便利だが急勾配にすることができぬため廣い場所を要し日本の如きホームでは一寸眞似が出來ぬ

赤十字大連支部
秋の巡回施療

日本赤十字社大連支部では八日から管内の秋季巡回施療を施行するがその日程は左の通りである

▲八日老虎灘▲九日石道街▲十日寺兒溝▲十一日北崗子▲十二日香爐礁▲十三日三春柳▲十四日周水子▲十五日華鎭堡▲十六日南關嶺▲十七日大房身▲十八日柳樹屯▲十九日海猫屯▲二十日甘井子▲二十一日爾家屯▲二十二日黄溝▲二十三日欒家屯▲二十四日小平島

尚施行當日雨天その他で實施し得ざる場合は最終の翌日より順次繰下げて施行すると

死者二千名
大暴風雨で

【サンドミンゴ六日發電通】當地一帶の大暴風雨の結果今迄に判明した死者總數二千名を突破した尚被害地方の維持は恢復された

記念の三色旗
バード中將からコスト少佐へ

【ワシントン六日發電通】大西洋横斷逆コース飛行に成功したコスト少佐に對し、南極探險の勇者バード中將は自分が南極迄持つて行つた記念のフランス三色旗を全米國民の賞讃と歡迎の印としてコスト少佐に贈呈する事となつた

面當の自殺未遂

市内沙河口元町九二番地張天概方朴乃俊(二三)は六日午前一時ころ阿片を多量に嚥下し附近の朝鮮料理店永樂方に至り「自分は今阿片を嚥下した」と訴へ苦悶し始めたので家人は大いに驚き直に滿鐵醫院に收容し應急手當を施したが、原因は林乃俊が嘗て病氣をなして居る酌婦を永樂方に前借四百圓にて紹介し間もなく女が死亡したので、樓主は病氣であるのを知りつゝ紹介したのは前借金詐欺であると數日前沙河口署へ告訴を出したのでその面あてに永樂に赴き自殺を圖つたものと判明、なほ生命は取止める模樣である

宿賃踏み倒し

市内吉野町六名古屋旅館々主篠原惣兵衞は京都市生れ三幣久(三〇)に對する所在搜査願を七日大連署に提出したが、三幣は名古屋旅館の宿泊料十五圓六十錢を未拂のまゝ去る卅一日逃走したものであると

漁業者施餓鬼

來る八日午後七時半より例年の如く老虎灘寺光寺境内に於て各宗布教師集り盛大なる漁業者の施餓鬼を修行し終つて老虎灘灣内にて燈籠流しがあり花火を打上げると

（昭和五年二十五月八日第三種郵便物認可）

夕刊
九月七日
大連市東公園町三十一番地　發行所　株式會社滿洲日報社

政府側を時々驚かす精査委員の秘密資料

軍機漏洩の疑ひあり　政府嚴重にその出處を探索

【東京特電七日發】七回に亘る樞府審査委員會においては各委員より種々の材料を提げて來て政府に質問してゐるが數多の材料中には政府及び軍部の首腦部以外には關知しない極秘的書類もあり或は、財部全權と加藤前軍令部長との間にて取交された東京、ロンドン間の秘密電報の寫しもあつて政府も時に驚き慌てる事も屢々あるよつて數日前の委員會において樞府側からこの等の材料に基いて政府側を追窮した時の如きは濱口首相はこれに對し「何處から左樣な材料を出されたか知らぬが」と前提して政府の立場を釋明した事さへあり政府としてはその材料の出處並に提供者について非常な疑ひを挾んでゐるやうである、殊に樞府の有する材料は多く海軍軍令部方面に關係してゐる點より見て或はこの方面より出てゐるのではないかとの疑惑をかけてゐるやうである、即ち材料の出處が海軍方面にありとすれば軍機上棄ておく事の出來ぬ重大事でありしかもその提供者が現役軍人であれば軍機を漏洩したもので軍規上嚴重に處罰しなければならぬからこの際飽くまでその材料の出處並に提供者を糺明して軍機の維持粛正につとめる必要ありとして此頃頻りにこれが詮索につとめ、もし大體の見當がつけば軍法會議に廻してゞも事實を明かにすべく重視してゐる

軍縮剩餘金の使途

減税と補充計畫費に　政府の對樞府答辯方針決定

【東京特電六日發】六日の井上藏相と財部海相の會談は五日の樞府の審査委員會で行はれた、ロンドン條約と補充計畫、減税等の質問應答に關するもので

あつたがこれについて財部海相の報告するところによると軍縮剩餘金使途に關する政府の計畫は大體既定方針通りで剩餘金の範圍内で減税と海軍補充計畫を行ふこととし剩餘金を一般歳入中より補充に向けることも一般歳入缺陥補塡に計畫財源の一部を補ふが如きことも考へて居らぬ、問題となるのは

剩餘金を補充計畫と減税に充當する場合の割合であるがこれは條約の精神たる軍縮の經濟的效果を考へて出來るだけ減税に振向け補充費は國防上必要の最少限度に止むることゝなつてゐる、而して樞府において

この點につき詳細なる説明を求めらるゝ場合は井上藏相及び財部海相より答辯することにならうがその答辯の方針は大體
一、軍縮會議の目的に即して國民負擔の輕減を計る爲め必らず減税すること
一、國防上の安固を期するため海軍補充計畫に對しても深甚の考慮を拂ひ財源の許す限りその實行を期すること
一、その財源の具體的振當に關しては未だ海軍側が補充計畫を大藏省に提出するまで纏つてゐないからその答辯を避けることなどを以て臨み補充計畫と減税の數字的關係については説明を避けること

大連へは初めて　あす關東廳訪問

けふはゆつくり市内見物　總税務司メーズ氏談

支那海關總税務司メーズ氏は夫人同伴支那駐在英國公使館參事官イングラム氏と共に七日朝入港の支那海關監視艦海星號にて來連岸本大連海關税關長を初め海關吏の出迎へを受け大連海關に入つたが氏は支那政局に關しては一語も觸れぬとの前提の下に岸本氏を通じ左の如く語る

大連は初めてです、暑中休暇を利用し見物旁々青島、威海衛、芝罘等を巡視して來ました、大連に來たのは太田關東長官に敬意を表するのが主な目的です、けふは日曜ですからゆつくり大連を見物し八月朝長官を訪問し午後出發したいと思ひます【寫眞は向つて右よりメ總税務司、同夫人、イ參事官と海星號】

歐亞連絡客

【ハルビン特電六日發】五日の歐亞直通連絡で鮮銀會水野局長、黄大使館參事官、メリー大使館參事官澤儀一氏夫人稚子さんが歐洲へ向つた

越權の行爲無し

精査促進と樞府見解

【東京七日發電通】樞密院のロンドン條約案審議促進に關し六日政府が發表せる意見には樞府側では表面何等これを取り上ぐるの態度を示さゞるも本意見を以て暗かに樞府に對する挑戰狀なりと解しこれが影響して八日の委員會では痛烈なる追及が行はるべく政府樞府間の關係は益々險惡化するであらうといはれてゐる而して政府側發表意見に對する樞府側の見解は左の如くである

政府が眞に一日も早く本條約の成立を希望するならば調印せる五月より七月迄二ケ月間を軍部との諒解に奔走し空過したる事實を何と辯ずるか、更に審査委員會の内容漏洩については如何なる根據ありや根據なくして一片の浮説により政府がかゝる意見を發表するは不都合であらう殊に樞府が提出不可能の書類を要求し又は應じ難き無理難題を持ちかけるは越權の態度であると難じてゐるが政府に何等疚しきものなくんば毫も樞府の要求は無理難題とはいへぬであらうといふにある

憲政の運用上　樞府廢止に邁進

民政少壯代議士申合

【東京七日發電通】民政黨の少壯代議士杉浦、作田、多田、岡野、田中の五氏は六日午後本部に會し樞府問題につき協議の結果左の申合せをなした

最近樞府の態度は政府に挑戰せるものと認むる、元來樞府の存在は憲政運用上の癌にしてこの制度を廢止するにあらざれば國民全體のための政治は望み得べくもない、われ等は一日も早く樞府の廢止を希望するものである、しかも彼等の因襲的勢力は年固としてゐる、從つてその目的達成のためには内閣の一つ位犧牲にする覺悟を要する、われ等は政府の毅然たる態度を望み政府を鞭撻してあらゆる機會においてかれ等と戰はん事を欲するものである

東鐵の借款

近く成立の見込

【ハルビン特電七日發】東鐵のダ

ルバンクに對する三百萬元の臨時借款交渉進行し本月末までに協定ができる見込みである、支那側鐵路としては遊資を有してゐるがダ

ルバンクは果してどうかと見られてゐるが哈洋百五十萬元位は調達できるであらうと樂觀されてゐる

着任せる第十六師團長山本鶴一中將

豫算編成期迄に　精査終了の見込

濱口首相鎌倉で語る

【鎌倉七日發電通】濱口首相は鎌倉の別莊にて往訪の記者に左の如く語つた

樞府精査委員會の審議はこれから條約案の實體論たる財政問題兵力量問題に入つて行くことにならうが、今の程度では説明委員の必要もない、井上藏相も出席することになるかどうかは判らない、補充計畫及減税の問題は豫算編成の時でなければ決定しないのであつて今日これを言明するを得ぬのは決して隱してゐるのではない、減税問題は條約案の重點の一として審議されるであらうがそれについては「軍縮剩餘金は主として國民負擔の輕減に當てる」といふ方針は今日にても變りはない、十一年度末までの製艦保留財源の年度割額も來年度基本數字が先太りさとなつてゐるので減税も亦これに拘束される、更に軍縮剩餘金を主として國民負擔の輕減に當てるといふことは補充計畫並に代換建造に要する經費と相俟つて決定するのである、五日の閣議にては樞府の審議經過について報告しなかつたが回訓案決定當時の實狀につきその手續に間違ひのなかつたことを説明して置いた、ロンドン條約審議も豫算編成期までには終るものと思ふし又終られば困るのである

露官憲の鮮銀檢査　態度著しく惡化

最近取引人約三分の一に減り　對露貿易停止の運命

【東京特電七日發】鮮銀浦鹽支店に對するハバロフスク政府の臨檢は去月十一日以來既に二十六日間も繼續されてゐるが、昨今に至つてロシヤ官憲の態度は著しく惡化し鮮銀支店に入り來る取引先の人々を捉へその取引の内容を檢査するに至つたので、山口總領事はこの旨外務省に通牒して來たが事態の容易ならざるを示してゐるが、鮮銀としてもロシヤ官憲の臨檢以來各取引人は受難を恐れ鮮銀に寄りつかず、ために取引先は約三分の一に減つてゐるので、かくの如き臨檢の方法は全く營業を妨害する目的に出づるものなりとしてわが外務當局に對し嚴重抗議さるべき旨要求する模樣である、而して他方對露金融に關しては極力回收方針を採りいつにても浦鹽支店を閉鎖し得る準備を進めつゝある模樣である、これがためわが對露輸出貿易は新規取引に對する金融の途を斷たれ、この調子で行く時はわが對露輸出は停止の外ない、ここになるので輸出業者より大藏、商工兩省に對して鮮銀の手形取引方針の變更を迫つてゐる、かくて事態は對内的にも漸く重大性を帶ぶるに至つたのであるが、外務省では近日鮮銀の代表者を招致して營業妨害の抗議に關する鮮銀側の言分を聽取する模樣である、しかしこの外務省の悠長にして暖い態度には鮮銀はじめ關係方面にては全く憤慨を發してゐる

日曜閑話

亡び行く文獻　保護者なく兵士の蹂躪に

支那は革命また革命、混沌として安定するところがない。こう内亂ばかりが打續くと、五千年の結晶ともいふべき支那の文獻は散逸せざるを得ぬことになる。實に惜いことである。

◇

支那には金石學などいふものがあり、以て古代文化のあとを探究することが出來るのである。一顆の石塊にも古代を知る燈明臺となるやうなものがないでもない。秦の始皇帝に焚書などいふ亂暴なことがあつたが、それでも支那には汗牛充棟も啻ならぬ文獻が遺産として殘されて來たのである。

滿洲は漢民族から觀れば東北の蕃族であつたのであらうが、天下の主人公となるや、全く漢化して賢明なる君主を出し、文獻の保護者として偉大なる功績を殘してゐるのである。乾隆帝、康熙帝などに果してあれだけの理解があつたか否かは別問題として、とにかく五千年有史以來の隆盛を示したといふことは、誰が何といつても、これを買つてやらねばならぬ。元より明、明より滿朝にわたる學問究明の傾向なり、結局、そこに落ち着くものといへばそれまでであるが、長白山南の邊陬から出でて、五千年來、傳統するところの支那文學の保護者となつた滿朝の存在は、何んといふても偉大なるものといはねばならぬ。

◇

民國革命以來、内亂また内亂、文獻の保護といふやうなものは、全く捨てゝ顧みざらんとしてゐる現狀にある。甚だしきは、排孔思想の勃興とあつて佛を憎むの餘り袈裟までも排撃せずんば已まざらんとし、貴重なる文獻をすら毀損して得意なるさへあつた。わが日本の對支文化事業の問題などにしても、たゞ支那古來の文獻を保護せんとすることだに、これを排毀して顧みざらんとするのであるから全く言語に絶することゝいはねばならぬ。

かゝる勢ひであるから、西洋文化に對する東洋文化の粹ともいふべき文獻が、何時の間にか散逸することなしと保し難い。これ吾人が、東洋文化のため最も憂慮するところであるのだ。今日にして散逸を防遏せざらんか、貴重なる文獻が、世界から姿を沒するやうなことになるのを恐れる。かの四庫全書の如きでさへも、軍閥共の手に委して居つたならば結局散逸し去るのではあるまいか。

われ〳〵は支那の稀覯書が、ボストンの博物館に飾られやうと、ロンドンの圖書館に收藏されやうと、それまでは我慢が出來ぬことはないが、併し、年中行事の内亂抗爭で、無學文盲なる兵士共の脚下に蹂躪され、種も子もなくすることを最も恐れるのである。

◇

先頃、大阪毎日かが、その紙上で宮内省の稀覯本を出版頒布せよと提唱してゐたやうであつたが、われ〳〵は支那における稀覯書の翻刻出版を提唱せんとするものである。

最近、わが邦人が支那の事情に精通することと、實に夥しいものがある。殊に支那の動きとして、その政局の推移などに關し、非常なる關心を持つに至つたことは、昔日の如きものではない。われらはこの對支關心の傾向を、あるひは直接、何らの利益效果を持ち來さぬかも知れぬが、古文書、古文獻などの保護、出版頒布などの方面にも注がれんことを希望せざるを得ぬのである。

ある民族が生み出した文明といふものには、永遠の生命と價値が存在するものとせねばならぬ。ところで、この文化永遠の姿を、われらの血液のうちに發見する以外には、われ〳〵は文書、文獻によつてのみ、そのあとを探ることが可能なのである。果して然らば、われらは特に、あるひは永遠に滅びんとする支那の文獻の保護者滿朝によつて、ともかくも今日に殘された遺産を、何らかの方法によつて後世に過渡するらゐのことをなするのは、われ〳〵の義務ではあるまいか（一記者）

鄭州陷落するも　大局に影響無し

戰線が移動するのみ

【天津特電七日發】蔣介石、劉峙何成濬、王金鈺氏等の南方將領は鄭州、周口に集り軍事會議を開いて南京を中心として平漢線上の軍事は緊張を告げて來た、南軍は一部を以て洛陽を攻撃する外全力を以て鄭州を目標に最後の決戰を試みるものらしい、これに對して馮玉祥氏は許昌、開封、鄭州を繞り防禦を堅固にして邀撃すべく準備を整へた、河南地方民は北軍を援助しつゝあれば南軍が堅固な許昌、開封の陣地を破ることは容易なことではあるまい、假りに敗れても退却の機微を知る馮氏として直に全軍を黒石關方面へ引揚げしむるであらうから南軍は鄭州を占領しても戰線はその以西へ移動しただけで對峙の局勢に變化あるものとは考へられず又南軍の黄河以北への進出は不可能だらうと專門家は觀測してゐる

軍費難に惱む南軍

庫劵應募一二割

【上海特電七日發】財政部の公債募集は行詰り關税短期庫劵の如き各地收税長官が懸命になつて各地に發行する關税短期庫劵一千萬元も應募者がないので中央から大官が出張しなくてはこの一二割も難しい、その悲鳴をあげた電報のみなので宋子文氏も頭痛鉢卷の態であるが而も行政費の不拂高は既に七千餘萬元、官吏の俸給は三四ケ月も不渡で、財政部では目下秘密裡に各方面に向つて戰後までの支拂延期を懇談すると同時に俸給百元以上の者に減額すべく承諾を求めてゐる、最近成立した浙江鹽商の借款四十萬元で漸く急場を凌いでゐるが、南京政府の豪所も當年の北京政府のやうになり遂の浙江財閥も漸く山西人を學んで出澁つて來た、斯くの如き軍費難から蔣介石氏の戰爭も窮極的たるを得まいと見らるゝに至つた

張學良氏の中華民國陸海空軍副司令就任と同時に交附することに命令したと傳へてゐるが一般は一ケ月の軍政費さへ困難な今日果してこれが實行されるかどうかを疑つてゐる

李景林氏等舊部下招募

【濟南特電七日發】李景林、張宗昌は前敵宣撫使に任命され目下奉天の諒解を得て營口、奉天で舊部下を招募してゐる

劉軍總攻撃開始

平漢線の兩翼から

【南京特電六日發】平漢線では劉峙氏總指揮に就任し六日より鐵道の兩翼から攻撃に移つた劉氏は黄河で指揮してゐる

長沙は依然不安

共産軍逆襲の作戰

【漢口六日發電通】長沙六日午後五時發電、長沙東南三十支里に一旦退却した共産軍は協議の結果全力を擧げて長沙を奪取し、しかる後武漢を突くに決し五日夕刻より大擧して逆襲に轉じて來たが本日午後再び守備軍の爲めに逆襲された、しかしこの方面の共産軍の兵力は四萬に達して居り何時長沙を占領するやもはかられず形勢は依然として累卵の危ふきにある

九江下流危險　共匪別働隊猖獗

【上海六日發電通】九江、江西省の東部に蟠居してゐた方志敏の共産別働隊獨立第一團は北上を開始し各地の土匪軍を集合して勢ひ猖獗を極め九江の下流湖口危ふしとの急報あり南潯鐵道沿線德安に駐屯せる第五十師二、九、七團全部は本日南康に來り湖口方面に出動中である

閻、馮兩氏彰德で重大會議を開く

今後の作戰につき

【天津特電六日發】閻錫山、馮玉祥兩氏は六日平漢線彰德にて重大會議を開き將軍に對する最後の戰略と政府組織と人選に關して協議した、賈景德、薛篤弼兩氏は六日當地着奉天へ向つた

傳作義氏に閻氏召還電報

【天津特電七日發】閻錫山氏は六日奉天に在る傳作義氏に對し至急歸るやう電報した、傳氏は津浦線の失敗の自責上使節の重任を引受けたので張學良氏から或種の回答を得ざる限り歸滿しないものと見られてゐる、閻氏は依然として傳氏を信任し前線を再び指揮せしめたい肚であると

庫劵の一部を奉派に提供

【上海特電七日發】蔣介石氏は浙

警察署長會議

招魂祭、武道大會等開催　十月十日から三日間

關東廳警務局では來る十月中旬三日を期し旅順において左記の通り全管内警察署長會議並に殉職警察官招魂祭、全滿警察武道大會等を開催の豫定であるが、今期武道大會には警察協會より柔劍道各一旒の優勝旗が優勝署に授與さるゝ筈であるので一層の盛會を豫想されてゐる、尚署長會議は定例會議ではなく附隨的の會議で主として管内各署の事情を聽取する由
▲十月十日全滿洲警察署長會議▲同十一日殉職警察官招魂祭▲同十二日全滿警察官武道大會

十月四日大連第二中査閲官野歩兵中佐、△二十四日滿洲醫大三宅參謀長、長春商業三浦歩兵中佐△二十五日教育專門學校三宅參謀長、安東中學校梶津歩兵中佐△二十七日撫順中學校高木歩兵中佐△二十八日奉天中學校同旅順第一中學高野歩兵中佐△二十九日青島日本中學板兵大佐、南滿工業專門三宅參謀長△三十日青島學院商業板兵大佐△三十一日大連商業高野歩兵中佐、△十一月一日大連第二中同△四日旅順工大三宅參謀長△五日鞍山中學上田歩兵中佐尚三宅參謀長隨行は有富歩兵大尉である

學校教練查閲日割

昭和五年度學校教練査閲日割は六日關東軍司令部より左の如く發表さる

旅大有力者招待會

商工會議所主催

大連商工會議所では來る十二三日頃太田關東長官、仙石滿鐵總裁を主賓として三浦内務、中谷警務兩局長、日下殖産課長、西山財務部長、源田財務課長、河相外事課長小林秘書官、大平滿鐵副總裁、大藏、神鞭、伍堂、木村、十河、大森、藤根、村上の各理事、鍋島秘書役、武部滿鐵殖産部次長を招待しヤマトホテルにおいて懇親會を開くと

人事

▲メーズ氏（支那海關總税務司）七日朝入港の海星丸にて來連
▲イングラム氏（支那駐在英國公使館參事官）同上
▲齋藤寅一郎氏（南昌洋行主）七日入港のうらる丸にて來連
▲田中久一氏（陸軍中佐）同上

天氣豫報

八日（南の風）曇一時晴れ

各地温度

地名	十一時	昨日最高
大連	二五、〇	二七、〇
旅順	二五、五	二七、六
營口	二七、一	二八、九
奉天	二七、九	二九、八
長春	二六、五	二九、八

滿潮（午前十一時四十一分　午後十一時…）
干潮（午前四時十五分　午後五時十分）

突如正體を暴露した 共産黨の新秘密結社

KIM國際青年共産黨支部 全國に亘り大檢擧

【東京特電七日發】七日の國際無産青年デーを期して極左團體の間に恐怖的示威デモンストレーションを決行の計畫があるのを探知した警視廳特高科では六日朝先手を打つて全市に亘り戰闘的前衛分子三十餘名の一齊檢擧を行つたがこれ等の青年を三田、愛宕、上野などの各警察署に

分轄收容

し警視廳特高科員がそれ〴〵出張して連絡取調べを行つたところ俄然最も進歩的な組織と猛烈な戰闘力を有する我國共産青年の新秘密結社組織が端なくも暴露した、警視廳では驚愕して内務省に急報全國の官憲と協力して急遽新結社檢擧の大活動を開始した、この新に暴露された秘密結社はKIM國際青年共産黨の日本支部として日本共産黨内の極左青年を中心に合法的勞農黨の組織を僞すとなす前衛分子及び勞働組合全國協議會の戰闘的青年等を

糾合して

七月中旬組織された青年コンミンテルンで破壞を目標に飽くまで非合法運動を目ざして日本共産黨の最も纖みさする有力別働隊として漸次組織の完成に向つて進みつゝあつたものである、此KIMの本部は千九百十九年十一月ベルリンに創立されたもので世界の資本主義國二十六ケ國に支部を設けて共産黨指導の下に果敢な鬪爭を展開して居り我國の支部も勞働組合へのフラクション（部分）潜入、無産大衆への煽動宣傳など漸進的に運動の

實行期に

入りつゝある時今回の發覺となつたもので官憲の疾風迅雷的活動により支部員の全國に亘る總檢擧が斷行されてゐる

外交文書にも「北京」を使用

【北京特電六日發】「北平」を本日正式に「北京」と改稱した事を發表したが、同時に外交文書は既に北京の文字を使用してゐる

四洮沿線附近にペスト疑似患者 關東廳では防疫開始

五日夜關東廳衛生課への入電に依れば四洮鐵道開通驛附近支那街に最近ペスト疑似患者三名の發生を見た由で、四平街附屬地住民等は恐怖を覺えてゐるといふが、關東廳では直に滿鐵衛生試驗場と連絡四平街警察署、地方事務所に協力附屬地傳染の防止をなすやう勸告するところがあつた

―全滿軟式庭球大會の盛況―

男女六十五組が盛な白熱戰 今日大連兩コートに於て

全滿軟式庭球試合

滿洲體育協會主催全滿軟式庭球選手權大會は七日北公園及乃木町の兩コートで擧行された、先づ定刻午前九時參加選手一同北公園コートに參集し昨年の優勝組白木關谷組の關谷政一氏より優勝カップの返還あり、林田體協主事起つて開會の挨拶を述べ直に試合に移つた此の日多少の風あり選手のコントロールを亂し勝ちであつたが朝來の快晴に惠まれて選手の意氣は揚り男女兩組共最初から猛烈な白熱戰をつゞけた、男子組は遠く撫順、鞍山、奉天等よりも參加するあり男女總數六十五組の盛況である、女子は神明彌生兩高女の對校マッチに興味を呼んだが彌生一回戰に接戰の末全敗し、理研の川田組滿電の佐賀組亦敗れ準優勝戰以後は神明高女の同志討となつた、午前中の成績左の如し

女子之部

△豫備戰
大野、寺澤四―三柳、野木
吉田、佐賀四―一松原、荒木

△一勝戰
大野、寺澤四―一鈴木、田島
橋本、野木四―〇吉田、佐賀
大野、法橋四―三林田、新居
植岳、片岡四―三川田、岩橋

△准優勝戰
橋本、野木四―二大野、寺澤
大野、法橋四―二植岳、片岡

男子之部

△豫備戰
▲重岡、樋口（滿庭）四―一神小松（常盤）▲松木、近藤四―一西尾、花田（育成）▲大谷、片山（鞍）四―一鹿野、若井（熊岳）▲佐藤、田川（滿庭）四―二須藤、今井（奬學）▲原、赤松（撫）四―二大高、庭村（鞍）▲川久保、高木（滿庭）四―〇是枝、益原（常盤）▲原、森（瓦房店）四―一渡邊、原（奬學）▲白木野村（營口）四―一野々宮、百武（撫）▲佐藤、松村（鞍）四―二佐藤、鹿野（工專）▲二宮、高橋（小野田）四―一奥村、林（工專）▲津田、住田（滿庭）四―〇片岡、平井（大商）▲上田、下重（中央）四―一青木、松木（旅順）▲工藤、大石（滿庭）四―一瀧澤、高橋（撫順）▲村田、石橋（遼）四―〇前澤、田口（奉天）▲内村、長沼（日の出）四―一鹿野、梶（撫）▲内倉、持原（育成）四―三山田、信太（奬學）▲岡本、山崎（旅）四―一鶴田、平井（大商）▲赤川、富永（鞍）四―一高橋、山本（常盤）▲相手方棄權で一勝のチーム伊藤、高橋（日の出）篠原、安藤（瓦房店）小野田（埠頭）根本、中島（埠頭）川上、

△一勝者戰
▲重岡、樋口（滿庭）四―一松木近藤（鞍）▲大谷、片山（鞍）四―三篠原、安藤（瓦房）▲根本、中島四―一米津、菊川（双葉）▲原森（瓦房）四―二松本、高柳（遞信）▲二宮、高橋（小野田）四―二川上、小野田（埠頭）▲内村、長沼（日ノ出）四―〇村田石橋（遼陽）▲内倉、持原（育成）四―二大高、島津（滿庭）

ブ、ゲ機出發

【阿見七日發電通】昨日出發を見合せ土浦に一泊したブゲ二氏は七日午前六時五十分來場機體檢査の上同七時二十九分離陸青森縣淋代に向け出發した

ブ機淋代到着

【青森七日發電通】今朝七時廿九分霞ケ浦離陸青森縣下淋代へタコマ號空輸をなしたブロムリー中尉は午前十一時五十分無事目的地淋代に着陸した

貯炭自然發火防止機發明 撫順炭礦にて

全國的貯炭激增と共に何處の炭業者も貯炭の自然發火には惱まされきつてゐるが、炭礦部選炭係主任兒玉八郎氏指導のもとに同係員奥村氏の發明した扇風機による貯炭内の熱吸收方法は絕對的の效果ある事證明され、撫順山元貯炭はこれの裝置に依り完全にその危險を防止し得たので、今度は甘井子の貯炭場に右を裝置したが、引續き南關嶺その他主なる貯炭場にも裝置する計畫であると、尙右扇風機裝置方法その他に就き内地及び海外の貯炭場並びに各汽船持主等から問合せてきてゐる（撫順特信）

青少年不良化防止の座談會 關東廳勞務課の催し

關東廳學務課が昨秋開始した青少年少女の不良化防止事業は本年に入つて前東京市囑託高畑氏を專任囑託に迎へ目下着々その充實をはかりつゝあるが、學務課では今般該事業に對する各中等學校、民政署、警察等關係當事者の腹藏なき意見、希望等を聽取すべく十三日午後四時半より大連キリスト教青年會館に於て右各當事者の青少年保護に關する座談會を開催する由であるが、當日關東廳より御影池學務課長以下難波教育主事、高畑、伊藤兩囑託等出席の筈

我女子選手活躍 第一日の萬國女子オリンピック大會

【プラーグ六日發電通】第三回萬國女子オリンピック大會は愈々本日より開會我人見絹枝孃外五名の日本女子選手の出場は殊に人目を惹いた、第一日の主なる成績左の如し

▲六〇メートル第一豫選　人見孃七、八秒、村岡失格
▲六〇メートル準決勝　A組一、人見孃七、八秒。B組一、ワラシェヴイッツ（ポーランド）七、八秒。C組一、ラテイドー（佛）七、八秒
▲八〇メートルハードル第一豫選　中西孃十三秒一、人見孃棄權
▲砲丸投げ決勝　一、ホイブライン孃（獨）十二、四九メートル、二、ヘルマン孃（獨）十二、一二メートル、三、ペルカント孃（濠）十一、四八メートル
▲百メートル豫選　一、人見孃一二秒一人見孃の記錄は豫選中第一位渡邊孃、は他の組で第四着
▲二百メートル豫選　A組一、人見孃二六、八秒。B組一、ワラシエヴイッツ孃（ポーランド）二五、六秒一、ホールステ、ド孃（英）二五、六秒三、渡邊孃二八、九秒、ワ、ホ兩孃は同着で二五、六秒は世界女子新記錄である

人見中西兩孃 出場權を獲得

【プラーグ六日發電通】第三回女子世界オリンピック大會は本日當地に第一日の幕を明け人見孃、村岡孃六十メートル第一豫選に出場人見孃は七秒八で準決勝に出場の資格を獲得し村岡孃は第四着にて惜くも失格した、八十メートルハードル第一豫選出場の中西孃は良く奮鬪十三秒一の成績にて準決勝出場の資格を獲得した、人見孃は四組に入つて居たが棄權した

印度經由の日獨航空路 西比利線よりも速い

獨逸の申出に我國同意

【東京六日發電通】去る七月末ドイツ郵政大臣より遞信省航空局宛「ドイツは目下アラビヤまで定期航空路を開いてゐるが、近く印度或は東洋まで之れを延長し度い就いてはイギリスとも交渉中であるが日本も定期航空郵便を開始の意志なきや、若し日本で不可能ならばドイツが行つても宜いから贊成して貰ひ度い」との申出があり政府は直に陸海外務遞信四省會議の結果「趣旨には贊成するから具體的内容を知らせて欲しい」とドイツ政府宛照會中である、右計畫によれば印度經由南方コースを選みシベリヤコースよりも專門的に見て適當で、開始の曉には一週間乃至十日間で日獨聯絡に成功する筈である

ステッキガールが愈よ大連にも出現

最近東京から來て宵の街を泳ぐ 綠の襟帶に黑い靴

「此の頃東京ぢやれえ、ステッキガールの進出實に著るしいものだよ、銀座や新宿のペーブメントには到る處に見受る彼女等の出現、ウインクはエーテル波動よりも高速度で色樣々に錯綜して若人の神經を唐んでゐると」

と東京から歸來した許りの男の土産話。彼女は現在は既に職業組合的なものさへ有し新宿ホテル、中央ホテル、丸の内ホテル等に夫々特約があつて其處へ客を連れ込んで手續く而も頗る文化的に取引を濟ますのだ。

◇―◇

「彼女等は大てい女學生の樣な洋裝だよ、そしてれ擦れちがふ時に先方は腰の邊りに手をやつてバンドを外してポケットの中に入れるのだ、それが合圖だよ、此方から一寸眼で合圖するか手でも擧げれば直、散歩しませう、と來るよ」

「皆バンドを外すのかい」

「うん三人それで僕は交渉をすましたよ、何時かなんか當方二人であいかたが一人足りないと言つたら女が電話をかけたと思つたら何處からか直にやつて來たよ、何處かに本據があるんだね」

と彼は新智識を與へてくれた、ステッキガールも遂にストリートガールと墮し、昭和の文化的移動私娼だれ、と彼はビールの泡を吹いて慨嘆したものである。

◇―◇

其のステッキガール否移動ガールが大連にも出現した！

去る四日夜十時過ぎ、某會社員A君は（名を秘す）三郎許りカフエーで飲んだビールの微薰を馬車の上から風に吹かして家路に駛らしてゐた。伏見町王將手前の三叉辻に差蒐つた時A君は何氣なく道傍を見れば年若い洋裝の美人が獨りぼんやり立つてゐるのが醉眼にうつゝた。A君は至つてフエミニストである、どうしたのかしらと馬車を停めて、無帽ワンピース姿の女の細りした脚に眼をとゞめてゐると件の婦人はコツ〳〵と馬車の傍へ寄つて「電車が來なくて困つてゐるのですが乘せて下さらない？」と來たものだ。A君の樣なフエミニストでなくても無論、オーケーだ。

◇―◇

馬車は駛つた。A君の血はビールの泡の樣に幾つも氣泡を作つた。「どちらへ」と聞きかけて既に女の手は込んだ。中年の紳士だ、それに二本のビールが加勢してゐる。「家が締つてゐるの、ぢや五圓あつたら私が一休みする處へて上げるわ」楚々たる令孃姿だが齒切れの良い東京辯。

◇―◇

「五圓さ、松山臺のあの料理店れあそこへ轉げ込んぢやつたよ、年は二十一、二か、綠色のネクタイをかけて黑い靴に小豆色のワンピースこれだけはつきり眼に殘つてゐるよ、無論シヤンだよ、一週間前東京から來たんださうだ」A君は翌日、ニヤツーと笑つてこれだけ囁つた。

五日夜十時電氣遊園の小島の前で某君は又件の女が一人の紳士と步いてゐるのを見かけた、綠のネクタイ、黑い靴の女―今夜は何處を遊いでゐる？。

國際宗教聯盟がハルビンで活躍

共産主義に對抗して

【ハルビン特電五日發】共産主義と無神論者に對抗のため國際宗教聯盟組織され總支部がハルビンに創設された、參加者は露教徒、喇嘛、カトリック、マホメット、佛教、日本の神教等で五名の委員が推薦され反共産主義のため宣傳を行ふと

臨時特別競馬 景品附て開催

大連競馬倶樂部では來る廿七日より六日間星ケ浦競馬場において、秋期臨時特別競馬を行ふこととなつたが、同競馬倶樂部では支那人ファンの吸集策として今期競馬六日間中餘興として一日一回入場券所持者に抽籤により四等まで各賞品券を出すべく、六日競馬倶樂部より沙河口署を經て正式に願出でた

驛軍消費を破る 大接戰を演じて

スポンヂ野球優勝戰

體育堂主催本社後援の全大連スポンヂ野球大會消費組合對大連驛優勝戰は七日午前九時より滿倶球場に於て田中（驛）安藤（消）兩氏審判の下に消費先攻で開始したが、遂に補回戰に入り十一回裏驛無死滿壘の好機に會ひ捕逸に依り最後の一點を上げ八A對七で消費惜敗す、閉戰十二時四十分

回	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
消得	0	0	0	1	4	0	0	0	2	0	0	7
驛得	1	1	3	0	1	0	1	0	0	0	1A	8A

經過　第一回裏驛伊藤本壘打で一點を先取し第二回にまた一點、第三回に三本の單打と二壘打一本で三點を揚げ優勢となる、第四回消費永田の本壘打で先づ一點をかへし、第五回瀨尾三壘打と辻本の中前單打南條の遊越單打と敵失一で四點を得て同點となつたが、同裏驛また一點を得てリードす、七回裏驛一死後白石投前一失で生き二死後伊藤の遊側低投で白石還り差二點となる、八回表消費瀨尾四球に出で長谷川の左翼線寄り本壘打でまたも同點となる、第九回兩軍最後の攻擊をなしたが拔く能はず補回戰に入る、十一回裏驛上田投前一失に出で二盜白石四球清田一前野選で無死、滿壘打者高橋一一のとき捕逸で上田還り驛勝つ

消費　尾條川中井邊田浦本谷　瀨南長竹櫻渡永木辻　84 5 6 1 2 4 8 7 3
驛　田橋藤山橋關野田石　清高伊增石石清上白　6 4 9 7 5 3 2 1 8

文副領事逝去

【奉天特電七日發】當地日本總領事館在勤副領事文泰善氏は七日午前二時突如心臟痲痺にて逝去した

八月郵便貯金

滿洲内郵便貯金の八月中に於ける成績は預け入れ百十七萬八千六百六十二圓、拂戻し百八萬三千九百十五圓で差引九萬四千七百四十六圓の預入れ超過であるが、之れを前年同月の預入れ超過額二十七萬七千八百四十五圓に比較すると十八萬一千百五圓と云ふ著るしい減少を來してゐる、由來滿洲の郵便貯金はその大部分がサラリーマンの預入れに依つて占められ毎年預入れ超過の傾向を遮つて居るに拘らず斯く激減を示したのは世界的不況に伴ふ各種企業會社の人員整理その他に因るものと云はれてゐる

太田安部兩選手歸京

【東京七日發電通】ア杯選手として歐洲庭球界に活躍した太田芳郎、安部民雄の兩氏は六日午後八時東京驛着元氣良く歸京した、安部選手は滿洲旅行中の父君磯雄氏と同車であつたが、驛頭には清水、戰田、鳥羽の諸ア杯選手始め多數の出迎へがあつた

滿洲選拔野球 來る十二日から

秋の球界を飾る大連新聞社主催の第二回滿洲選拔野球大會は來る十二日より三日間大連に於て奉天滿倶、大連滿倶、大連實業の三チームの巴戰で擧行されることになつた

集金拐帶逃走

市内浪速町七五梅本岸次郎は七日熊本生れ當時吉野町吉野湯方松本武光（二一）に對する所在搜査願を大連署に提出したが、松本は梅本方に雇はれ中昨六日午後一時頃朝日廣場大矢組へ集金に赴き、現金十餘圓を集金の上拐帶逃走したと

空の二勇士に有功章を授與

【東京六日發電通】帝國飛行協會では六日午前十一時から飛行館四階鳩の間にて東善作、吉原淸治兩氏に對し有功章授與式を擧行、阪谷會長、長岡外史氏その他關係者二十餘名列席し最高名譽章たる白色有功章を贈呈した、終つて兩氏の飛行談あり午餐を共にして散會した、なほ東氏は發動機の手入れがこゝ一週間位で出來上るを待ち郷里石川縣及び中學時代を過した思ひ出の地岡山に向け感謝飛行を試む豫定である

藤村領事夫人逝く

【奉天特電七日發】奉天總領事館在勤領事藤村俊房氏夫人は本朝三時病死した

ビクター演奏會

今七日夜の電氣遊園音樂堂に於けるビクターレコード演奏會のプログラムは左の如くである

第一部　▲交響管絃樂「詩人と農夫序曲」ビクター交響管絃團▲獨唱「叱られて」鳰孫龍男▲新筑前琵琶「湖水渡」田中旭嶺▲新作小唄「吾等の四季」二三吉▲軍樂「觀兵式の一日」陸軍戸山學校軍樂隊▲義太夫掛合「千本櫻道行の段」豐竹つばめ太夫、竹本越名太夫、豐竹長太夫▲端唄「留めても還ろ」祇園初太郎▲吹奏樂「トロヴアトレー」（アンビルコーラス）ブライヤ吹奏團▲映畫小唄「多美枝の唄」（映畫「この太陽」中の歌）四家文子▲和洋合奏長唄「松の綠」唄二三吉、ピアノ及横笛音樂部員▲童謠A「あの町この町」B「てるてる坊主」平井英子▲浪花節「紺屋高尾」木村友成

第二部　▲ソプラノ獨唱「君よ知るや」三浦環▲小唄「から傘」南地喜久治▲演劍「鈴ケ森」中村吉右衛門一座▲新作小唄「昔と今の旅」朝居丸子▲ハーモニカ二重奏「ウエディングマーチ」鈴木信、小幡四郎▲流行歌「笑ひ藥」二村定一▲童謠A「ケンケン子、雷さん」B「小猿の酒買、計りごえ」岩田滿里子▲管絃樂「ヴオルガノ船唄」「バラライカ絃樂團▲新内「新内流し」富士松喜昇社中▲和洋合奏「春雨」ビクター管絃樂團▲浪花節「召集令」天光軒滿月▲交響管絃樂「スラブ行進曲」費府交響管絃團

侠艶一代男　(49)

米田華紅 作　伊藤幾久造 畫

お千賀の行方 (五)

「この野郎！太え奴だッ！」

諜し合せ、待ち構へてゐたか？駕籠夫が振りあげた息杖、力任せに振り下しざま、先づ願入坊主へ一撃、

「うわッ！」と、悲鳴にも似てゐる叫びをあげ、口ほどになく脆くも横倒しに打ち倒れると、一撃に塊つてゐる盲目長家の人たちの頭上さなく、腰となく、手當り次第息杖を振り廻して、打ち掛つた。

一時はさつと逃げ散つたが、遠くから石礫、二人の駕籠夫を目がけて、雨あられと叩きつけ、擲げつけ始めた。

息杖を振あげて、追へば散り、戻ればまた迫つて、石礫をなげつける。

駕籠夫は額からたらくと血潮の糸を頬へ引いて、駕籠を置いた

まゝに一町ほど、長家の人たちを追ひ拂くつた。

彼等が餘程遠くへ逃げ散つたのを見るも、二人の駕籠夫は急いで元の所へ戻り

「それッ！この間に急がうぜ」

「合點だッ！」

肩へかつぐと、一さんに、甲州街道を飛ぶやうに走り出した。

後から追ふらしい盲目長家の人たちの聲が、うわッくと宵月の光の屆かぬ暗のうちで、恐ろしく揚つて居つた。

駕籠は、本當に宙を飛ぶやうに盲目濾波に走りに走る。

石標供養塔のある國分寺の森を横に、駕籠舁きは聲を合せ、片側町に灯の入つた府中の町端づれにかゝつてゐた。

盲目長家の連中も、さすがにこゝまでは追ふてこなかつたと見えて、その騒ぎも、影も後に見えなかつた。

こゝは、與瀬。隙毛から鎌倉へ行く樞要な地點で、昔時は江戸へ足を入れない旅人などで、相當の雜鬧をしたが、昨今では幾らかさびれ加減であつた。しかし甲州路へは嫌でもこの宿を通らればならないので、旅宿と女郎屋とを兼ね

てゐる曖昧な店が軒を並べてゐた。

武州屋と記した看板に灯が入つて、定紋を染めぬいた紺暖簾を頭で搔きわけながら、づいと店の土間へ這入つたのは、今しも表へ駕籠を下した許りの一人の駕籠舁きで、鷲摑みにした手拭で、たらたらと流れる額の汗を拭きながら

「はい、御免よ！」

「ゐらつしやいまし！」と格子窓の側、張り店をしてゐる妓が三四人、そこの薄暗い陰から蝙蝠のやうに飛び出してきたのは、この店の若衆。ぺこくと續けざまに頭をさげ

「御苦勞さんでございます。江戸からお着きでございますか？お一人さんでございますか？」と、矢繼早に問ひかけたのは、名ざしの客を連れ込んだのと早合點したと見える。

「武州屋さんはこちらでござえまする」

「へえ、左樣で……！」と、若衆は始めて氣がついたやうに、迂散臭い眼を向けて、ジロくと駕籠舁の風態を見あげ見下した。

「御主人は居らつしやいませうか？鳥渡お眼にかゝつて、お手渡ししたいものがございますので……えへッへ、、、、、その、何でござえますよ。江戸の按摩道玄さんからの遣ひの者と仰しやれば、お判りでござえます」

「へえ！では鳥渡お待ちなすつて下さい。お内所へ知らして參りますから……」

「どうぞお願ひ申しますよ」

若者が奥へ這入ると、駕籠舁は上り框の板敷に腰を下し、額から流れる汗を拭いて居つた。間もなく六十近い、白髪まじりの爺がのつそりと、そこへ立ち現はれ

「道玄さんからのお使者と云ふのは、お前さんかれ？」

「へえ、左樣でござえます」

ヒヨイと後を振返りざま「してお前さんが武州屋さんで？」

「はい。待ち乘れてゐました。では早速玉をこちらへ連れてきて下さいよ」

「へえ、それが……」と、もじもじしながら四邊へ氣を乘れ、間諜ふ素振りをみせた。

第二十一回 滿日勝繼碁戰

(高本氏二回・勝三回目)

二段 大礒 義勇氏
四子 高本 吉郎氏

―【八】―

○百四十一カ一 ●百四十二ロ一
○百四十三ワ一 ●百四十四ロ七
○百四十五タ九 ●百四十六ロ四
○百四十七カ五 ●百四十八チ九
○百四十九チ八 ●百五十カ九
○百五十一ワ八 ●百五十二タ十
○百五十三タ二 ●百五十四ロ二
○百五十五ツ六 ●百五十六ソ五
○百五十七レ三 ●百五十八レ四
○百五十九ソ三 ●百六十レ一

キネマと演藝

大都會

(爆發篇)

「勞働篇」に次ぐ「爆發篇」牛原、田中、藤野、傳明、水谷の好きメンバーが完成した八卷物、此のスタックだけで大衆を完全にアッピールして行く事は出來やうが、映畫其のものとしては非常にアッケない物である、ブルヂヨアの息子なるが故に世間より白眼視され、父の惡評に苦しめられる一青年が、たまく結婚問題より小間使と慣然家出をする、筋はそれだけである

◆此の映畫の性質に對して階級意識の尖鋭さを云々するのではないが、あまりに社會に對する認識の不十分さを殘念に思ふ、結局野田高梧は脚色家であつて原作者ではない事を明かに物語つてゐるわけだ、牛原の監督は非常に輕い、見てゐて氣持がよい、殊に前半のテンポの明朗さ、時に見せる仰角撮影の味は切迫した氣分をあふるのに充分だ――但し牛原としては此れ等のテクニックは問題でないかもしれぬ、樂な監督であつたらう

◆ブルヂヨアの息子道夫は傳明、父を藤野、小間使お八重は絹代、以上三人は例の如くヒッタリ意氣が合つてゐて、今更云々する必要が無い程完全な演技である、それよりも珍らしいのは道夫の妹になる龍田靜枝だ、從來とすつかり趣を變へた演技振りは充分ほめるに價するものであらう。(一)

焰のスナップ　八日から帝國館に上映される下加茂作品阪東壽之助主演の「焰」のスナップ 寫眞左から二人目が壽之助

奈良丸沿線巡演

各地の襲名披露日程

旅大に於て大好評を博し名實共に日本一の貫錄を充分に示して浪曲ファンを熱狂せしめた一若改め三代目吉田奈良丸一門は六日の沙河口劇場出演をお名殘に旅大を打揚げて沿線巡演に上り今七日の鞍山演藝館を振出しに左の日程で各地に於て襲名披露をなすと

七日鞍山(演藝館)▲八、九日長春(演藝館)▲十日四平街▲十一日遼陽座▲十二、三、四日奉天(演藝館)▲十五日鐵嶺▲十六、七日撫順(公會堂)▲十八、九日安東劇場

筑前琵琶大會

野浦氏出演

筑前琵琶界の巨匠として知られてゐる神戸在住の狀上山野浦旭鵬師の來連を機として大連旭會主催にて九日午後六時より大連劇場に於て演奏大會を催すが、當夜のプログラムは左の如くである

▲新曲義侠の鑑(吉久旭朋)▲平野の最後(原旭和)▲梅田雲濱(法錦山德重旭一)▲笠置落(法滑山廣瀨旭榮)▲新曲斷琴(法人山田中旭陽)▲金ケ崎(法藤山松岡旭芳)▲伏見の吹雪(法塔山大林旭遊)▲阪本龍馬(法愈山川原旭華)▲常陸丸(法祭山大賀旭榮)▲新曲大石主税(法上山野浦旭蓮奏)

噂話

蓄音機樂壇をあつと驚かしてきのふ飛行機で東京から京城に一泊しただけで飛んで來た民謠歌手の佐藤千夜子嬢▲六年前に出た時、大連劇場の舞臺から「あの町この町日が暮れるく」を數へて行つたが今度はあの町この町飛んで來るく▲また「てるく坊主」も大いに宣傳しで歸つたのだつたが、出發の前日雨が降つたので▲皆が集つてテルく坊主をつくつて「明日天氣にしておくれ」と歌つた甲斐があつて翌日は秋晴れの空をしばらく東京に左樣なら▲これだけ聽いてゐると如何にも景氣がよいが、ほんとうのことは愈々乘るとなつたら生命が惜くなつたのよ▲生れて始めてあんな嚴肅な氣持を感じたと柄になく小さな聲でこれはレコードに吹きこまないことにするわ

ラヂオ

大連 JQAK　九月八日

自午後三時五十分野球連絡放送實業對龍山

自午後七時

▲ラヂオ體操

▲露語講座(第四十六課)大連語學校グローズマン

▲レコード(シロー、オブ、ショーズ)(絃樂四重奏の爲の三ツの小曲)(ランテラフリエート、クラリネット・オーケストラ)

▲長唄(新曲有喜大臣)唄杵屋正春、同第一千代喜家金太郎、同照花 三味線杵屋正嘉郞、同鴨井清子、同第一千代喜家音丸

▲社會劇(一家を支へる女性或る事實譚によるもの)荻原留吉(植雅二)長男啓一(青山保夫)次男浩二(清水敏)長女おさよ(大内嘉子)刑事鹽崎(辰巳勝義)子供の唄(鈴木義江)

▲職業紹介事業

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京 JOAK　九月八日午後七時

▲長唄(土蜘蛛)唄杵屋勘次、同福… 三味線同藤綾子、同長壽…

▲尺八(戀慕流し)水野呂童、加藤孤童

▲歌劇拔萃 松平佐登子、植村政子、喜田又兵衛、内田榮一、ヴオールフオア合唱團、日本放送交響團、指揮ニコライシフエルブラット(一)管絃樂カルメン前奏曲ビゼー作(二)獨唱内田榮一フイガロの結婚、もう飛ぶまいぞ(三)二重唱松平佐登子、シロタ、トラバトレー、主よあはれみ給へ(四)二重奏松平佐登子、内田榮一、ドンジオアンニ、其の手を我に(五)二重唱植村政子、喜多又兵衛、サムソンとデリラ、曉の花と心は開く(六)二重唱松平さと子、内田榮一、タイス、おゝ神の使よ(七)二重唱松平佐登子、植村政子、フイガローの結婚、手紙の唄(八)合唱タンホイザー行進曲と入城の唄

ペーブメント

東京で朦朧タクシーを巧みに値切つて乘ることがモガの資格があるやうに大連でも亦、バレ時に映畫館の前なぞに集る朦朧タクシーが随分怪しげな營業をやつてゐるらしいが、自動車組合が出來て料金が統一された今日でも尙ほ朦朧は値切ればまけてゐるので夜更けた街を飛ばすのに五十錢玉一つやつては面子にかゝわると尖端人が頑張つてゐる、そこで組合でも今度内規を作つて例へ一錢でも五厘でも負けたのを發見したら百圓の罰金を出すことになりタクシーの主人なぞが客に化けて朦朧をつかまへて値切つて歩いてゐる、これを聞いた夜明し雀がこの際と許り自動車には安く乘つて疲れた軀をはこんでその上に百圓丸儲けの新商賣に夜更けのペーブメントを流して歩くスピード時代の夜の大連新風景

短歌寸評

池內赤太郎

合萠(九月號)

○ 西澤 流

午後かけて暑くなるらし近き樹にみんみん蟬の啼きいづる聞けば

氏の歌境はこゝらでもつと拓けて來てもよさゝうである。この歌の遺憾は想が類型的なことである。難言へば「近き」が利いて居らぬ

○ 安倍 霜

村民大會のはかられしとふ故里は恐ろしきものを孕めるごとしも

內に藏するものがあつてよい。惜しい事には結句の「も」で感銘を濁してゐる。こゝでは殊更「も」の必要を認められない。「如し」でピンと來るものがある。

○ 西島 貞子

氏の素質の素直さは水島双葉時代から變らないものがある。たゞこの氏に驚き信念が缺けてゐるところ據だ遺憾でならない。そこをどうにかして貰ひ度い。

霧雨に濡れし生垣とほり越し郵便配りとなりへ寄りぬ

「生垣とほり越し」は實相に觸れてゐる。こんなところから、ぐんぐん押し出して貰ひたい。この歌柄に止まつてゐられない時である

雜草のほしいまゝなる庭べをはづか隣へ徑はかよへる

實相の現はるゝところがない。「まゝなる庭べを」「徑は通へる」ともに調が低い、一首低調に墮し雜然歌となつた所以である。窮局の問題は、結句にあらう。ここは「踏みならす徑」ときつぱり据えて、第一二句を「雜草はほしいまゝなり」と詠歎すべきところであると思ふが、氏はどう思はれるであらう。「漸くに乘り得し」の一首等感心出來ぬ。

○ 今井 順吉

地の上の燈影みながら久方の月に溶けたる面白の夜や

氏に限らず國語學者の歌は概れ常識的なところがある。井上通泰氏等にしても矢張りさうだ。どう云ふ譯であらう。この歌氏の意圖したところは解るが感動がない。何だか頭で作り上げてゐると云ふ感じがする。感動に卽ししつかり實相に觀入して歌ひあげて貰ひたかつた。「地の上の燈影」でもこれに自然と復數の感じが添つてゐるとよいのであるが、動きのとれない堅い句で復數感が生じないから「みながら」が利かない。「久方の月」は月の個體だけの感じに終つて月光の感じがない。從つて「溶けたる」が利かないから作者の意圖したところが現はれない。「溶けたる」は觀察が容易でこれでは光景を彷彿せしむるところ到底ないであらう。「面白の夜や」に至つては歌作者の最も戒心すべき點で斯う云ふ風に主觀を露出してしまつてはならない處であるまいか。

小さきものめぐしうつくし其母のまだら若き見るがかなしき

「小さきものめぐしうつくし」は矢張り常識的概念的である。一般に容易に通づる代りに生動するところがない。「小さきもの」が「その母」といふ詞で漸く幼子たることになるのも小生等にはまだるつこいのである。「めぐしうつくし」と共に具象的にあつて欲しい。「まだうら若き」も若さの實相を具象的に捉へて來れば「若い」といふことに共感できず嫌惡が生じて來ない。

●●●岡麓氏作に

みどり兒は立ちて歩めりゑみはやす母の若ければわれはかなしき

といふのがある。

序を以て云ふ。氏が我々若輩の仲に伍して歌道のために精進される一事は大いに尊敬せねばならぬところと思ふ。

○ 大下 三雄

うからゝの朝餉にさわぐさま見つゝ身體けだるく朝床になり

事務をとる暇をぬすみて書きにけむ友の手紙は短かゝりけり

氏にはこれ以上に出て貰ひ度い。「さま見つゝ――朝床になり」「友の手紙は短かりけり」は共に殆ど常套的に感じる。こゝから一歩も二歩も踏み出し得る氏と思ふが如何。

○ 三宅 豐子

つきつめてものを思へばおほかたのうつし世事は寂しかりけり

まれにさへ思ふことなき人の俤まざまざと昨夜の夢に見にけり

現し方が率直でよい。二首とも良く調が出てゐる。

○ 安見 土筆

うちはの音けだるく聞ゆ隣室の友も今宵は寢られぬらしき

年輩から來るよい味が出て居り、生趣がある。氏の特質は感受が細かくて鋭敏である。表現もかなり素直にいつて居るが、そうした天分に任せ過ぎて苦勞を缺ぐような事はあるまいか。

ひそやかにもの云ひかはし子供らは聲かげにさんぼれらひゐにけり

矢張り感受は女性らしく軟く鋭くいつて居るが、餘り苦勞を經てない。氏は結句「ゐにけり」を「ゐるなり」とすべきに何故氣づかれなかつたであらう。然を「ゐにけり」と過去的句法にしては、子供に對する愛憐感――作者感動の調が微弱とならざるを得ない。明に「ゐるなり」と現在にすべきところである。斯して初めて「もの云ひかはし」「聲かげに」等が生々と動いて來るばかりでなく一首の感動がピンと來るのである。氏はこの一首の重要點を顧みてよい。難言へば

吾が籬ふ芝につづける山原に夕日照りはえ人下る見ゆ

にしても氏は三四五句に全心を集中すべきであつた。この歌にたいて作者の位置等は表現上關心を要しない點である。

窓に置く蘭の葉ゆれのそのまゝに疊にうつり月さやかなり

この歌に至つては破綻が一層ひどく、甚だしくゴタついて居る。「そのまゝに」等不用な言葉が挾まつてゐるからである。第一句も工夫を要し、結句も月光の疊に照る感じが表れてゐない。「月さやかなり」が安易だからである。この邊に今一段の苦心が望ましい。

一興一首

出羽の山の湯　　小杉放庵

山ど湯の今日の一日は世心をなげうつべしと轆の濤のむ

一興一首

中禪寺湖　　小杉放庵

うば玉の黑髮山に雲立ちぬ舟げ雨る來らし

紅茶の後

エロとは何ぞや

A「エロ・エロと頻りに書いてあるがエロて何だい?」

B「エロ女給てよく出てゐるだらう、あれさ、エプロンをつけたる女給が風紀を紊すから略して手ッ取り早くエロといふんだい」

蚊よけにもなる

恐い小父さんがカフエーの薄暗い赤い灯や青い灯を廢めさすといふので色氣のでない連中大喜び

「これで蚊にさゝれなくて助かる」

タイレンを語る
――エロチシズムの缺乏――

(二)　横澤 宏

わたくしがエロチシズム缺乏の大連を歎いた所が、わたしの知人が經營した一つのエロ・グロな話を持ち込んで「大連を語る」の訂正を要求して來た。

更に――曩日常盤座階上においてわたくしは一人の奇しき少女を發見した。

かの女は黑の洋服に、黑い帽子を眞深に、膝から腿の邊迄露出させ――そうしてかの女は魚類の持つやうな蒼白い感覺の體臭を發散させる、美人ではない、だがかの女は體臭的な魅力を持つ――おそらくかの女は深更街頭に醉漢を發見したならチッチヤな手を紅葉のように散らして

「ハロー!」

と呼びかけるだらう、そして豪勢な其の異常な體臭を發散させる臭體を美しいホテルのベッドの上にクネクネとさせるであらう。

わたしは、それを想像するに難くない。

わたくしは斯うした少女の出現に興味を持つ、そして最近續出する「酒場」なるものと結び合せて其の一點から將來發展するであらう一つの世界を想ひ描く――既にキヤフエ時代の崩壞が到來したのである。

今あらためてキヤフエにエロチシズムの存在を求める事は愚なことかも知れない。

何故なら、わたしは斯う思ふのである、恐らく現今大連に行はれるキヤフエなるものが「あそび」の範圍から遙かに遠のいてしまつた、キヤフエそれ自體が營業であり之れに附隨するキヤフエ・ガアルが一種の勞働者化し來つた、これがキヤフエを自壞せしむる誘因となつたのである。

享樂は確に「勞働」ではないのである。

勞働を無視した、生產を無視した「消費」が街頭に出て來て始めて享樂がある、其處に所謂モダンライフといふものが展けるのだ。

勞働と生產を犠牲にするキヤフエに享樂が産れたら大變である、享樂のない所にエロチシズムが發生したならバケモノ。

わたしは最近全くキヤフエに興味を失つた。

そして近く與へられるであらう當局のキヤフエに對する彈壓を愉快に思ふのである、何となれば此の彈壓か現在のキヤフエに如何なる變化を招來するか――おそらく賢明なるキヤフエ・ガアルは古き自分の城塞を放棄するだらう、そして新たなる世界を展開するだらう、かの女達は前記の少女のやうに街頭を舞臺に活躍するであらう

――そのためにかの女達は一層エロチシズムの尖銳を沁みるであらう、わたしはそこまで資本主義城塞ののたうちが烈しくならなければならないと信ずるのだ。(續)

СОРОК ШЕСТОЙ УРОК.

А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы обыкновенно встаете.
Б.—Я обыкновенно встаю в семь часов утра.
А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы обыкновенно ложитесь спать.
Б.—Я всегда ложусь спать в одиннадцать часов вечера.
А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы легли спать вчера вечером.
Г.—Вчера вечером я лег спать в десять часов.
А.—Так рано вы ложитесь спать.
Б.—Да, я всегда ложусь спать в это время.
А.—Скажите пожалуйста, где вы были вчера вечером.
Б.—Вчера вечером я нигде не был, а был дома.
А.—Скажите пожалуйста, будете ли вы дома в это воскресение.
Б.—Я хорошо не знаю, может быть, буду дома.

第四十六課

A.—貴方は大概何時に起きますか どうぞ云つて下さい。
Б.—私は大概朝の三時に起きます。
A.—貴方は大概何時に御休みになりますか。どうぞ教え下さい。
Б.—私はいつも 晩の十一時に寢ます。
A.—貴方は昨晚何時休みました。どうぞ云つて下さい。
Б.—昨晚私は十時に寢ました。
A.—そんなに早く貴方は休みますか
Б.—そうです私はいつも此の時間に寢ます。
A.—昨晚貴方は何處に行きましたか。
Б.—昨晚は何處にも行きませんで內に居ました。
A.—貴方は此の次の日曜日に御在宅ですか。どうか教えて下さい。
Б.—私は はつきりわかりません, 多分內に居るでしよう。

飛行士(一)

ヴ・イティン作　浦路觀譯

譯者註　一九二七年國營出版部發行です、作者の名はあまり知られてゐませんがルーボルのネスメーロフ君が非常に好評を博してゐると言つて私にくれた本です、少し長い短篇創作ですが、取材が面白いから譯して見ました

こゝの飛行場は綠に蔽はれたロシアの飛行場を見つけてゐる目には新しい感じのする灰色だつた、左の翼の端を通して飛行場の隅に置かれてあるとても大きなスリーム、ローラーが目につく、このローラーが例の巨大な石を轉がし乍ら飛行場を均すのだなアとうなづかれる、

チャンツエフは自分の乘つた新機の「K四號」が車輪を地上に觸れ始めた瞬間、こう言ふ大發機には適した凹凸のない固い地面であることを感じた。チャンツエフは子供のやうな氣持でわざとローラーの方に舵をやつた、

今度の飛行は至つて平易な飛行であつた、空氣の大洋は丸で午睡してゐるやうだつた、地上は――道路と言ふ道路は何處でも耕地や牧場や道路やが丁度水族館でものぞくやうであつた、チャンツエフは非常に歡迎された、然し危險はこれからだ、急にきれてゐる地平線の彼方には山岳が水色にかすんでゐる。

同乘機關士のエルテイシエフは愉快なロシア人だが、彼は更に大きな不安を感じて何も見ないで機關にかじりついてゐた、彼は飛行家としての新らしい素養は持合はせてゐなかつた、が然し一日中飛行場での自分の仕事――飛行機の修繕や組立てに押し込められてゐるのに飽き飽きしてゐるので自分から進んで今度の飛行に參加したそれで彼は今から考へてゐる(外國と云ふ所は馬も角常に離意を持つた技術的な交術の行はれる所だからチャンツエフの勝峻に乘つて來れば大丈夫だ、彼奴は自分の仕事も上手だが何しろ元の飛行將校だから色々の社交術も心得てゐるに違ひない)と

早速彼等の服裝をした男が近づいて來た、その男の歩くのは遲いがそれでも急いでゐると見えてステッキを忙しく振廻し乍ら來る、チャンツエフは確にロシアの飛行家達であつたと思ふが、外國人と見ればすべて技術家であるかの如くに思つてそれに眞似る獨特のスタイルを思ひ出した

――飛行士エッツであります――

と近づいて來たその男が言つた

彼は飛行俱樂部からの祝詞を述べた、言葉がよく解らない、大部分は外國語を言つてゐるやうに聞こへる、彼のロシア語は遲いけれどももしかし正確だ、それで彼がロシア語を解すると言ふ理由で彼を吾々の出迎へに寄越したのだなアとチャンツエフは想つた、エッツはソウエートの飛行の成功とか今度の企てが勇敢であるとかなどきまりきつたお世辭たつぷりの挨拶をした、チャンツエフは手を擧げて答へた、そして自分の飛行機――事實普通の型とは異つてゐる飛行機について喜んで説明した、エッツは微笑みたゝへながら聞いてゐた、この飛行機は新しい陸軍機で「保守黨への復讐」の中の一機である、保護色を用ゐずにアルミニウム色にテカテカ光つた色でぬつてあつた、そして郵便機と機せられてゐた、エッツは丸で他人の馬に乘る人のやうにこの新型機を見守つてゐた、彼の眼はオレンヂ色に射る夕陽の爲かそれ共職業的の過敏さからか火のやうにギラギラ燃えてゐた

夕日は何時ものやうに暮れていつた、飛行家達はホテルに運ばれた、二人が一緒に風呂をあびて新しい服に着かえて時に彼等は早速晩餐に招かれて、飛行中は夜に入つてから夕食するのは何時ものことだつた、チャンツエフは成るべく流動物許りを採ることにしてゐた、この飛行俱樂部の晩餐會には勿論酒が出たが彼は自分の主義として大飛行の時は一切飮まぬことにしてゐると言つたので他の人々が諧謔的に驚いて見せた、ザクースカや野禽や糖菓などはチャンツエフの意見に從ふと不消化物だそうだが、彼はそれで何にも食はずに空腹のまゝ席を立たればならなかつた。

彼の頭には夜のレストランがはなれなかつた、自分で勝手に註文した美味な御馳走、音樂、そうしたものが彼を非常に魅惑した、それは又「ヨーロッパ式のレストラン」と言ふ言葉が更に彼を引つけたのである、それで彼はエッツに

――市中を見物させて貰ひたいですネーときり出した、

エッツはすぐに贊成した、彼は晩餐會が豫想外に淋しかつたので自分も元氣が出た

こんなことの爲めに彼等は自然互に親みを增した、この飛行家達は年輩が殆ど同じだつた、年下のものと一緒になるのは何となく氣が引けるものだが、チャンツエフはエッツの頭に自分と同じ程度に白髮のあるのに氣がついた、

――行きませう、行きませう――

とこのドイツ人は繰返した、けれ共彼の剃り立ての顏には依然として豐がない、病的に顏色が惡い

チャンツエフは餘計な者をつれ出したと云はぬ許りに顏を背けたが自分の世慣れないのに氣がついて顏を赤くした、

自動車は暫く丸石を敷いた車道を走つてから中央道路のアスファルトの上を滑つた、チャンツエフは微笑んだ、その靜かさや安全な無責任に……こんな言ひ方があるならば……彼は他人が操縱してゐる時には同乘者としても又旅客としてもその飛行機に乘ることを好まぬ男である、然しこうした一直線の道路――地上では例へ女の運轉手でも信賴してよいと思つた、

この町は山の下から湧いて來る水が豐富によいと言ふので二百年前から療養地となつてゐた、それはこの町にとつて何よりの幸福だつた、金で買へない幸福だつた、チャンツエフは見廻した、町はきれいに掃いてある、ぬぐひとつたやうだ、どんな強い風が吹いても塵一つ立つまい、市場臭い臭氣に滿ちてゐる各々の國の町とは丸で違ふと思つて、廣い並木町は金屬製の格子で圍んである、人道に沿つて高くはないが勿論造りのよい建物が並んでゐる、建物の一つ一つには夫々栗や林檎の木が植へてあつてこれも金屬製の格子を圍ぐらし六本づゝの支柱で支へてゐる、通行人は多くはなかつたがたまに來る電車が十字路の所に來ると青い火が赤く變る、馬車や通行人は一齊に止まつて又青い火が出るまで立止まつてゐる、或る角では一旦出た自動車が又後戻りをして立止まつてゐるのを見た、チャンチエフはよくホテルの廊下で度々顏を合せながら食堂に行くと隣のテーブルに坐つてゐながら口もきかないヨーロッパ人特有の几帳面な一面を茲でも見た、すべてそれらがあまりに正確に秩序正しく行はれてゐるので突然チャンツエフは輪繩を投げてやらうかそれとも道の眞中にビール瓶を投げつけてやらうかなど考へ出した。

牧逸馬著 この太陽 出づ

近代戀愛問題の總決算

日活女優峰吟子扮するところの岸蘭子

蘭子の場合

良人と「そり」が合はない何に喧嘩をしたゞいふのでもないがたゞ「うまく合はない」のだ。かういふ夫婦が世間にはザラにある。蘭子は、その不快な桎梏の中から最も勇敢に躍り出した一人である。彼女の前には、人類が永い間かゝつて築き上げた凡ゆる制約が一切無能であつた。彼女は文字通り奔放自在に自己の意志を實徹した。累々たる犧牲者の上を跳び超へて更に躍進した。資本主義が爛熟期に入るとかういふ女性が出現する

曉子の家が主筋で元雄の家は家來筋であつた。近代資本主義の荒波が此の關係を根こそぎ覆へして地位を顚倒せしめた、よくある例だ、其所に悲劇が胚胎する。尾羽うち枯らしたしもたやの娘曉子と、成上り大ブルヂョアの御曹司元雄との戀が阻止されて此所に此の美しく可憐な、涙と微笑と義憤と安堵を齎す物語が展開される。東日大每兩紙に連載されて二百萬の讀者を飜弄した問題の長篇小說、新時代の戀愛淸算書。

新鮮な感覺朗らかな筆觸

美しい友情と悲しい背信。淫靡な性魔と可憐な貞淑。僞と眞、重厚と諧謔の鉢合せ。この太陽を抱いて最後の勝を制し得た人は誰か。

此の物語にピエロの役を買つて出た人物―其名を犬丸老人といふ―彼は英語の本と將棋の駒をいつも懷に忍ばせてどんな事件の渦中にも飛び込んで行く。悲しきピエロでなく、瓢逸寡欲無邪氣朴訥な道化役者であつた。此の奇怪にして而かも有り得べき一つの性格描寫に『ユーモリスト牧逸馬』の面目が躍つてゐる笑はせて泣かせて複雜燦亂な筋の運びに讀者を飽かしめない筆の冴えは何と評すべきか。特に杉山と元雄との間に醸される友情と愛慾の二重鬪爭こそは至高至妙の藝術境である。

日活女優夏川靜江扮するところの山内曉子

曉子の場合

船が橫濱の岸壁を離れやうとする時、雜踏に紛れて彼女はスルリと其處から脫け出した。純にして貞淑な新妻と最初の接吻を法悅しやうとして來た時男がキヤビンへ降りて來た時彼女は其處にゐなかつた。京濱國道を東京に向つて疾驅する一臺の自動車がある。今、新婚の夫をひとり船の中にまいて來た曉子が、頑丈な杉山の腕に抱かれて其車に乘つてゐる。長い半生の冒險を賭して獲ち得た「この太陽」のさんらんたる光に浴しながら。

四六判上製七五〇頁函入美本 定價一圓七十錢(送料内地十八錢) 全國書店にあり

東京驛前丸ビル五階 振替口座東京三四番 中央公論社

改良と値下げで一般化されたる邦文モノタイプは新聞、雜誌、書籍等一般印刷物の活字鑄造と組版を自動的に處理する即ち鑄植機械です。又活字の自動鑄造兼用機として最も便利な機械であります

邦文ライノタイプは活字組版が一行づゝ一個の塊となつて鑄造される植字機械でありまして本邦に於て殆んど不可能とされて居りました本機の發明は今や印刷界の革命として各方面より多大の御稱讚を博して居ります

大は初號より小は三ポイントに至る迄の活字又は込物の仕上げ迄人手を用ひず自由自在に而も極めて正確に鑄造出來る最も優秀なる自動鑄造機であります

邦文ライノタイプ

本機は今や十有六年の試錬を經て活社界の凡ゆる方面の事務に適應する型式を生じ實用臺數十萬臺を突破するの盛況を呈して居ります。殊に最新のCL型邦文タイプライターに至つては完全の極致として御愛用を蒙つて居ります

邦文モノタイプ

邦文タイプライター

活字萬能鑄造機

日本タイプライター株式會社

東京・大阪・大連・名古屋・京城・札幌・横濱

早くも國勢調査の準備

六日市内所見

軌道や山野を驅る装甲自動機關車

陸軍技術本部で發明を完成す　世界に誇る好成績

【東京特電六日發】陸軍技術本部では列車砲の製造に成功したが更に線路が破壞された場合に直に裝甲自動車に變化して如何なる山野でも突破し得る裝甲自動機關車の發明を最近完成した、五日千葉縣下の陸軍兵器支廠で技術本部から小倉少佐が來て鐵道聯隊、歩兵學校等と協力試驗を試みたところ世界に誇り得る好成績を收めた、軌道上を走る場合は數十輛の列車を牽引し得るもので無軌道の場合は鋼鐵製陸軍のタンクと同樣に機關銃六門を備へ前後左右各方向の敵軍を攻撃しつゝ驀進し得るものである

3A―2　補回戰に入り滿倶勝つ

對龍山第二回戰

滿洲倶樂部對龍山鐵道局第二回野球戰は滿倶球場に於て六日午後四時十分より宮武（球）木下、上原（壘）三氏審判、龍山の先攻で開始されたが、遂に補回戰に入り十回裏、滿倶一點を入れ接戰裡に三A對二のスコアーで滿倶勝つ、閉戰同五時四十五分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
龍山	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
滿倶	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1A 3A

= 經過 =

△第一回　龍山熊代遊匍失に出たが西村、生乃共に遊匍して前走者を封殺し生乃二盜に倒る▲滿倶凡退

△第二回　龍山二死後平井の三越…

△第四回　龍山凡退▲滿倶一死後芥田中前に單打して二盜、片岡も中前テキサスし芥田三進、片岡二盜、中井四球で滿壘となつたが緑川一匍して芥田を本壘に封殺し、高須の三匍中井を三壘に封殺

△第五回　龍山吉田三匍失に生き麻生のバントと熊代の中前テキサスに三進し西村の右犠飛に生還、生乃二匍▲滿倶凡退

△第六回　龍山小幡遊匍失に生きたが長谷川のバントに一擧三壘に走つて二三壘間に挾殺され、平井遊匍▲滿倶疋田一壘不規則バウンドの單打に出で芥田のバントに二進したが片岡第一球を打つて遊飛中井見逃して三振

△第七回　龍山一死後吉田三匍テキサス二壘打したが麻生一飛、熊代中飛▲滿倶二死後青山遊匍失に生き二盜、古味四球吉野も遊匍失で滿壘となる疋田〇―一後高目のストレートを右中間單打し青山、古味生還し同點となる、芥田中飛

△第八回　龍山（滿倶中井退き時任二壘に入り古味三壘となる）一死後生乃左中間單打したが小幡の二匍で封殺され、小幡三盜して死す▲滿倶二死後和田（緑川に代る）の二壘右單打だけ

△第九回　龍山二死後杉浦（櫻井に代る）三遊間單打したが二盜…

龍山	位置	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	失策
熊代	98	5	0	2	0	0	0	0	0
西村	4	3	0	0	1	0	0	0	0
生乃	2	3	0	1	1	0	0	0	0
小幡	7	4	0	0	0	0	0	0	0
長谷川	5	4	0	0	0	0	0	0	0
平井	3	4	0	1	0	0	0	0	0
櫻井	8	3	0	0	0	0	2	0	0
杉浦	9	1	0	1	0	0	0	0	0
吉田	1	4	1	1	0	0	0	0	0
麻生	6	3	1	1	1	0	0	0	2
計		34	2	7	3	0	2	0	2

滿倶	位置	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	失策
吉野	6	5	0	0	0	0	0	0	3
疋田	3	5	0	2	0	0	0	0	0
芥田	8	4	1	2	1	1	0	0	0
片岡	2	5	0	3	0	1	0	0	0
中井	5	1	0	0	1	0	1	1	1
時任	4	1	0	0	0	0	0	0	0
緑川	9	3	0	0	0	0	0	0	0
和田	9	1	0	1	0	0	0	0	0
高須	7	4	0	0	0	0	0	0	0
青山	1	4	1	0	0	1	0	0	0
古味	54	2	1	0	0	0	0	2	0
計		35	3	8	2	3	1	3	4

▲二壘打　吉田一、芥田一

▲單打のみ▲滿倶片岡二匍テキサス中井の犠打に二進後投匍か…

△第三回　龍山一死後麻生、熊代共に一二間に單打し西村遊匍失で一死滿壘、生乃右翼に犠飛し…

△第十回　龍山吉田投匍麻生一邪飛熊代左飛▲滿倶疋田遊飛、芥田〇―一後右翼線近く二壘打し續く片岡の一―〇後三壘ベース上を拔く單打に芥田決勝の一點をあぐ

空し▲滿倶（龍山杉浦右翼熊代中堅となる）青山遊匍、古味投匍、吉野左飛

戰評

滿倶病後の山口を立てず第一回戰の殊勳者青山をプレートに送り龍山また一次戰に好投した吉田を立つ▲兩投手可なりに好投し面白い試合となつたが結局滿倶は七回龍山遊撃手のタイムエラーと疋田の快打に同點となし、十回芥田、片岡の安打に勝名乘をあげた▲勿論龍山の敗因の一部が遊撃手にあるにせよその責の一部は好投を續けた吉田投手も負はねばなるまい▲即ち今日の滿倶は彼のカーブを打ちあぐみ四回のピンチを彼はこのカーブで見事に切り拔けながら七回疋田に不用意のストレートを投げて打たれ、十回芥田を出した後は當然片岡を四球で送るかと思はれたが強氣に攻め、一球はカーブでストライクを取つたが、二球目は彼に得意の高目の球を與へて自滅した▲青山投手は連投の疲れも見せず無四球の好記録を本試合で殘した

撫順における菱刈軍司令官

六日初度巡閲の爲撫順獨立通過の新任關東軍司令官菱刈將軍の颯爽たる雄姿

飛沫をあげて記錄を競ふ

六日大連運動場プールの　州内學童水上競技會

關東廳體育研究所主催の第二回州内學童水上競技記錄會は六日午後一時より大連運動場プールに於て擧行、小學生徒の應援團多く各競技とも好記録を出し三時半盛會裡に終了した、成績左の如し

▲尋四女（平泳五十米）一着高嶋（大廣）一分一四秒二、二着小坂（同上）三着吉田（大廣）▲尋五女（同上）一着下村（常盤）五八秒一▲尋三男（同上）一着下村（常盤）一分一秒二▲尋四男（同上）一着野村（常盤）一分二秒▲尋六女（同上）一着山内（聖德）一分三秒、二着福本（常盤）三着水登（聖德）▲尋五男（平泳百米）A組一着土屋（常盤）一分三二秒一、二着鈴木（大廣）三着今泉（松林）B組一着東鄕（松林）一分五九秒七、二着中川（聖德）沖田（大廣）▲尋六男（同上）A組何野（旅順）一分四五秒、二着増田（松林）三着山本（常盤）B組一着木村（常盤）一分五〇秒一、二着久保（常盤）三着曾根（聖德）一分四三秒三、二着倉田（聖德）C組一着太田（聖德）三着兒玉（常盤）▲高一女（平泳五十米）一着羽川（聖德）五八秒一▲高二女（平泳五十米）一着新田一分八秒一、二着谷口、三着岡本▲高一男（平泳百米）A組…

便利に

なやれば自由に出入は許して異れる個人的には出來た點はある列車の昇降、旅客の驛出入等は日本と變りはないが、ホームさ

ホームの橋梁階段は梯形式で無く勾配を造つたものもあり、階段を上るよりは便利だが急勾配にすることができぬため廣い場所を要し日本の如きホームでは一寸眞似が出來ぬ

歐洲に比べて米國の驛は便利

日本でも眞似出來ぬ　沼田鐵道省技師の視察談

【ハルビン特信】歐米のプラットホームを視察し米國に一年餘留學した鐵道省技師沼田政矩氏は五日の歐亞直通列車で着哈左の如く語つた

米國と歐洲の驛は構造と設備に根本の差異があります、米國は旅客の便利な爲めに片端から新形式―假令へば旅客の乘車するまでにおける最短時間の設備をするため改造しつゝあり

旅客が

切符を買つて手荷物を託送し乘車するに最も便利なやう切符を買へば手荷物扱所を探さなくともスグ近くに設けられてある、ヨーロッパでは舊い驛が多く時に手荷物預けに其の場所を探さねばならぬが、米國にはさうした不便は全然ない、米國ではホーム内旅客以外は出入を禁止し見送人は開札口から歸つて仕舞ふので入場券は賣つてゐないが、ヨーロッパでは自働式の入場券を購入する設備あり出迎、見送人は東洋と同樣多數プラットホームにはいりハンカチを振つてゐる者もゐる尤も米國では全然入場が出來ないのではない、開札人にチップ

團體優勝戰で撫順大連を破る

州外相撲大會の盛況

【撫順特電七日發】全滿の人氣を沸騰せしめた州外相撲大會は七日午前十時より撫順において行はれたが、參加力士大連外十五チーム粒選り力士約百名、未曾有の接戰に片唾を飲む觀衆五千人、撫順チームは準決勝戰で奉天醫大を破り優勝戰は大連チーム撫順チームの取組となつたが三對二の接戰で撫順遂に優勝、時に午後二時、それより個人勝負、五人拔等で觀衆をヤンヤと云はせ五時頃盛況を極めて散會した

太平洋横斷機の出發地淋代海岸

絶好の離陸地がある

【青森三本木六日發電通】ブロムリー中尉の太平洋横斷出發地となるべき淋代海岸は滑走路として二千五百米突の平坦地あり、少し地均しをなすれば絶好の離陸地となるので青森縣廳より係員出張種々準備に當る事になつて居る、同所は交通極めて不便の地で東北線路古間木驛より約二里餘であるが、通信行舍の關係よりブ中尉首め關係者の根據とせる三本木町よりは六里あり八戸市七戸町より自動車をかり集め其の往復に當つて居る有樣である、折柄稻盆休みで近隣住民は腰辨當で集まり時ならぬ賑ひを見せて居る、尚東北線三本木驛では今回の飛行のため特に七日より歐米電報をも取扱ふことになつた

一萬圓をつかんで氣が狂つた小使君

二三ヶ月飲まず食はずで彼世へ　彩票に絡む哀な昔話

おらが大連の成長を語る（7）

明治三十八年十二月から大正四年三月まで約十一年間續いた彩票は毎月現なまの一萬圓をころりくと誰かの懷へ落すんだから樣々の悲喜劇が起つた。或る芋屋の亭主は一萬圓當つた爲め眞面目な男が急に遊冶郎となつて妻も子も忘れ家を捨て遂に一萬圓はおろか産も身も亡すに至り、或者は一萬圓當つたと誤認されて強盜に入られ殺傷され、又氣が狂つて了つた者もあつた、中には當つた金を基にして職業を始めて財産を造つたり、世界漫遊に行つた者等有益に使つたのもあつたが、大ていは當ると却て悪い結果を及すとさへ考へられてゐた。兎に角變なもので一萬圓といふ現なまが懷ろに轉げこんで來るんだから誰も一寸ぼつとなつても一萬圓はおろか百圓とかたまつた金を見たことのない樣な人に多い。

◇……◇

明治四十四年の頃だつたと思ふ、山縣通東廣店に小使さんが居た、其處の支配人が道樂するので丁度持つてゐた一枚の彩票を其の小使にやつて了つた、小使はありがたうございます、と貰つて持つてゐたが彩票抽籤當日、皆が店でわいわい番號を探してゐた、小使も呑氣なく自分のを見てゐたが何うやら番號が似てゐる。他の人が見ると果して間違ひなく頭彩一萬圓だ、それから大騒ぎで二、三人附添つて現金を受取つて來てやつた。銀行にでも直ぐ預けたらと勸めたが小使さんは、暫く金を手許に持つてゐたい、といふ、一生に見たこともない大金だから無理はなからうとあつて放つておいたところ、一日たち二日になつても小使部屋に引込んだきり新聞に包んだ札束を前においてニヤ〳〵笑つたきり物も言はなけりや、飯も食べない他の人が心配して入つて行けば恐ろしい權幕で金包を抑へて放さない、三日四日も其の儘なので騒だとあつて醫者に見せたところ果して氣が狂つてゐた、漸く金包を取りあげてそれを銀行に預けてやり小使は内地に歸してやつた其男は二、三ヶ月の間と云ふもの食はず飲まず、寢もせず彼の札束包んだものを前に置いたまゝで到頭死んで了つたといふ譯である。一萬圓はそつくり遺族の手に入つたが全く醜聞の樣に飛んでもない者によく幸運の籤が當つたものである。

◇……◇

彩票が廢止になつて今日まで幾度か熱心な復活運動があつたが賭博心を起さし良俗を亂すといふので何時も駄目だつた。不景氣が益々深刻な今日「彩票でもあればなあ」とは昔を知る大連人が誰もが洩らす嘆聲だ。

◇……◇

彩票、種々大連の社會相を彩る興趣あるものだつた

『娘の家』が出來る

【東京六日發電通】東京市社會局は不良少女保護施設を行ふこととなり池袋の婦少年保護所に隣る職員住宅を不良少女收容所とし「娘の家」の名もゆかしく助所、裁縫造花刺繡等の授産的職業教育に生花音樂等情操涵養をも行つて不良少女の感化を圖ると

二科新會友授賞者

【東京六日發電通】二科會では六日午後新會友及び本年度授賞者を左の如く發表した

新會友川口軌外、野間仁根、三浦舜太郎▲二科賞清水登之、伊藤廉、樗牛賞向井潤吉

有史以來の大暴風

【サント・ドミンゴ五日發電通】ドミンゴ駐在アメリカ公使の談によれば今回の大颶風はカリブ海地方では有史以來のもので、大暴風が丸一晝夜間荒れ廻り内二時間は風速百八十哩に達した、ドミンゴ共和國大統領の發表した死者數は約二千名、負傷者は六千名であると

タコマ市號空輸

【土浦六日發電通】ブロムリー中尉、ゲッティ機關士は六日午後二時タコマ市號の霞ケ浦、淋代間空輸を行ふ豫定であつたが、風の工合惡しく淋代着が遲くなるため出發を見合せ七日午前七時出發することゝなつた

全滿野球大會第二日

三對二で撫順辛勝

對長春戰

【安東特電七日發】全滿野球大會第二日の七日も絶好の日和で午前十一時廿五分より長春對撫順の試合が球水原、墨服部兩審の下に撫順先攻にて火蓋を切つた而して兩軍とも猛烈なる打撃戰を演じたが終に三對二にて撫順軍辛勝バッテリー撫順成松、渡邊、長春高橋、杉田

二―A―〇で安東惜敗

第一日の試合

川上、杉田閉戰午後一時三時二十分

安東對長春の試合は秋（球）尾崎（壘）兩審判のもとに午後二時四十分開始、戰ひは異常に緊張し兩軍投手の好投に七回までは得點なく、八回裏長春軍僅の敵失に一擧二點を奪ひ安東軍最後の攻撃も功を奏せず終に二A對〇にて安東軍惜敗す、バッテリー長春（高橋、杉田）安東（瀨戸山、酒井）閉戰

8A―3　早大再勝

對市大二回戰　快打相つぐ

【東京六日發電通】シカゴ大學對早大野球二回戰は六日午後三時より神宮球場に擧行、天知、錢村、藤田三氏審判、シ軍先攻に開始、左の如く八A對三で早大再勝し四時五十分閉戰、バッテリーシ軍（アーバン、シー・ジョンソン）早大（清水、伊達）

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
シ軍	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
早大	4	0	0	0	0	4	0	0	A	8A

なほこの戰ひ二回表にてシ軍アーバンは外野芝生スタンドに打込む大ホームランを飛ばし早大の矢島は五、六回に三壘打を二度、シ軍オルスンは二回に三壘打を出したこの日觀衆は前日に劣らず滿員三萬人に達し、賀陽宮殿下も台臨になつて終始御熱心に御觀戰あらせられた

死者二千名

大暴風雨で

【サンドミンゴ六日發電通】當地一帶の大暴風の雨結果今迄に判明した死者總數二千名を突破した尚被害地方の維持は恢復された

記念の三色旗

バード中將からコスト少佐へ

【ワシントン六日發電通】大西洋横斷逆コース飛行に成功したコスト少佐に對し、南極探險の勇者バード中將は自分が南極迄持つて行つた記念のフランス三色旗を全米國民の賞讃と歡迎の印としてコスト少佐に贈呈する事となつた

面當の自殺未遂

市内沙河口元町九二番地張天根方朴乃後（二三）は六日午前一時ころ阿片を多量に嚥下し附近の朝鮮料理店永樂方に至り「自分は今阿片を嚥下した」と訴へ苦悶し始めたので家人は大いに驚き直に滿鐵醫院に收容し應急手當を施したが、原因は林乃後が既に病氣をして居る醜婦を永樂方に前借四百圓にて紹介し間もなく女が死亡したので、樓主は病氣であるのを知りつゝ紹介したのは前借金詐欺であると數日前沙河口署へ告訴を出したのでその面あてに永樂に赴き自殺を圖つたものと判明、なほ生命は取止める模樣である

航空郵便成績

八月中に於ける航空郵便成績は上便大連、東京間定期回數二十六回の内大連平壤間缺便一回、平壤、京城間缺便二回、下便は東京、大連間定期回數二十六回の内京城、平壤間缺便一回、平壤、大連間缺便一回あつたのみであるが、差立郵便物數は内地宛通常郵便一千百十一通、小包八個、朝鮮宛通常郵便物六十五通、小包一、計通常一千二百六通、小包九個であつたと

滿日各地版

奉天

菱刈軍司令官が支那大官と交驩
五、六兩日に亘つて

滯奉中の菱刈軍司令官は五日午後七時から張學良氏の晩餐會に臨席したが支那側では張學良氏を始め臧式毅、王樹常、王樹翰、張作相の諸氏陪席し學良氏も頗る元氣で歡談し八時頃閉宴した又六日は午後七時ヤマトホテルに於て開かれた菱刈軍司令官の晩餐會に支那側から張學良氏、臧主席者列席し盛大裡に宴を終り更に張學良氏は軍司令官と懇談をなし九時過ぎ辭去した

なす處あつた

線路に彷徨ふ少年

五日の深夜渾河の鐵橋附近を徘徊してゐる一日本少年あり同地守備隊分遣隊で取調べた處彼は某中學校生徒中村某（一七）と假名を稱し奉天から徒歩で線路傳ひに大連に赴く途中であることが判明した之が爲め同處では保護を加へ六日朝來たその親に引渡したが彼は精神に多少異狀を來してゐたさ

娘を餌に金儲

原籍長崎縣、市內柳町料理店松の家の抱藝妓十郎事宮本つよ（二〇）は幼少の時人手に渡され育てられ來た十三になつたばかりの彼女は早くも福岡縣瀨町料理店阿部方から二百圓で福島町の藝道師匠塚本はるのに渡された、それを知つたつよの實父は之を機會に金儲けしやうと仕替させんとしたが果さず滿洲まで連れて來られ現在の松の家に六百圓で賣られたものである一方塚本は之を喜ばず實父を相手取り詐欺の告訴をなしたので奉天署では六日つよを呼び出し取調べをなしてゐる

町のニュース

◇六日午前五時頃八幡町八番地滿鐵の溫突宿舍の煙突から出火せんとしたが大事に至らず消し止めた
◇市內紅梅町東方端川原巡查外三名が四日午前四時過ぎ警戒中擧動不審なる支那人を發見し取調べた結果不在中の日本宅荒し竊盜犯と判明した尙その贓品も十八點發見したが持主不明のため心當りのものはその筋へ屆け受取られたいさ
◇市內彌生町二番地劉英の妻劉朱氏（三二）は六日午前九時頃夫婦喧嘩の末同十時頃ヘロインを嚥下したので永井醫院に擔ぎ込み應急手當の結果一命は取止めた

長春

三笠町に現はれた八人組の匪賊
數ケ月前より附け狙ふ

[illegible]七八人組の匪賊が侵入し二名の支那人を人質として拉去したが、宋（香）は長春附近の某部落の豪農で匪賊の來襲を恐れて昨年十月頃から前記住所に

移住してゐるもので拉去された支那人は長春縣南鐵匪住農業宋沖（三二）と長春縣小河沿子屯住孫景賢（三〇）と云ひ、五日午後零時から二時頃にかけて宋、孫の兩名が宋宅に訪れて來たもので宋（香）とは兼ねての知り合ひの間柄であり午後十時頃寢に就いたところ、六日午前零時頃賊は裏の小窓から鐵金樣のもので縛りをはづし手をさし入れて鐵鍵カンヌキを取りはづし屋內に侵入、奥の部屋に寢てゐた宋（香）と妻（二七）長男（二）に對して二名の賊は所持のブローニング拳銃を擬して「我等は警察の密行員であるから恐るゝ事はない、騷いだりすると直ちに射殺する」と威嚇し

尙一方の賊は入口附近の部屋に寢てゐた宋孫の二名を有無を云はせず人質として拉去し入口前で一同集合客馬車二臺に分乘して三笠町を東方に大和通りを北方に進み鐵道北方面に逃走した急報に依り長春署からは大場警部補、田畑司法主任警部を始め刑事巡捕逮現場に急行、一方派出所では辻々の警戒に努めたが遂に發見するに至らず午前二時頃本署に引上げたが、[illegible]

官帖又も暴落

六月末日金票官帖相場は四百十六吊文といふ新安値に下落し、七月二十五日頃より靑田買付開始のため反騰し三百三十五吊臺を割るまでに至つたが二三日前より又復下落し六日前場の如きは三百五十四吊文といふ安値であつた、これは官銀號が鈔票三十萬ばかりの買占めを行つてゐるのが主なる原因さ

撫順

菱刈軍司令官
六日初度檢閲に來撫

新關東軍司令官陸軍大將菱刈隆氏は撫順守備隊初度檢閲並に炭礦視察の爲新任獨立守備隊司令官森中將と共に六日十一時の列車にて來撫、軍隊側は勿論、築島炭礦部次長、大垣庶務課長、山口分會長の率ゆる軍、地方側各代表者等三百數十名の大衆出迎裡に着撫驛構に於て地方側一般有志の挨拶を受け驛前で簡單な食小憩後自動車を連ねて午前門外における中隊將校出迎裡に守備隊に赴き中隊長室に於て同中隊長の狀況報告を受け副官と共に書類の檢査を了し午後一時半炭礦中央事務所に到り炭礦一般狀況を聽取、それより撫順名物の露天掘、製油工場等を巡覽十五時三十分の列車にて離撫した

採石場宿舍に強盜

五日午後十一時半孤家子朱子山採石場宿舍に十人組のピストル強盜現れ張某（三〇）の左眼下及び右胸部を貫ぐ二丸を浴せ卽死せしめ外二名の左肩甲部右腕下等に瀕死の重傷を負はせ逃走附近住民は慄々としてゐる

五戶燒失す

六日午前零時四十分大山坑際留場下木材商[illegible]方から發火忽ち隣接の四戶を舐めつくし消防隊松本隊長以下總出動給水の不便な物ともせず必死の防火の結果午前二時五分漸く鎭火損害金[illegible]

開原

警察庭球選手優勝

開原警察署庭球選手は五日鐵嶺局及び鐵嶺行團と庭球試合を行つたが前者は十七—十六、後者は十七—十四で何れも優勝した

森田驛長歸任

森田長春驛長は吉海、瀋海附線道沿線を視察中であつたが五日夜歸來した

匪賊と交戰

三日午後九時頃開原縣第七區公安分局管內石匠溝（當地を距る南東約三十五支里）部落に九名連の匪賊現はれ豪農某方に闖入し人質三名及び多數の衣類貴金屬等を強奪の上逃走せんとしたるを屆出により區官以下十數名の公安隊員が討伐のため出動し交戰の結果賊は人質並に強奪した金品全部を現場に遺棄して南方に向け逃走したさ第七區公安分局員劉清源外四名は當時賊の遺留せる金品を三個の行李に詰め開原縣政府に送附すべく六日午前六時半頃馬車にて當地通過開原城に向け北行したさ

みられてゐる

人命救助表彰

去る八月十三日午後一時頃陶家屯附屬地內で于德寶（八）といふ支那人子供が溺死せんとした處を救助した同地電燈料集金人小平紫榮（□）氏は、今回關東廳から人命救助で表彰され且つ金一封を下附されたさ

鞍山

相撲大會選手出發

旅順に於て七日に擧行の州外都市對抗相撲大會に出場の選手並に監督八名は必勝を期し六日午後二時五十二分發列車にて出發

體育ボール選手權大會

鞍山體育協會では來る廿八日全鞍山體育ボール選手權大會を開催する、出場希望者は來る十五日までに滿鐵電二二四長谷川氏（二〇三山）に申込まれたしさ

青年團役員會

鞍山實業青年團では五日午後七時より實業協會室において役員會を開き九日行事その他を協議する處あつた

高野氏視察

昭和製鋼所常務取締役高野省三氏は五日急行にて來鞍し、六日大孤山採鑛所を視察して同日午後二時急行にて新義州に向つた

遼陽

懸約三千圓原因取調中

師團長招宴

遼陽駐劄山本第十六師團長は八日午後六時から偕行社に在遼官民の主なる向を招待着任披露宴を催すさ

工兵隊歸遼

遼陽駐劄工兵隊は金原隊長以下架橋演習の爲め鐵嶺に出張中の處六日十九時十二分着列車で歸遼した

記者團招待

遼陽地方事務所長は遼陽新聞記者團を熊岳城溫泉に招待したので一行は六日急行で同地に赴き同夜一泊七日農事試驗場農業實習所を視察同日午後七時十二分着列車で歸遼

海城

全滿馬術大會
來る廿七八日

第三回全滿馬術競技大會は愈々海城野砲兵聯隊練兵場に於て左記の通り開催される、參加希望者は來る十日までに海城乘馬俱樂部內全滿馬術大會事務所に申込まれたしさ

◇二十七日海城附近廣地に於て騎乘同夜講演及び活動寫眞會
◇二十八日は午前午後競技同夜は湯崗子溫泉に席を移し懇親大會

安東

附屬地の火事

四日午後八時五十分頃附屬地上川端町警第五〇〇番寺田硝子工場より發火、木造二階建工場一棟、木造瓦葺平家建一棟三戶を全燒し木造平家二戶を半燒して午後十時五十分鎭火した、損害約六千圓、發火原因は目下調査中であるが多分工場隣接の溫突焚き過ぎからではないかと言はれてゐる、因に同燒失家屋には火災保險は少しも附してなかつたさ

義捐金募集

日本赤十字社篤志看護婦人會安東分會では今回朝鮮風水害義捐金募集を開始一口金五十錢で締切日は本月十二日贊成の向は日本赤十字社安東支部又は日赤婦人會幹部まで申出られたしさ

大津參事辭任

採木公司總務課販賣主任參事大津峻氏は昨今非常に健康を害し旁々一身上の都合もあつて今回辭任した

旅順

無緣佛の弔慰祭
六日三里橋會葬場で

旅順市役所主催、三里橋無緣佛弔慰祭は六日午後三時から同地葬場にて執行會衆五十餘名にて光岡西本願寺主職導士在旅各宗僧侶參列三奉請を唱へ衆僧燒香の後司會者さして永山市長燒香の後一場の挨拶あり無量讀經讚經裡に參列者及び一般順次燒香禮拜を終り次で日露戰役前より來住せる宅島猛雄氏亦一場の挨拶を述べ散會したが一同は更に西北四丁餘の無緣塚に詣で親しく讀經回向をなしたが參列する者

米內山署長夫妻、吉野課長民政署各主任及び各市會議員高橋、第一小學校長其他一般市民約五十餘名金剛講員婦人團等にて飾前には民政署市役所員金剛講員の供物山の如く盛られ近頃にない淸く美しい營みであつた

鈴虫松虫鳴合せ會

熊本市春秋園主松山七九郎氏は六日七日の兩日午後三時から十時迄新市街千歲俱樂部で鈴虫松虫の鳴き合せ會を開催し卽賣を行つたが買受人には飼養法を教へたので人氣を呼んだ

刑事部長宅へ贓品賣りに

四日午後八時頃乃木町二丁目島貫刑事部長宅へ「梨を買はぬか」さ入つて來たが一向梨らしい物を持つてゐないので職業柄取調べるさ此奴は西野農園方番人の宋萬往（五□）さいふ者、農園から同日午前九時頃洋梨三貫目位を一貫目を持出し倉庫に隱匿し夜になつて知人の飲食店に預け第一着に注文取りに行つた處が刑事部長の家コレがほんとに飛んで火に入る夏の虫

マネキン孃
各商店に目見得

旅順では珍しいマネキン孃の出現が七日の午後六時から桃太郎、七時からやまさ軒、八時から山岸洋行、九時から東光堂の順序で人氣を呼ぶ、八日は六時から新市街木村屋支店、七時から乃木町の榮金堂、八時から鶴林商店、九時から[illegible]

木村屋で行はれた

黃金臺

◇旅順警察署では六日午前十時から聯隊射擊場にて第二種射擊會を擧行した
◇憲兵上等兵修業生四十五名は六日正午から老頭山麓にて射擊訓練を行ふ
◇關東廳財務課員一同は六日午後六時から千歲クラブにて米內山事務官の送別會を開催した

市中の噂

三里橋で行はれた無緣佛の法要は近頃にない奇篤な事で式後露國墓地後方に一同が參拜し米內山民政署長夫人古澤夫人や本田氏等が線香を供へる情景は一同を大に感激默想せしめた▲三十年前に埋まれて訪ねる者もなき佛は嘸や地下で成佛せられし事ならむさ宅島氏の言葉によると當時は一人の僧侶もなく知友の者が寄つて懇ばかりの葬送を爲したそうで一層此感慨が深い▲金剛講員婦人連の斡旋も大いに奇特といふべきである

鐵嶺

水害義捐募集

篤志婦人會鐵嶺支部では旅順本部の通牒により全滿各地鮮農の水害罹災義捐金募集について六日幹事會を開催協議の結果一口を五十錢とし會員は全部一口宛を受持ち尙赤十字社支部管內たる昌圖新臺子開原各地に義金醵出の依賴狀を發し鐵嶺市內では一般に募集せず主なる會社銀行方面に勸誘する筈

公會堂の維持問題
九日議員會開催

居留民會では九日午後四時より公會堂維持問題について議員會を開催する筈なるが公會堂は松田演藝部が商品館クラブを根據として興行を開始し從來公會堂を根據さしてゐた中村興行部が廢業する事になつた爲め自然に公會堂が利用されなくなり民會收入に大打擊を受ける立場になつた爲め其維持策についての協議である

領事等送迎宴

鐵嶺駐在領事官代理書記生石塚邦器氏は六日特急で官民多數の出迎へを受けて着任した、官民有志は八日午後六時より公會堂において近藤領事及び石塚書記生を主賓さして送迎宴を張る

領事等有志招宴

近藤領事及び後任代理の石塚氏は九日午後六時より日支官民有力者を公會堂に招待來任披露の宴を張るさ

營口

地方部二二—七鐵道部
農　試一七—二〇地方部
聯合軍一一—二鐵道部
地方部一七—一七農　試
最高五十九點の地方部軍に優勝旗は授與された

宗教琵琶演奏

宗教琵琶の創始者江頭法龍氏は五日午後七時滿俱樂部演奏會を開催、六日午前七時守備隊忠魂碑前に於て（護國の忠魂）を演奏した

鐵道警備演習

大石橋獨立守備步兵大隊第二中隊では中隊長菅大尉以下六日午後五時半突然來營し約二時間に亙り營口驛並に當地分遣隊を中心に極まりなき鐵道警備演習を擧行した近郊に匪賊潛入を傳へられ居る際此の演習は極めて意義あるものさし市民は深く感謝の意を表して居る

舊市街に匪賊

田莊臺方面に潛伏し猛威を逞しふし居れる匪賊の一隊は五日午後六時頃戎克船に乘込み舊市街に上陸後形跡を晦ましたので嚴重警戒中であるが七日が丁度當地における支那人の年中行事の遼河燈籠流しがあるので其間隙に乘じて一仕事せんとする魂膽にあらずやとの噂がある

瓦房店

滿鐵運動會
十四日に延期

當地滿鐵陸上運動會は七日午前九時より擧行の豫定なりしが、五日より降り續きし豪雨の爲め止むなく來る十四日に延期した、尙當日は瓦房店神社の前夜なるも少しく早く切上げ關係者は參拜する事となつた

臨時種痘施行

瓦房店警察署にては天然痘豫防のため臨時種痘を施行する旨告示したその日割場所左の通り

一、九月十日午後一時東區十一日午後一時西區王家田家（瓦房店社員俱樂部に於て）
一、九月九日午後二時得利寺松樹（松樹派出所において）
一、九月十八日萬家嶺十六日許家屯十五日九寨十七日熊岳城十三日芦家屯十二日沙崗

吉林

鮮人歸化を制限
張作相氏より密令

從來滿洲に於ける鮮人の歸化は自由に許されて居たが、最近日本に於て鮮人の支那歸化承認の問題が論議せられつゝある折柄在滿不逞の徒輩が頻りに狂暴を逞しふし始めたため此程吉林省政府主席張作相氏は管內各官憲に次の如き密令を發した

在滿鮮人にして支那國に歸化せんとするものは法に據りて許されるもの、外左の各項に該當すべきものたるを示す

一、滿洲在住二十二年以上のものにして其身許に付き縣政府の證明あるもの
二、縣政府は歸化希望の鮮人にして認可すべき資格ありと認めたるものには歸化候補證を發給すること
三、各行政機關は歸化候補證を有する歸化人に就て絕えず其行狀を調査視察すること
四、旣に歸化せるものと雖も行狀怪しきものは假借なく追放すべし

名物燈籠流し
本年は中止か

盂蘭盆會も愈々近づき陰曆の七日が陽曆七月十五日に相當するので、同夜は吉林名物の燈籠流しが松花江上で賑はしく例年行はれるのであるが、本年は各地で匪賊の橫行や共產黨徒の不穩策動等で頗る物騷だと云ふので燈籠流しは或は中止することになるやも知れずさ

公主嶺

又も馬賊
柳町に現る

六日午前一時五十分市內柳町二丁目楊鍾公濟正方を數名の馬賊襲ひ同家の土牆を乘越へ四名の賊は屋內に闖入せんとした處を夜警の發見するところとなり威嚇の銃聲に驅付けた警官のため賊は狼狽して一物も得ず闇中に姿を消した

山本師團長來公

山本第十六師團長は初度巡視のため十二日十一時五十一分着の列車にて來公、丸福旅館に一泊十三日十一時五十六分發の列車にて出發

庭球リーグ戰
地方部が優勝

全公主嶺庭球リーグ戰の決勝戰を四日午後三時より地方事務所のコートに開催の成績は
聯合軍一五——一七農　試

九州並中國及朝鮮風水害義捐金寄附者芳名（第十八回）
（八月廿八日受付）

十圓西廣場區民一同、十二圓沙河口尋常小學校、十圓大連消防署員一同、五圓大廣場小學校職員一同、七圓大連市中央電話局、十五圓常盤尋常小學校職員一同、三圓大櫻滿次郎、五十錢宛顧原基、西川襄、濱崎善男、椋田東平、大野虎之助、古野サカエ、神尾ユワ、高柳ハル、陣川キミエ、小見門ナミコ、甲斐スエ、十五圓高橋勇、楊井勇三、五圓山本豐吉、一圓宛靑木阜二、八木虎之助、大熊治、岩本元次郎、蒔田廣吉、五十錢宛角田啓義、坂齊保、西村一人、竹內直治、建石仍平、小手川碩、伊藤德平、高木泰彥、大津泰、三宅嶽藏、向田光吉、倉內末義、若林輝夫、鷲木道雄、神田豐太郎、岩野尙敏、西原俶、丸キミ子、境野一之、下田茂七郎、佐々木マリヤ、太田ミチヨ、永田百合、國東政路、石村亭藏、政本安、鈴木健吉、山田敏雄、三代庄之衛門、寺尾英二、武田辰二、都留巳年、川原慶吉、安井貞子、荻野俊一、糸長忠壹、和田進、八木橋雄次郎、大西眞、佐々木三、合原金八、笠原謙三、外池平、早栗千代藏、五圓衛一臣、三圓郭子珍、一圓宛協昌福、玉成錢莊、福義成、齊盛泰、恒慶泰、瑞豐成、福興恒、興順盛、雙盛泰、錦香樓、恒泰祥、德生義、恒興泰、如意館、仁記樓、五十錢宛劉盛田、福增祥、成聚湧、聚生德、洪生盛、雙盛樓、公合利、同玉和、源記、湧聚福、協豐德、復和、通源長、福泰支店、同仁堂、大德生、東成福、久泉盛
小計　金百六十四圓也
累計　金三千四百五十二圓三十一錢也

海の唄『四七』
仲木貞一作　林唯一畫

疑惑（三）

何時もよりは少し遲く、出勤した和雄は、何氣なく自分の席のある室の方へ這入つてゆくさ、

「おい、秋月、どうしたんだ?」

さ、不意に田部に呶鳴られた。

「…………」

和雄は、不意を喰つて、ちよいさ驚いたが、默つてヂロリさ田部の顏を見て、輕く禮をした。

「おい、秋月、默つてゐたんぢやわからんぢやないか?」

さ、田部は、和雄が帽子を脫いで、其の壁の帽子掛けにかけやうさした時、また、恁う云つて直背後に迫つて來た。

「何んですか?何がわからないんですか?」

和雄は、田部が嫌に「秋月々々」さ他人の名前を呼び捨てにしてゐるのが、先刻から癪に障つてゐたので、わざと落ち付いて訊いた。

また、事實、何が彼を左樣憤らせてゐるのか和雄には考へられなかつた。

「何んですか?さは何んだい……一體、君は何故こんなに今日は遲く出勤したんだい?」

田部は、その大きな肩を聳がして、キッさ和雄を睨み付けた。

「今日は、僕は午後の番になつてゐる日ですもの……。だから昨日は朝から……」

さ、云ひかけるさ、田部は橫合ひから物でも引つたくるやうに、

「うむ、きのふは君は朝から出勤して非常な手腕を揮つたなあ。豪いよ、君は……なかなかの狡猾漢だ。全く大阪ッ兒らしいやり方だ」

……フンさ云つたやうに、田部は冷やか笑つた。

和雄は默つて何時も何かを考へる時の癖で、靜かに下唇を嚙みながら、眼を田部から成るべく、外らせるやうにして考へてゐた。

昨朝、本當は田部が議會の方へ行つて、早く寫して置かなければならない插繪のやうな漫畫を、偶然にも和雄が早く出勤して、旨くさつて了つた上に、議會には、また、午後から紛糾さして騷ぎが釀されたので、和雄はいろいろな材料を社に持つて歸つた。その時も田部の姿は社に見えなかつたが或はそんな事で、今朝、幹部から叱言でも喰つたのかも知れない……さ、和雄は思ひつくさ、思はずにさ込んで來た田部への冷笑を、ぢつさ奥齒に嚙みしめて、默々さしたまゝさつさ机の抽出から、繪具や畫紙を取り出した。

田部は、また、そこに突立つてゐたが、暫く和雄のする仕事を睨んでゐた。

和雄は有田の社から賴まれた雜誌の口繪の下圖を描き初めた。

「おい、君は社へ來て、そんな用事を……內職を公然とやるのか?」

「……」

それでも、和雄は默つてゐた。

「秋月、なんとか云ひ給へ。昨日のことに就いても、なんとか僕に謝罪ぜんけりやなんくせに。君は此の頃全く圖に乘つてるよ……」

和雄は、彼の云ひたいだけの罵聲を浴びても、それは決して自己の信念を傷つけるものではないことを、堅く自分に誓つてゐた。するさ、田部は、

「おい!……」

さ、怒氣を帶びた聲を和雄の後から投げたかさ思ふ間もなく、ぐッさ腕を延ばして突いた。それは丁度、和雄の額の邊を突いてゐた。

「……何を、何をするんです!……」

……思はず、堪へてゐた憤怒さ鬱憤さが、鐵砲玉のやうにほさばしり出て、和雄はすつさ起ち上つた。眞蒼な顏に、眞黑な長髮がふりかゝつて、唇は紅く昂奮してゐた。そして、美しい瞳は釣り上つてゐた。和雄の面は、またさなく氣品の備はつたものであつた。

「……此の女のやうな姿で、優しく他人に媚て、俺の地位を蝕んでいくんだ……」

田部の心には、もう何の斟酌もする力も持ち合はしてゐないらしい。それから一言二言云ひ爭つた後田部の太い强い鐵拳は和雄の纖細な肩の邊や、頰べたにも頭上にも飛んだ。

新刊紹介

▲滿洲に於けるセメント工業さ其の需給狀況（滿鐵調查資料第百卅六編）第一編「滿洲に於けるポルトランドセメント工業さ其の需給狀況」第二編「滿洲における高爐セメント工業さ其の生產狀況」第三編「滿洲に於けるマグネシアセメント工業さ其の需給狀況」第四編「滿洲に於けるドロミテツクセメント工業さ其の需給狀況」第五編「頁岩灰混合ポルトランドセメント」の五編に別ち統計的に滿洲における各種のセメント工業さ其の需給狀況を述べてゐる（定價壹圓八十錢大連滿鐵發行）

▲世界經濟（世界經濟研究所編纂）日本の財界は今や行詰つて殆んど恐慌時代に近い、かゝる危機に際して何よりも必要なことは冷靜に客觀的に科學的に世界經濟の進行を觀察しこれが如何に日本の經濟に影響を及ぼすかを知り、我經濟界の實相を把握し以て適當な對策を講ずるのが必要である、斯る見地から本書は生れたもので世界經濟の眞相が生きた材料によつてよく提供されてゐる、經世に志ある人の座右に備ふべき良書である（定價一圓五十錢、東京市京橋區第一相互館、千倉書房發行）

▲農民（九月號）暴露記事、俺が村の村長さん（松山論雄）農會の內幕（早田靜夫）その他（定價十錢、東京府下千歲村全國農民藝術聯盟發行）

▲勞農（九月號）「全協」內部の對立さは何ぞや（荒畑寒村）勞働組合の戰術さ組織に就いて（荒畑寒村）その他社會時評（大森義太郎）その他（定價三十錢、東京市外野方町共社發行）

▲調查月報（五號）朝鮮工業の過去さ現狀等（定價卅錢、朝鮮總督府發行）

▲世界さ我等（九號）（定價拾錢東京丸ノ內二國際聯盟協會發行）

▲露西亞事情（百十八號）露西亞の航空事業（定價廿錢、東京丸ビル露西亞通信社發行）

滿日俳壇募集規定

次回課題「夜寒」「秋の雨」「コスモス」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題列紙▲各用紙に必ず雅號氏名を記し置くこと▲締切九月二十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

滿日柳壇課題

◇雜吟「滿日二十五周年記念」
◇課題「虫」「又開」「新涼」
◇句數　雜吟三句、其他五句以內
◇締切　九月十五日（各題別記）
◇宛所　大連市彌生町高橋月南